

03
1 2 3 4 5 6 7 8 9
mm

382160

昭和二十年

空襲被害状況報告

各地方検査正ヨリ

司法大臣完モノ

国立公文書館	
分類	(返) (青)
配架番号	3 A
	15
	29-5-2

昭和二十一年七月三十一日

正午現在

382101

極秘

防空情報

内務省防衛室

其ノ一

前五時頃ヨリ至九時頃迄、向敵小型機ヲ主ト
約七百機八東海、近畿、中國、四國、九州、各地又
東北方面に於て敵機數百機が現在道判明セル被害狀況左如

二 海 地 区

(1) 龍田縣

六時五十至分頃數機以テ新居町冲合、蟹船村付近銃撃ヲ
加ヘタリ
七時三十五分頃ニ機ヲ以テ天竜川河口燈台ヲ銃撃セリ

岐阜市
松原郡勝俣村木内、銃撃ヲ加ヘタリ
小笠郡揖斐町、揖斐郡御村、銃撃アリ凡て被害ナシ

未六時四十分頃、竜馬湖南方四キロ海上漁船二隻銃撃

ヲ由ケ沈没、機構

八時四十分頃袋井駅東方約五十米附近ニ於テ下リ第七十五

号旅客列車銃撃ヲ受ケタルモ被害ナシ

(2) 爰知縣

八時四十分頃三保線原谷駅南方ニ於テ上り客車銃撃ヲシケ
若千、被害尾模様尚同時刻頃樹川駅西方ニ於テ貨物

列車銃撃ヲシケ機関車一名重傷

死傷一名重傷二名輕傷三名

住家非住家各一戸倒壊

(3) 岐阜縣

八時五分頃B29一機大垣附近ニ侵入大型爆弾二個(一個不発)
被害状況調査中止モ自下判明セル

死傷一名重傷二名輕傷三名

住家非住家各一戸倒壊

其他漁船沈没一火災二

二 道 級 地 区

(1) 大阪府

八時五分頃B29一機大垣附近ニ侵入大型爆弾二個(一個不発)
被害状況調査中止モ自下判明セル

死傷者殺名ナル模様

382102

(2)

京都市

大本營、空襲大本營、死傷數名

倉庫剝離、死傷數名

小型爆彈投下、死傷數名

1.

七時五十分頃 下り十数機、久喜郡宇治町方面二度襲
小型爆彈、落下により外籠轟、神武護國製作所

(後葉夏約七十名)、社レ五十キロ級瞬發爆彈四個

投下、死傷者十名、建物等及機械類輕

微傷十名、受傷者十名、復旧見込約十日間

今栗村鉱業所、後葉夏約八十名)、二小型爆彈數個落

下死傷者六名、重輕傷四名、倉庫一棟全壊、瓦場屋根一部破

損、復旧見込約半ヶ月

口久喜郡宇治町民家二小型爆彈數個及機銃掃射アリ

死傷約一〇、民家半壊五戸、小破三戸

(3)

新潟縣

七時五十分頃 P59一機 大津市石山北 大路町前松一三〇工場(東洋上
シ石川五場)二枚レ大型爆彈(推定一トニ)一枚投下、死一百、重傷七二行方
不明。全半壊九棟、又全時刻頃小型機 P5十三機、神崎郡八日市町
八日市飛行場施設及附近民家二小型爆彈投下及機銃掃射ヲナシ死
者一重輕傷五、建物被害若干アリタリ

三
九
州
地
圖

卷之三

西方木家像櫓屋西郡
後擧手ヲ加ヘタリ
被審官下 調査中一十七日比較の輕微
十生模様

卷之二

名古屋市港區
行場（三箇整備工場）
大同製鋼 放彈
愛知縣空永德工場
日立製作所

(2) 半田市

(44) (37) 被害八日下、調査中。此時空、被辱
リ三割程度灰焼失ノ模様。ナニモ爆弾約六十個
四日市、桑名兩市、投擲事例有。模様尤も被害日下調査中。

東華殿，署內

天滿宮
中時町
櫻澤

曾根崎
大坂駄樂園

天王井鑿之署管內
冀州治一縣獨一落下

裏面白紙

382104

北中城、爆弾落

下

八城東警察署管内

今福中一丁目(日本電機器具工場)、鴨野町、中治町、

蒲生町、四丁目(微風町)、橋本五丁目場附近、爆弾

落下

櫻島附近被彈、模様

(今)京都府

九時廿三分、竪糞轆轤、金中、約三百數十機、未収容アリ

ク止毛南、菜田郷、保津村小中、爆弾、大田根下シ見毛、被害ナシ

382106

昭和三十一年八月五日 防空總本部警防室

防空總本部警防室

十九時三十分頃ヨリ九時五十分頃迄ノ間 敵PBY機
伊豆冲房總沖九十九里浜千葉運行筋上陸
此ニ侵入スルコトナク脱去

十一時四十分頃ヨリオ二時四十分頃迄ノ間 角方基地ヲ
襲進セル敵 PBY機 七八機 八三編隊三分散 著一
編隊約三ヶ所 保豆ヨリ小曾原八王子川越 清瀬等
ヲ運動相模湾ヘ、第ニ編隊約二十四機ハ勝浦・付近ヨリ
歩城縣霞ヶ浦・大淵等行駛 鈴子角方ヨリ九十九里浜
入第ニ編隊約二十四機ハ九十九里浜ヨリ侵入房總、
半島等行駛後北九里浜ヨリ夫々脱走之ルが攻
敵未だ接觸未だ被害

施設二ヶ所、重傷一四輕傷二三

民家全焼八戸町佐倉四破全焼半焼三戸

主な被害

國府海賊本庄焼参小田原縣銃擊架落死傷二

山下館不智被取金壁、松原被口火田良見復物民家二戸全焼

戸半焼其住家四破全焼。大成駅等零死傷十三

山下駅等同様足利郡御前崎等死傷十人。伊勢原町東所裏更地

銃撃、東所裏被燒。上足柄町高井川ノ久山場銃擊火災大

交通用車両又兩相撞死一車之過錯等事發火事燒門運行停止

施設被燒二ヶ所

八王子駅附近等範圍三箇、瓦養三箇、横一マ

浅川町等範圍等範圍三箇、瓦養三箇、横一マ

二半焼三ヶ所等一箇不詳小田原市等二箇

香取郡等甚甚被燒無數、攻撃十九處

靖王縣下被燒廿ヶ所、通信不通三報告未着

382107

大臣

總理

檢思秘第一三八四號

昭和二十年七月二十五日

大阪控訴院檢事長 遠 藤 常 球

司法大臣 松 阪 廣 政 殿

内閣

總理

六月

常

球

六

敵機來襲ニ因ル空襲被害狀況報告

標記被害狀況前報（昭和二十年六月二十一日）後本年六月末日迄ノ分

別紙ノ通ニ有之候條爲御參考及報告候也

裁判所

382108

大阪控訴院管内空襲被害一覽表

昭和二年六月末現在

考

六月七月

警備參謀二、消防署長、大隊有應前副總
直隸所二、機械署一部、便商三、軍械學
校二、憲兵分隊一大隊、陸軍補給隊、艦船
輸送司、金部衛生試驗所、大隊共六部
京改神電文、商辦中英市場擴充局、
禁菸委員會、市電、車庫及同車輛工場
五、同車輛一、其他重要施設、金庫
水池地盤、附屬施設、公祭橋、車場、破城
橋、帆船三解四、汽船、小艇二、
工場、礦害六月、百尺七日、通二三〇五三
行方不明二一。

382111

裏面白紙

382112

機密第六十四號

昭和二十年八月十四日

滿洲方威刑所監事正安倍

司法大臣
檢事總長
東京控訴院檢事長
秋山並助
要殿

空襲ニ因ル被害狀況報告

昨十三日來變セル敵機ニ因ル管下被害狀況概不別紙ノ通りニ有之候

茲此搜報告候

向處事施設ニ對シテモ若干ノ被害アリタル模様ニ有之候

吉林省
昭和二十、九、一
機密第六十四號



382113

月日時	被害年	被	害來襲	投下彈	死傷者	建物被害	空襲被害狀況表(午時)	
							地域	機數
二八一 午后一時三十分至四時	三〇分	寺川	川	板浦	南	F六下 四心	爆彈 彈 燒 者	彈 者
						八	彈 者	彈 者
							燒 者	彈 者
							輕	彈 者
							計	彈 者
							全	彈 者
							詳	彈 者
							壞	彈 者
							全	彈 者
							壞	彈 者
							半	彈 者
							破	彈 者
							首	彈 者
							三	彈 者
							兩	彈 者
							失	彈 者

裏面白紙

382114

日記秘第二〇一號

昭和二十年八月六日

神戸地方裁判所檢事正

吉村武夫

司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
大阪控訴院檢事長 遠藤常壽殿

空襲機害狀涼報告

本日敵 B29 二百數十機阪神地區ニ來襲シタルカ其ノ被害狀況午後四時現在ニテ判明セルモノ左記ノ通り有之候條不取敢及報告候也

一、警報發令及解除
八月六日午前零時十八分空襲警報發令
同二時十八分解除

寄

(1) 縱督察署管內

全牛燒
一〇六三戶二八日

四〇八六名

(2) 御影警察署管内
死者 二十七名 (增加ノ見込)

二七八

四七五

五〇

九三名（增加）見込

死半全半全
者壞壞燒

(3) 芦屋警察署管内

死焉者

金資
優者

金匱要略

金華縣
壤燒爐

死半壘

382115

(4)

西宮警察署管内
罹災者
行先不明
軽傷者
重傷者
死者
半死半傷者
燒死者
燒傷者
管轄者
監視者
警戒者
全焼者
全罹災者
尼崎市内

七五名
一二二名
一二二名
一〇二一八名

一七八〇戸
四〇〇戸
三〇〇名内外
多數名内外

(增加ノ見込)

八〇〇名
一、五〇〇名
一、五〇〇名
多數名

(5)

382116

檢思秘第三七二號

昭和二十年八月十三日

神戸地方裁判所檢事正 吉村武夫

司法大臣 檢察院 廣政殿

檢事總長 中野並助殿

大阪控訴院檢事長 遠藤常壽殿

總檢察官報告書

八月十四日尼崎市ニ發生セバ空襲被害狀況忘記ノ通リム有之候
條此段及報告候也

記

裁判所

紀伊水道日暮德島縣沿岸ヲ經テ北進尼崎市ニ侵入セル同23
約九時三十分ヘ八月十四日零時十五分頃ヨリ一時四十二分頃迄
ノ間軍機又ヘ工機ヲ以テ毎本五十秒乃至一分間ノ間隔ヲ置
キ約九十波ニ亘リ主トシテ同市西南部工場地帶ヲ爆撃後大
阪北部奈良原北部ヲ經テ名張附近リ東海軍管區ニ侵入セ
リ

空襲報發會狀況

地區名 空襲警報聲令 燃燒警報聲令 爆炸警報聲令 爆成警報聲令

兵庫縣 二三、五〇〇〇〇〇七〇一、五四〇二、〇五
内海東部海面 二三、五五〇〇一〇〇一五五〇二、〇八

飛投下彈種及數

一百五十挺機槍彈 一千〇〇〇箇

其他大型炮轟彈 一千箇

382117

四 損害状況

詳細別表ノ通りナルを概要左ノ如シ

1 宮内省關係

被害ナシ

2 一般被害

人の被害（工場等ヲ含ム）

死者 一八名

重傷 一五名

輕傷 二六名

行方不明 七名

財物被害

全壊 七七戸

半壊 一三〇戸

全焼 四戸

半焼 一〇六戸

裁判所

導出カル工場及施設被害

日本製鐵運輸一號研究所

屋外變電装置破壊炎上

タリビン二臺直撃ニ因り破壊

オイラー二臺直撃ニ因り破壊

日本製鐵電力第二工場

變電所全壊炎上

四號汽樹炎上

屋外變電裝置破壞炎上

事務所 全焼

其ノ他所屬建物若干棟全焼

日本製鐵東發電所

燃擧ニ因リ本門一ヶ所破壊場内焼浸水二尺

久保田鐵工所武庫川工場

變電所一棟火災發生燃燒

日本油脂株式會社

潤滑油製造工場 二棟 全燒

副產石油工場 一棟 全燒

包装工場 一棟 全燒

假倉庫 一棟 全燒

尾崎製鐵舞鶴部

重要機械施設 約五〇%

一般 一 裁判所 約五〇%

倉庫何れも全焼全焼

日本石油尼崎工場

重要機械施設 約二〇%全燒

一般 一 裁判所 約二〇%破壞

尼崎船渠工場

原工場 一棟全燒

建造中ノ三〇〇〇噸級船舶直撃又依リ破壊

行方不明 二名

中山製鐵舞鶴工場

重要機械施設 約五〇%破壞

重要倉庫 約五〇%*

南側堤防二ヶ所爆破又より破壊

五 治安ノ狀況

前後八回ニ亘り敵ノ爆弾ヲ受ケ乍ラ飽器モ敢闇克タ被害ヲ
最少限度ニ止メ漸々五分ノ一ヲ焼損シ外側ニ過半數ノ壁
船頭ニ於テハ民心縮木自若也ノモノアリタル事廣島兩ニ於
テ使用シタク新型爆弾ヘ同成民合士勤務ヲ與ヘタルモノト
如ク本空襲ニ於テ之ヲ曉知スルニ難カウサセモノアリタ
名古敵機ノ股云云体ヒ潮次平靜ヲ收民シ國下ノ虛治安上憂
顧スヘキモ人ヲ認メス

六 萬ノ能

本空襲カ前線ノ姫松庄シテ正場ニ指向セラレタル爲其ノ
被害ヘ蓋シ相當大ナルモアリタルモ母工場材工場等ヲ除
キ殊開亦相當過半シ居タル爲外觀的被害ニ比シ機械施設
ノ被害ヘ必クシセ大ナラサムセト思考セラル

裁 刑 所

382120

八月十四日空襲被害二覽表

號名	社	害場所	禁牌	種	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
危謹	已	上高松	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	三	海岸	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	二	松	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	一	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	六	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	五	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	四	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	三	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	二	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	一	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	六	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	五	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	四	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	三	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	二	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者
周	一	周	禁牌	燒	死	者	重傷	輕傷	警衛	不明	全燒	半燒	燒	的	被	害	瀕死者

裏面白紙

382121

庶第二、二二六號

昭和二十年八月三日

大津地方裁判所檢事正 藤原末作



司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
大阪控訴院檢事長 遠藤常壽殿

空襲被害狀況ニ關スル件

七月三十日當管下ニ敵小型約二十五機、數機宛ニ分レテ來襲シ爆
彈投下並機銃掃射ヲ爲シタルカ其ノ被害狀況左記ノ通ニ有之候條
此段及報告候也

記

檢事局

一日時 自七月三十日十二時二十一分頃
至同 十七時二十三分頃

一投下彈ノ種類及數

小型爆彈（推定二十枚乃至五十枚）二十四個、ロケット爆彈五
個、其他機銃彈多數

一被害程度

死者一三名、重傷者一四名、輕傷者二七名
全燒 一棟、半燒 二棟、全半壞 四棟

一被害狀況

- (1) 大津市所在大津少年飛行兵學校ニ八個投下シ死者二名、重傷
一名、輕傷十三名、作業場一棟半壞ス
- (2) 同市大津海軍航空隊ニロケット小型爆彈五個投下シ輕傷一名、
木炭倉庫一棟半壞ス
- (3) 同市滋賀海軍航空隊ニ十四個投彈大工場一棟全壞シ其他修繕
工場二棟小破セリ

裏面白紙

檢事局

302122

(二) 省線守山驛ニ停車中及近江八幡驛篠原驛間ヲ進行中ノ各旅客
列車並草津驛、近江八幡驛ニ何レモ停車中ノ貨物列車ニ機銃
掃射ヲ加ヘ死者十一名、重傷者十三名、輕傷者十四名ヲ出シ
タル外機關車一輛、客車二輪ニ小被害アリ

(三) 其他民家及山林内ニ投下及機銃掃射ニヨリ住家二棟全半焼シ、
防空監視所二個所ニ機銃掃射ヲ受ケタルモ被害ナシ

382123

奈良地方檢察廳秘第二七七號

奈良地方裁判所檢事室

阪元不二男

司法大臣 松坂廣政殿
檢事總長 東野並助殿
大阪地檢院檢事長 遠藤常壽殿

17月10

空襲被害並敵機墜落狀況ニ關スル件

本月一日縣下ニ發生シタル空襲被害並敵機墜落狀況左記ノ通り有之
據此段及報告候

記

敵機來襲ノ狀況

檢事局

P 1 約二十機

- (2) 敵機來襲ノ經路
九時三十分頃志摩半島ヨリ侵入伊丹、柏原、吹田方面ヲ超低空
ニテ分散攻撃後三重縣境ヲ南下シ九時四十分頃尾鷲方面ヨリ
南方ニ脱去セリ

(3) 攻撃方法

- 敵機ハ伊丹、柏原、吹田方面ヲ攻撃後九時四十分ヨリ九時四十分頃迄ニ四機乃至六機ノ編隊ヲ以テ縣下中央部ニ侵入主トシテ
交通機關ニ對シ機銃掃射並ニ小型爆弾ハ投下ヲ爲ス
ニ被彈地域
(1) 奈良市大宮國民學校及省線奈良驛
(2) 山邊郡丹波市町大字豊田領大和航空隊
(3) 生駒郡平城村大字秋篠車需兵器廠集荷所附近
(4) 機城郡川西村大字梅戸民家

三、投下彈種及數量					
前項	(1) 之地點	機關銃彈	數	不	詳
(2) 之地點			數	不	詳
(3) 之地點	燒夷實包	數	不	詳	詳
(4) 之地點	燒夷實包	數	不	詳	詳
(5) 之地點	小型爆彈(二級)三個及 燒夷實包	數	不	詳	詳
(6) 之地點	機關銃彈	數	不	詳	詳
四、被害狀況					
1人	死	者	一	名	(海軍豫科學生)
負傷者	三	名			
五、口物的被害					
金	燒	納家	一	棟	
半	燒	住家	二	棟	(燒夷實包ノ落達ト推定)
他	二	機關車	二	輪小破	、電車四輪窓硝子等破損セリ
六、施設被害					
省線帶解驛及近鐵檜原神宮驛省線奈良驛ニ於テハ輕微ナル損害					
ヲ蒙リタルモ間モナク復舊ダイハ通常通り遂行セリ					
真ノ他工場、事業場等ニ對スル被害ナシ					
七、防空機關ノ活動狀況並治安狀況					
敵機來襲頻發ノ度ヲ加フルニ當リ愈々緊張ノ意ヲ昂メ各防空機關					
ハ警報發令ト同時ニ迅速配備ヲ完了待機中奈良丹波市附近ヲ銃撃					
中ノ第一線ヲ受ケ候、イテ省線奈良駅大宮國民學校攻撃ノ第二報ア					
リ次々ト被害狀況ノ報告ヲ受ケタルガ防空機關及隣組員ノ初期勝					
火活動ニ依リ被害ヲ最少限度ニ喰止タル爲メ一般ニ士氣昂揚シ治					
安上憂慮すべき點ナシ					

裏面白紙

檢事局

敵機墜落狀況

九時四十分頃、城郡朝倉村大字岩城ニ於テ、敵機ト認メラルモノ
一機墜落炎上中、断續キ九時四十五分頃、吉野郡高見村大字谷尻附近
ニ敵味方不明機一機落下、傘一個墜落セリトノ報告ヲ受ケタル。各所
輦醫察署ハ直ニ醫藥官及醫防團員ヲ以テ、搜撫隊ヲ組織シ、検査ノ結果
果十一時頃ニ至リ、一機発見 P⁵ ナルコト。搭乗員即死ス。十二時三十分頃
ニ到リ、他ノ一機ヲ發見炎上大破シアリタルモ P⁴¹ ナルコト。判明搭乗員
は、同墜落地附近ノ山林内ニ於テ敵兵一名ヲ逮捕シ、直ニ奈良地區憲兵
隊ニ引渡ス。右二機ハ何レモ大和航空隊攻撃ノ際、同地上戦團員ノ銃
撃ヲ受ケ墜落シタルモノト推定セラル。

以上

382126

奈良地方檢察局檢秘第二七六號

昭和二十六年八月九日

奈良地方裁判所檢事正

阪元

不二男

司法大臣 松坂廣政殿
檢事總長 中野並助殿
大阪控訴院檢事長 遠藤常壽殿

空襲被害狀況ニ關スル件

七月三十日縣下ニ發生シタル空襲被害狀況左記ノ通ニ有之候條此段及報告候

一、來襲敵機ノ狀況

記

檢事局

(1) 機種及機數

F4U F6F數十機（一部S8AC含ム）

(2) 敵機來襲ノ經路

來襲艦載機ハ第四波二分ル

八時三十分頃ヨリ十一時三十分ノ間紀伊水道ヨリ侵入シ第二波ニ分レ主トシテ縣下ノ攻撃目標ヲ大和航空隊飛行場及交通機関トシ中小型爆弾投下及機銃掃射を行ヒ紀伊水道ヨリ脱去ス
十二時二十五分ヨリ十四時四十五分迄ノ第三波十五時三十七分ヨリ十六時五十二分迄ノ第四波何レモ十數機編隊ニテ紀伊水道ヨリ北上シ縣下ニ侵入大和航空隊飛行場ヲ攻撃シタル後奈良市上空ニテ小型爆弾ヲ投下シタル外縣下各地區ニ對シ機銃掃射及小型爆弾ヲ投下シ縣下南部ヲ經テ紀伊水道ヨリ南方ニ脱去セリ

382127

二、投彈狀況
超低空ヨリ機銃掃射及一部小型爆弾ヲ投下ス

三、被害狀況

		被彈場所															
		死者		重傷		輕傷		全燒		半燒		全壞		半壞		其他	
		人	的	被	害	物	的	被	害	機	車	其	他				
計																	
一五		一		三	二	三	二	四									
一五				三	四	二	三	三									
二四			一	三		三	一	一六									
一〇				一			四	五									
六								四									
一								一									
九			小火	一				一									
檢																	
事																	
局																	
生駒郡高塚村信用組合																	
磯城郡朝倉村																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	
奈良町																	
近畿町																	
北都山ガスタンク																	

卷之三

3821

嘉慶二十年八月三日

名古屋地方裁判所檢驗正

卷之三

司 治 大 臣
檢 評 總 長
名 古 屋 控 訴 檢 評 長
池 田 中 武 勇
克 助 勇 政
齋 滉 政

客月二十四日六時頃ヨリ一八時頃迄ノ間西次ニ亘リ B 29
襲アリ之カ被害並治安狀況左記ノ通り有之候候及報告候

一
二

解令	○分
解除	○分
發令	一四點二五分
解除	一四點二二分
發令	一八點二八分
解令	一八點二八分
解除	一八點二二分
發令	一三點三五分
解除	一三點三五分
發令	一二點〇分
解令	一二點〇分
解除	一二點〇分
發令	零點零分
解除	零點零分
發令	零點零分
解令	零點零分
解除	零點零分

三
天
德

382130

第一次

六時二十分頃ヨリ小型機約一〇〇機岐阜、三重、静岡各縣上空ヲ經テ豊橋市、瀬戸市、豊川市、田原町、西尾町附近ニ侵入シ爆弾射並小型機彈投下後一一時四〇分頃脱去ス

第二次

一〇時頃ヨリB29約九〇機三重縣賀崎ノ上空ヲ過テ名古屋市南部工場地帯及半田市知谷町附近ニ侵入爆弾多數ヲ投下後一三時二〇分頃脱去ス

第三次

一時三十分頃ヨリ小禮機約七〇機渥美半島伊勢湾方面ヨリ豊橋、西尾、瀬戸市南及田原町慈母町附近ニ侵入行動後脱去ス

第四次

前回ニ引續キ小型機少數渥美半島赤羽根附近ヲ行動後一八時三〇分頃脱去ス

当機下彈

大型機ハ二五〇キロ爆弾ヲ主トシ之ニ一部五〇〇キロ、一〇〇キロ微爆弾及大型焼夷彈ヲ爆弾下、小型機ハ主トシテ機銃掃射ヲシムト共ニ小禮機ヲ投下ス

五機害狀況

大型機ノ攻撃目標ハ主トシテ名古屋市東部及半田市所在ノ軍事工場ニアリタルモノ、如ク小禮機ハ主トシテ轟下南都ノ飛行場及軍需庫船並沿岸船舗ニシテ機銃掃射ヲ飛行シタルカ曾テナギ長時間ニ亘ル

敵機ニ御ハラス被撃ハ比較的僅少ニシテ二五日一四時現在

死

重傷者

輕傷者

半燒

住工場

二〇一名

二六名

二六

382131

ナリ 真興復舊へ	全半毀工場	非住家
	同	住家
	山方工場	六九四
		三五

(一) 工場

宇田市所在護國第一〇〇工場本工場

(約六〇%生産滅復未明)

一機械工場熔接工場全焼組立

工場半毀復舊見込立タス

名古屋市所在愛知航空機水德工場

一稻富被彈アリタルモ約七割

大破

疎開完了シ居り生産ニ及本
ス影響僅少ナリ

(二) 軍事施設

豊橋海軍航空隊、伊良湖岬射擊場、被彈

(三) 通信施設

碧海郡佐美無線局アンテナ斷線

(四) 交通施設

省線宇田、乙川間一部損壊

(五) 船舶

一、沈没 二、大破

一、沈没

沿岸狀況

大型船ノ跳梁嶄々のナリシト小型船ノ威力殆ど見出ヘキモナウキ

382132

爲
成
都
民
ニ
參
ノ
勸
導
力
外
治
安
上
變
蘆
ス
ヘ
キ
モ
イ
ナ
シ

382133

日記稿恩加六二七號

明治二十年八月四日

名古屋地方檢察所檢正 江橋

司 法 天 田 松 阪 桂 敦
檢 事 總 直 中 野 並 助 伸
名古屋檢院檢正長 泡 田 克 勝

卷月三十九日管内一宮市方面ニ

B29

三

小

種

二

管

内

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

382134

六ボンド油脂焼夷弾又毒トシ大爆一一〇〇ボンド一油脂焼夷弾ツ
混用

(6)被害狀況

一宮市ハ既報ノ如ク客月一三日若干ノ被災被害ヲ蒙リ今國ハ第三
回目ナルカ今次被災ニヨリ同市ノ大半焼失シタル外一部近畿河村
三毛被騒發生セリ三一日午前八時現在迄ニ判明ノ被害ハ

五五三名

重傷者	四六七名
輕傷者	三四〇名
燒死者	四三八四九名
全焼	四三

工場	一〇三九五
住家	六九一
非住家	三

半焼	一四
住家	九五
非住家	一四

工場	二四〇名
住家	一四
非住家	一四

(イ)國清中社裏清田牌社全焼

(ロ)

(ア)

(イ)

(ロ)

(ア)

(7)治癒狀況

他甲小都頭攻撃幾次ニ亘リ既ニ今日アルヲ豫期シ居リタル市民ハ
他都市ノ駆馳ヲ生カシ事前二人以上ニ家財ノ喪失頭頸ヲ當駆シ居

失

一官帶舞場、一官枕邊場、商工經濟會、食糧營團一宮稻米所、
一宮中學校、國民學校四校、市立病院、赤十字病院、日本看護
會、春株輕合會、壽德空襲、四日市倉庫、川崎第二倉庫、東
邦ガス、中都鐵電所各全焼省線一宮埠名鐵新一宮埠ノ一部各燒

リタル爲狼狽メル事ナク帝都ニ劉備シ一統ニ平穀ニシテ釋迦尊御ノ後生等ナシ

(2) 七月三十日小笠原來襲ノ状況

(1) 報告令時

報告令

五時 七分

空襲

五時 一七分

空襲報解除

一七時 一七分

(2) 天候

晴天

一八時 一分

(3) 被撃機數並來襲経路

五時一〇分頃ヨリ B 29 一機ニ誘導セラレタル小艇延縄千百根御

前崎、尾崎ノ間ヨリ間断ナク管内ニ侵入分散行動後一七時頃迄ニ遠州灘方面ヨリ脱去ス

(4) 投下弾

主トシテ機銃掃射攻撃ヲ爲スト共ニ小型爆弾及ロケット爆弾ヲ使用、尙別添置傳ビラフ尾崎地區ニ爆破撒布セリ

(5) 徒歩状況

地下一圓ノ軍事施設、水力發電所、工場、市街地、等ニ機銃掃射ヲ加フルト共ニ小型爆弾及ロケット爆弾ヲ投下シタルモ來襲機數ニ比シ機雷ヘ打メ未確少ニシテ同日六時現在迄ニ判明ノモノハ死者一九名重輕傷者三九名住家全焼四、半焼五、全焼一〇、半焼二三ナリ

(6) 治安状況

十二時尚以上ニ亘ル長時間空襲ナリシモ主トシテ軍事施設ニ對スル攻撃ニ終始シ一般都民關係被害極メテ輕微ナリシ爲人心ノ不安

382136

筋 播 カ 外 駅 奥 路 线 ノ 交 通 フ 見 ス 、 同 交 通 線 路 、 工 事 施 工 施 施 于
子 ハ 來 路 情 況 ヲ 実 術 シ 運 行 並 生 滞 ニ 文 滞 ラ 來 サ ル 横 労 メ タ リ

382137

日記第二八號

昭和二十年七月三十日

福井地方裁判所檢事正代之兼事永井弘毅

司法大臣 松阪廣政殿
名古屋控訴院檢事長池田克殷

空襲被害復旧状況三回スル件

標記一件ニ關シ福井縣知事ヨリ別紙ノ通報有
之候條及報告候也

福井地方裁判所檢事局

三 救護状況

三十日午前六時市内外十ヶ所⁽¹⁾を救護所⁽²⁾開設シ各々全日午後八時八枚被覆シ患者ヲ收容シ三十日ヨリ市郊外集團避難者⁽³⁾田舎診療所⁽⁴⁾行ヒ三十日ヨリ更ニ日本中央病院外ニ所⁽⁵⁾三救護所⁽⁶⁾收録シ被覆ニ萬全ヲ期シテアリ

三十七日現在、收容患者一四七名ナリ

四 道路並⁽⁷⁾被覆体處理

軍事警察署⁽⁸⁾消防團員修道路市街ハ三十日終了シ終業官敷防園員被覆屍体清掃處理ハ平⁽⁹⁾三日終了セル引後未處理中トシテ三十日現在處理數三四五〇体ナリ

五 戰災者收容

各部隊三集團避難民⁽¹⁰⁾罹災者ハ一日中三萬六千人、⁽¹¹⁾被覆⁽¹²⁾三日終了セル引後

縫救光⁽¹³⁾施設⁽¹⁴⁾其ノ後モ⁽¹⁵⁾被覆⁽¹⁶⁾縫救光⁽¹⁷⁾被覆シテアリ

三十日現在無縫救光者集団收容可⁽¹⁸⁾トシテハ約八千名、⁽¹⁹⁾合⁽²⁰⁾罹災者ハ二万三千人⁽²¹⁾退キタル狀況トガ之葉無縫救光者數⁽²²⁾ハ八十ニテ⁽²³⁾寺院⁽²⁴⁾收容⁽²⁵⁾將⁽²⁶⁾救助⁽²⁷⁾為全⁽²⁸⁾期シテアリ

六 給食

(1) 非常炊事⁽²⁹⁾及⁽³⁰⁾駆逐⁽³¹⁾停泊⁽³²⁾罹災者⁽³³⁾舟⁽³⁴⁾八軍部⁽³⁵⁾ヨリ十万

食⁽³⁶⁾並⁽³⁷⁾被⁽³⁸⁾落⁽³⁹⁾ト⁽⁴⁰⁾十⁽⁴¹⁾万金⁽⁴²⁾運送⁽⁴³⁾又⁽⁴⁴⁾且⁽⁴⁵⁾被⁽⁴⁶⁾落⁽⁴⁷⁾三

集⁽⁴⁸⁾團避難者⁽⁴⁹⁾對⁽⁵⁰⁾之⁽⁵¹⁾被⁽⁵²⁾落⁽⁵³⁾於⁽⁵⁴⁾本⁽⁵⁵⁾島⁽⁵⁶⁾三十日⁽⁵⁷⁾三

割⁽⁵⁸⁾食⁽⁵⁹⁾予⁽⁶⁰⁾三十日⁽⁶¹⁾朝食⁽⁶²⁾迄⁽⁶³⁾收⁽⁶⁴⁾之⁽⁶⁵⁾食⁽⁶⁶⁾水⁽⁶⁷⁾後⁽⁶⁸⁾日間⁽⁶⁹⁾

米⁽⁷⁰⁾一人一百三十勺⁽⁷¹⁾割⁽⁷²⁾以⁽⁷³⁾中⁽⁷⁴⁾半⁽⁷⁵⁾水⁽⁷⁶⁾將⁽⁷⁷⁾有⁽⁷⁸⁾

三十日⁽⁷⁹⁾三十日⁽⁸⁰⁾被⁽⁸¹⁾落⁽⁸²⁾之⁽⁸³⁾後⁽⁸⁴⁾之⁽⁸⁵⁾

(2) 別⁽⁸⁶⁾食⁽⁸⁷⁾物⁽⁸⁸⁾八⁽⁸⁹⁾噸⁽⁹⁰⁾被⁽⁹¹⁾落⁽⁹²⁾三十日⁽⁹³⁾罹⁽⁹⁴⁾災者⁽⁹⁵⁾半⁽⁹⁶⁾日⁽⁹⁷⁾物⁽⁹⁸⁾

ヲ⁽⁹⁹⁾文⁽¹⁰⁰⁾世⁽¹⁰¹⁾常⁽¹⁰²⁾人⁽¹⁰³⁾員⁽¹⁰⁴⁾康⁽¹⁰⁵⁾之⁽¹⁰⁶⁾被⁽¹⁰⁷⁾配⁽¹⁰⁸⁾給⁽¹⁰⁹⁾之⁽¹¹⁰⁾アリ

配⁽¹¹¹⁾給⁽¹¹²⁾所⁽¹¹³⁾增⁽¹¹⁴⁾強⁽¹¹⁵⁾共⁽¹¹⁶⁾三⁽¹¹⁷⁾総⁽¹¹⁸⁾合⁽¹¹⁹⁾配⁽¹²⁰⁾給⁽¹²¹⁾実⁽¹²²⁾施⁽¹²³⁾方⁽¹²⁴⁾針⁽¹²⁵⁾ナリ

七、生活必需物資配給

無縫坡者收容所に於き三十日ヨリ銅鑄フンシ馬火輪子
燐燐子又金羅火者ニ於シ二十七日ヨリタオルマサテ其處
紙墨、生活必需物資、配給シ開設セリ

八、電氣

市内地圖明里兩度兎井被官三條市内、配電不能、而
リタルニ三十日ヨリ逐次復回ノ縣ノ警察署、市長所、總社
司令部地圖是事務等重事務ノ及工場等配電シ配電シテ
アリテ一般民衆ニ於テモ三十日莫打瓦三至レリ

九、通信

- (1) 放送用電線銀(福井大阪金太郎)ハ連絡リシテ敷設
ナガ軍用電話備用ニ利用セリ
- (2) 被害直後軍用通信ノ軍事警察署間ニ架設度急

通信ニ為シカ有

(3) 警察電話、上野幹線ハ翌三十日午後四時開通、平四百六

奉警察署ヨリ、直徳全部開通テニ至レリ

(4) 防災互通電話、業務ハ三十日中都第ニ直通電路開通ス

以テ直主機等附坐並観察本部ニ開設セリ

- (5) 通信電報ハ三十日午時通、並繋合復回テヤ一ト、今後
今部、御井地邑甚萬敷、市役所、警察署、金羅管局
等ニ於後請以主要機關、架設シテアリ
- (6) 放送局ハ被害ナシシモ配電ノ難度ニ於テ一時停止置カ
三十二年三月ヨリ放送開始セリ
- (7) 電信ハ二月半午後一時三刻開始セリ

十、鉄道

(1) 省線、官井支線、鐵道、車輛、鐵器等ノ亂道並復原

約六百米、鐵道三條、一號運行停止、ナリ名が手前
十一時五十分上り線支那通す

(2) 私鐵

(1) 京福線(福井市→大野町)、市内五ヶ駅及車站主廟
ヲ燒失セルシ以テ市内、運行不能、福井ノタルガ郊外、
開智駅(大野方面)新開駅(福井方面)迄平常
通り運行シ

(2) 福井線(福井市→武生町)、市内銀約一五軒、鐵道
了在之郊外、福井新駅迄平常通り運行シ
石越三ヶ駅迄上大木支線干シ

七 水道

水堀池、鷺池、天瀬池、中島池、馬場池、上庄直轄
蓄水池、大鳥池、中瀬池、中島池、馬場池、上庄直轄

各池、水堀池、中島池、天瀬池、中島池、馬場池、上庄直轄

八 電

福井電氣、福井電氣、福井電氣、福井電氣、福井電氣

社

福井電氣、福井電氣、福井電氣、福井電氣、福井電氣

九 重

重要工事、重要工事、重要工事、重要工事、重要工事

十 足

足利筋、足利筋、足利筋、足利筋、足利筋

十一 畜

畜産、畜産、畜産、畜産、畜産

十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

十三 鉱

鉱業、鉱業、鉱業、鉱業、鉱業

十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

十六 金

金物、金物、金物、金物、金物

十七 金

金物、金物、金物、金物、金物

十八 金

金物、金物、金物、金物、金物

十九 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十一 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十三 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十六 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十七 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十八 金

金物、金物、金物、金物、金物

二十九 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十一 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十三 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十六 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十七 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十八 金

金物、金物、金物、金物、金物

三十九 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十一 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十三 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十六 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十七 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十八 金

金物、金物、金物、金物、金物

四十九 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十一 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十三 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十六 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十七 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十八 金

金物、金物、金物、金物、金物

五十九 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十一 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十三 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十六 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十七 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十八 金

金物、金物、金物、金物、金物

六十九 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十一 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十三 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十六 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十七 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十八 金

金物、金物、金物、金物、金物

七十九 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十一 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十三 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十六 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十七 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十八 金

金物、金物、金物、金物、金物

八十九 金

金物、金物、金物、金物、金物

九十 金

金物、金物、金物、金物、金物

九十一 金

金物、金物、金物、金物、金物

九十二 金

金物、金物、金物、金物、金物

九十三 金

金物、金物、金物、金物、金物

九十四 金

金物、金物、金物、金物、金物

九十五 金

金物、金物、金物、金物、金物

九十六 金

(回) 長春市日本出下町國產屋第被炸作所一間空屋用變廢品
製造業員六三四名、工場建坪五三〇坪、入金廢品
石鑿頭器五個、損害約五〇萬円、外資料約三
万円、機械設備約二百万円焼失セリ。

十三、住民假設

(1) 亂後者ニテ數多他ニ自力ニ成リ假住民ヲ建設セシ
トスルモノニ對之ハ之ヲ暴認セシ建物障御地区ノ
主大之ヲ謀メ正方解ニシ。

(2) 聖徒ニ成リ孤獨ナレル者幾人及數軒貞女數名、此役ヲ
含蓄前立意アルニテ數名ナリセシ。

十四、復旧要員

道踏用水等、精稀、屢々、慮想其他若鹿鹿嶺復

日光裏主事員八名、轍齒初火事上之單擊防護員ヲ
以テ之ヲ主事總理稱、他、國民義勇隊及
學徒隊ヲ主勤者多々、而リ甚多勤狀況次風ナリ
諸部隊、總數三〇九九名
池口將軍隊、總數三〇五七名
學防隊員、總數三〇九九名
達成國民義勇隊、總數三〇五五名
學徒隊、延六九二五名

38214

2821

日記思齊
四五六號

岐阜地方裁判所檢事正 鈴木庄太

良知

和尙

機司

事法
總大
長臣
中松
野改
並廣
助政
敵敵

211

向公會

東海軍

警戒警報發令

七月二十八日午後九時十四分

10

襲狀況

臣等之機，一發不收。若一時以爲急，則其一
頃後，間各一機危々以至管下大堤半及其川。
因遼河之侵入，煙天渾攻擊々敢行々。

日記思序		昭和廿一年八月三日	
岐阜地方裁判所檢事正 鈴木 庄太郎		事務官 司法大臣 松改廣政殿 事務官 佐藤長中野並助殿 事務官 池田克殿	
名古屋控訴院檢事長		空襲警報發令二件ノ思想情勢及敵襲狀況等報告ノ件	
參考事項	其事項他	(岐阜縣)	東海道地區
狀 態	治 安	東海軍	東海軍
狀 態	害 狀 態	敵 襲 状況	敵 襲 状況
況	因 兵 被	敵 襲 二 案	敵 襲 二 案
況	敵 襲 二 案	敵 襲 二 案	敵 襲 二 案
別紙一通	別紙一通		
B29約7之機ハ二十九日前一時頃カリ三時四十分 頃迄、間各一機瓦ラ以テ管下大垣市及其ノ 周辺部ニ侵入シ燃天彈攻撃ヲ敢行シ、			
		警戒警報發令	七月三十八日午後九時二十四分
		空襲警報發令	七月三十九日午前二時四十分
		空襲警報解除	七月三十九日午後二時四十分
		警戒警報解除	七月三十九日午前三時七分
			候 天
			雲

一、敵襲ニ因ル被害状況

大垣市及其周邊地區ニ對レ六封度及百封度油脂焼夷弾ヲ投下左記ノ通被害發生セリ

(一) 大垣市

(1) 死者 三三名
(2) 傷者 六二名

(3) 全焼 四三七七戸(古河市約六割焼失)

(4) 半焼 一二七戸

(5) 罹災者 約二五〇〇名

(6) 主ナル焼失建物

大垣市役所、大垣郵便局、大垣中学校

大垣高等女学校、国民学校立校、大垣税

裁 判 所

務署、大垣西裁判所、專賣局大垣出
張所、西濃地方事務所、食糧營

圃仓库、私立病院四、大垣城、

護國神社

帝國鐵道大垣工場、東亞紡績大垣工
場、三菱等十六製作所、南工場

鐘紡大垣工場、特殊輕合金大垣

工場、合成化學大垣工場、揖斐川

電氣木戸工場

(1) 通信閑保

送電、警電不通

(二) 安八郡

神戸町 全焼 一〇戸

中川村	全焼	二八戸
半焼	四戸	
三城村	全焼	二二戸
半焼	二戸	
死者	五名	
牧村	全焼	一戸
和合村	半焼	一戸
死者	二名	
(二)不破郡		
垂井町	全焼	三戸
赤坂町	全焼	二三戸
荒崎村	全焼	六戸
青墓村	全焼	四七戸
綾里村	全焼	四五戸
半焼	六戸	
行方不明	二名	
家畜牛馬死	一〇頭	
(四)本巣郡		
鶯田村	全焼	一戸
半焼	一戸	
牛牧村	全焼	一戸
同村地内東海道線被木		

(固定規格B4)

約二〇〇米、間ニ亘リ點々
焼失セルモ列車運行ニ
支障ナシ

二、治安状況

大垣市民ニ於テハ敵襲ハニ丁テ期レ居タル處ニシテ防空態勢整備セラシアリタルト市民、敵闘ニ依リ被害モ最少限度ニ止メ一様二十歳昨茲ニシテ目下特記スベキ事象發生ニズ

裁 判 所

裏面白紙

332147

日記第二四號

西和年年月十四日

宋高宗于政和丙午年正月廿二日

司法大臣松阪慶政
監事孫長冲總理
名譽監督後監事長沙田
支那1313

卷之二

李月首軍隊，率萬騎在長橋北，橫渡
易水，夜急擊，殺獲甚多。追北者
有之，多失道，乃未盡也。

丙子
詩集

(圖三規格B)

内務大臣阿部源基殿
東海北陸地方總監敷
近畿縣各長官殿
富山縣下各警察署長殿

特高二秘第九一號
昭二〇八、六

富山縣知事岡本茂

以

空襲ニ対スル民心、動向ニ闇スル件

八月二日早曉、本縣ニ於ケル空襲狀況並ニ民心、動向左記、通リニ有之
玆致及申(通)報候也

記

一、警報命令狀況

八月一日 午后八時三十分 警戒警報命令
会 九時 分 空襲警報命令

八月二日 午前二時三十九分 公 二時五十分 警戒警報解除

二、敵機來襲狀況

八月一日午後九時三十分頃最初、第一波トシテ志摩半島ヨリ進入セリ

九約八機

續イテ八月二日午前零時四十分頃前田公標、経路ヲ以テB2力巡約二百機
八九乃至五機、編隊ヲ以テ遂次進入富山市(燒夷彈攻撃)(主トシテ小型五七)
下口(燒夷彈シテ約二十万発)後夫々岐阜、長野、名古屋縣ヲ經テ南方ニ脱去

三、被害狀況

焼失戸数 一二一。六戸(舊市街、九割)

罹災者数 一二一二人

死傷者数

死者 一五〇人
重傷者 三〇〇人
輕傷者 二二〇人

主な焼失官公衙

富山市役所 郵便局 富山駅 図書館 富山地区司令部

富山憲兵隊 禁學專門學校 師範學校(男女子共)

東海第九十六部隊(約八割焼失)

四、民人運動

同

一般の予想外に被害甚大ナル如一時、突然トセルを時日、経過と共に冷静、取次レ
當然末ルベキモノガ末タレト言ツタ感ニシテ全ク諱観的態度ヲ保持シアルモ、仔細
観察スルニ「敵ニヤラレタカラヤリ返ソシト云々及機ヘ及ビ強烈ナル復讐ノ欲
謂ガルヤニ見受ケラレ、唯當時、悲惨ナル状況ヲ語リ且ツ危難ヲ逃レシ安人念日リ
シドカッタ（辛カッタノ意）」ト言ツタ言動、ミ多ク旺盛ナル敵愾心、氣魄ニ富ム
敢闘精神等ヲ表現スルモノ薄弱ナルヤニ觀取サル、凡ニシテ一部ニアリテハ
當局指導、初期防火、其、他防空訓練、再検討

2. 友軍機二枚不ル怨嗟

3. 尸体対スル人情、低下

敵、論難スル声アリモ羅災直後ニ於ケル迅速且豊富ナル食糧、配給ニ一杯感謝レ
アリ此等、主ナレ意図友記、通りニ有之

記

富山市山王町

羽根清次妻

當三十七年

（友軍機、市上空飛行ヲ目撃シ

今テツテアンナモ、ガ能シニナル、癪ニサワル、今シヤ飛行機、音毛嫌ニツテ仕舞

ツタ、ヤメテ吳レ

富山市今木町出征軍人妻

白石某

當三十六年

（所空城中ノ屍体發掘現場ニ於テ）

夫ガ出征サレテ五ヶ年經ニマスカ七十五オノオ母サント子供五人抱ヘテ暮シテ居リマレ
夕町内會、役員ヤ役所ノ人達ガ空襲、時、所空城ニ入リ、居ル、大大大ノト卒業
言ハシテ居タ、テ此處へ入レタ、此、矣テス、夫ニ申譯アリマセン、此處へ入レト言ハレ
タ人ガ死ヌレ、其レニ前日敵方傳聞、空襲スルト云々居ル、ニ私等、聞カ
セズ、私が知ツテ居タ、遠イ村、避難サセテ居イタ、何モ知ラセテ、吳レナイモノカラ
コシナ事ニツテ仕舞、ツタ

富山市山王町清次妻

羽根

當三十七年

今造醜齡、米ヤ豆テ腹、空イタカラナカッタ、空襲ヲ受ケタラ至ル處、テ桶リ餌ヤ糞、
配給貰ひテ久シ、桶少、腹一ハ、仁ニ食、此矣ダケハ有難イ

富山市今町會社員

河西

當四十一年

松、勤務先、宿直ラシテ居タ、テ家族ガ全部（妻外子女三名）死ニ終ヒタ
此、林ナ事ニ成ルケド思ツテ先々カラ逃ゲテ終ト言ツテ居タ、ニ、全ク身元人モアリニシテ
彼、時、何故友軍機が出来事ナカッタ、テヨラウカ、實際敵、右スガ怪マテシタ不聞ノ處
ニ依ルト重要都市テナケレバ、友軍機が出来事ナシラダカ之テハ人民ヲ可愛相テス、御覧、
通リマルテ夢、林ナ深ク考ヘテ見ル氣モ致レマセン

富山市東田地方、火傷、依り入院中モ

382150

工員桑原清一

相當頑張。防火努力。力取目。警察。指導方法。改メ。ナレバ。敵側ニ飛セラル。バカリデス。彼、夜、敵機影ハ一生忘ヒル事が出来マセニ。石。電。付イテ。勝多系。ナラヌガ。此處へ来テ居ル人々。余リニモ。此。称ナ氣持が無イ。ガ腹ニタレク。史フ。

富山市石倉町

医学博士荒尾西信

自分处。病院モ七月二十五日テ全患者ヲ避難。右ノ退院サセテ居タレ。當局指示。良カツタカラ。患者ニ対スル被害ハ太カツタ。テアラウ。自分ハ上市町テモカ。病院ガアル。テ毎日沢山。患者ト接シテ居ルが如ニド。本空襲ニ逢ツタ羅焚者ガ不満ヲ唱ヘル者ガナイ。ハ不思議ナ。位グ。其レタケノ精神ト覺悟ガアヒ。日本。勝利確實アモ。但シ當局ハケツ訓練ヤ防空壕ナド。指導ハ。駄目。テ警防課。仕事ハ。今更何シ。意味モナカシタ。言ハル。待避訓練。物資家財道具。疎漏ハ。未空襲地域ハ。急速ニ指令ス可キダ。

幸ヒ富山市ハ死傷少ナカツ事ハ。全国的。キ。此。莫ハ強制疎開。急。喧ヒ。言ワタ事ニ基クモ。テ市民ノ神經ガ失テ居タカラ。アラウ。口傳報道。十隊ハ。目下。耳目ニ當山モ。テ何ヨリ。吾々が感謝。シテ居ル。奇樂隊。テモ活躍。セケントヤツテ。貰ヒタイ。

富山市諏訪川原町元製パン業

中屋宗一

當四十五年

當局指導モ。何。吉アタモ。ナ。今迄。戰訓テ良ク解シテ居リ。但疎開。徹底。スル施策。何。一トレ。強行セナカツ。罪。断念。テ許サレナイ。軍隊モ引附ケ作戦ト云ツテ見タ。但。目テ。此際。來ル。カ。反ル。カ。大攻勢。ヨリ外ナ。タ。其と。失敗。スレバ。死ニタイ者ハ。死ニ。敵。頭ヲ下ケタイ者ハ。下ケコト最初。國民。言ヒ。渡レテ。徹底的。ナ。攻勢。フ。ヤル可。キ。アリ。

富山市鉄砲町雜貨商

吉田信一

當四十年

飛行機。有ル安心シテ職場ヲ守レ。今迄。六シテ居タガ。二百機。木。木。飛行機。ガ。出撃。レナカツタ。ニハ。ヤレ。債券。献金。ト。眞面目ニ。協力シテ居タ者。ト。ツテ。劇リ切レナイ。残念ガ。否メナ。敵。居ル時。飛行機。テ。居ラナイ時。バカリ。ニ。タイナ。油ヲ消費シテ居ル。軍ハ。何ラシテ居ル。カ。解ラナイ。

富山市諏訪川原町會社員

永井平三郎

當五十年

私。妻。子。死ナセレタガ。今カラ。考ヘルト。妻。言フ通リ。始メカ。逃ゲテ居タガ。良カ。シト。恩。フ。初期防火。指導。信ジテ。無理。深人。ニ。努。テ。居タ結果。テ。眞面目。ナ。者。ガ。多。死ニ。居ル。死体。ナ。カ。モ。隣保。人。キ。町内。人。頼。シ。テ。モ。無理。ナ。イ。事。テ。ル。ガ。陳。一人。余。猶。持。テ。ツテ。吳。ベ。警。社。位。シ。テ。吳。テ。元。良。サ。ソ。ナ。モ。ダ。ト。人。情。冷。夕。ナ。死。刑。ニ。タ。以。上。ノ。血。殺。流。ヲ。禁。シ。得。ナ。イ。之。オ。隣保。組。鐵。ニ。少。ナ。カ。ラ。ス。盡。シ。テ。來。夕。者。ケ。直。面。シ。タ。現。寶。ク。ト。恩。フ。時。何。シ。ダ。カ。解。ラ。ナ。イ。

裏面白紙

382151

富山市

新村

某

(男)

六十年後

我々の政府は、
薩摩、大貯金や債券等、
薩摩、百何十機、
末襲、対し、友軍機、一機を攻撃して得て、
全部、灰飞煙灭。
初期防大、敢用セヨト指道す。矢石之ヲ正面ニ受ケテ其ノ通り、
敢用シタモハ皆死
シテシマツタ。
前内閣ハ政府ハ本土、对レテハ一機も侵入セレメイト云ヒ、又主要食糧ハ絶体感カナリ
ト言明シテ居タガ之モ皆嘘タマタ
軍、方テハ敵、本土上陸ヲ得ワテ即クト衣フガ斯ク大中都市ヲ灰ニシテシマツタ
絶体ニ上陸レナイデセウ
其ノ時テツテハ敵、鉄砲デ吾々ハ拳骨デ戰争セニヤナラン

(了)

日記第七號

昭和二十年八月十日

富士地方裁判所檢事正古屋 東

司 法 大 臣 松 阪 廣 政 殿
 檢 事 總 長 中 野 並 助 殿

名古屋控訴院檢事長池田 克 殿

被襲被害状況報告ノ件

八月一日早朝、本席、右ノ人窓に襲撃状況並民心、
 勤向、住居、移動形勢等を尋ねて通報の方之如く
 及非難者既ノ件

檢 事 局

臺北警察局情況

八月一日午後八時半分臺北警察局、内九時
 宜蘭市臺北警察局、翌二日午前二時半九時宜
 蘭市臺北警察局二時半分臺北警察局

二、敵機空襲狀況

八月一日午後九時半分台北最初第一波トより
 敵機空襲、進入テ、B29約八個機、滋賀、福
 井、石川、兵庫より通過し本席、進入テ、松原
 久エトナク、新潟方面へ进入テ

總合予測二日午前零時半分以降方面回復、
 經過テ以テ B29延約二百機、而乃玉五機、編隊
 リ以テ逐次進入、宮古島リ後東北方面（主トシテ）少數
 エレクトロン機東洋テ約三十萬發（後半空母空

整理後多少は減少するに後去せ)

三、被災状況

(一) 燃瓦戸数 二六〇戸(旧市街約九成)

罹災者数 一二一、一二人

死者約一八〇人(八月六日迄の数既入)

死傷名

重傷名約三〇人

軽傷名約二二〇人

第一波(被編隊力何等級強度トナノ影響)方而、後考セリ。従之、従ノ被災者、第ニ被市役中納油斷之従向キニ被災被械、被強ハ是初市死傷者、アガリニ被事、至多ナリ。市、元郷ヲ當ル者也。冲田川

検事局

設置立リ。被難者ヲ内、主に海賊次市内中心部立他旧市街、周辺地域、多被難者ア加タニ。シテ被強數力極端、弱多ナリ。シト而、車両搬風ナシ、及早避難ノ面、氣氛立チ、火災甚多。殊ト、全市及市周辺地域、至リ一面、火錆、瓦ルニ至リ。而防空壕内、待避強弱者、其一人飽々、近消火、被關入ヘ、残弱者、其名等後出、逾年生れ後數々、弱者、其力又一旦被械、此直角沿岸堤防河川等地等、民衆避難地選、同様シテ多數、集中被強、弱者、其名等直轄強、弱者、其死傷名為數、存

(二) 本燃瓦戸公衛

(手)

寄山弟及叔、寄少林子惠妙公、同桂子子
寄山弟厚与、寄山弟、因秀敏、寄山弟通
司空御、寄山弟通寔至豫、车马至九十九都
僊（金碑人寫後）寄山弟通寄門子子義
寄山弟通寄子林（平生之傳用）寄三寄山弟
寄山弟、寄山弟通寄山弟、寄山弟通寄山弟
（寄山弟通寄山弟）

御存故に御一之、御存故に御一之、御存故に御一之
安政御守宮御内神社（又傳御守宮内）守山御
造方（ミニシテ）守宮御内神社、御内守宮御守宮御
中御守宮御内神社（又傳御守宮御内）守宮御守宮御
御守宮御内神社（又傳御守宮御内）守宮御守宮御
奉事ナキヲ得

檢事局

事ナタリ得ナシト仰近、此御事、殊凡達
施屋、金銀の陰面白堂、好ク反映セラし御様
ノ好用極トナスル有力御事也、所幸ハ御即
リ此御事御心向之、薄揚々之御象多シ御達
仰テ有ニシハ御事、御影事有ニシ
リート名庭一株、御事、施屋事端、御事也
行子の御食事也、御事也
施屋中御食事也、御事也、御事也、御事也
御事也、御事也、御事也、御事也、御事也
御事也、御事也、御事也、御事也、御事也
御事也、御事也、御事也、御事也、御事也

先せんに付御用度、金庫へ定めたりアリ

四、報送事項一覧

旧市内市移地(市移部及車馬使五箇所掌、
多々)、右は移出する多數種(名を有し
及多市)、於テ機会に生じて取扱名、被收
寢、移行名、及宣示専門物也。本件合二百二
リ四月迄其生レ、書はリ九月五日写芸術院事
字係機、機運ニ備レ、又之平野ノ洋ナ屋
之、始より種作セキを羅喰名ハ後跡一戸其松
碑、前モレ所ノ多數ノ跡近處村、通報シ居ル改
一部ノ名、羅喰皆役中止リ、延テ酒屋、充テ居
有在敷カズ

市度(之毛ニ付テ)、御前御多應急策トシテ

檢事局

次、市内一定地域ヲ畫シ當時需要ナリテ、
戸税地可好ニ延好方坪、住宅ヲ建設シ及本
産業更原要乞、是モニ克ツル計画多シ近ク
建設ニ着手シ次第ア次トシテ内緒計画ア
且ウコトト御了底ナ

市内焼失及不獨少く、城内及多處破壊也
ハ、中等程度、及後社會ヲ復ケ執務ニ底ニ
制れ、於テヨリ而ニ市之通り穴の第大郎丸
及後國(京)宮山石川園、約納奉月二日
後至在處現居ニ底ナ

五、民心一動向

一般鈴、一ノ事例、波震震火大時、家
多々、及對日、經由上者、冷靜タ及居、身

坐事(アリ)力車(カリツ)ト言ウフ事(モノ)シテ金(カネ)ヲ歸
銀約銀名(シキヨウジンメイ)手持(ハンドル)アル及仔細(シキヨウ)銀萬字不ル^レ被
ニヤラシタカラヤク返ソウ^レト言フ反撫心及強烈
人情體心及強烈ヤク返ソウ^レト言フ反撫心及強烈
懲悔すル狀況^リ譯^フ且^ク乞願^リ免レシ申^マア心
感^フハ強力ウ^ニ辛^{カウナ}ト^モト言ウフ^ニ言勸
之久カ^ク狂廢ナル教悔心及魄^ニ寫ム教閣被
御守リ志既^シ乞^フモ^レ薄弱ナルヤニ肩取セラレ
而一部^ニ立^チテ

ノ第^二事^ニ指揮^シ初^モ防^ヒ也、主^ト他^モ空刺練

再檢討

(二) 友^モ敵^モ熟^ニ忍^マ差

檢 事 局

省^シ諸難^ニ聲^{アリ}及羅堅^ニ並^ハ候^ス故^ニ人^ハ迅速
且^ク豐富^タん食糧^ハ彼^ノ旅^ニ一様^ニ支^シ候^シウ

ア

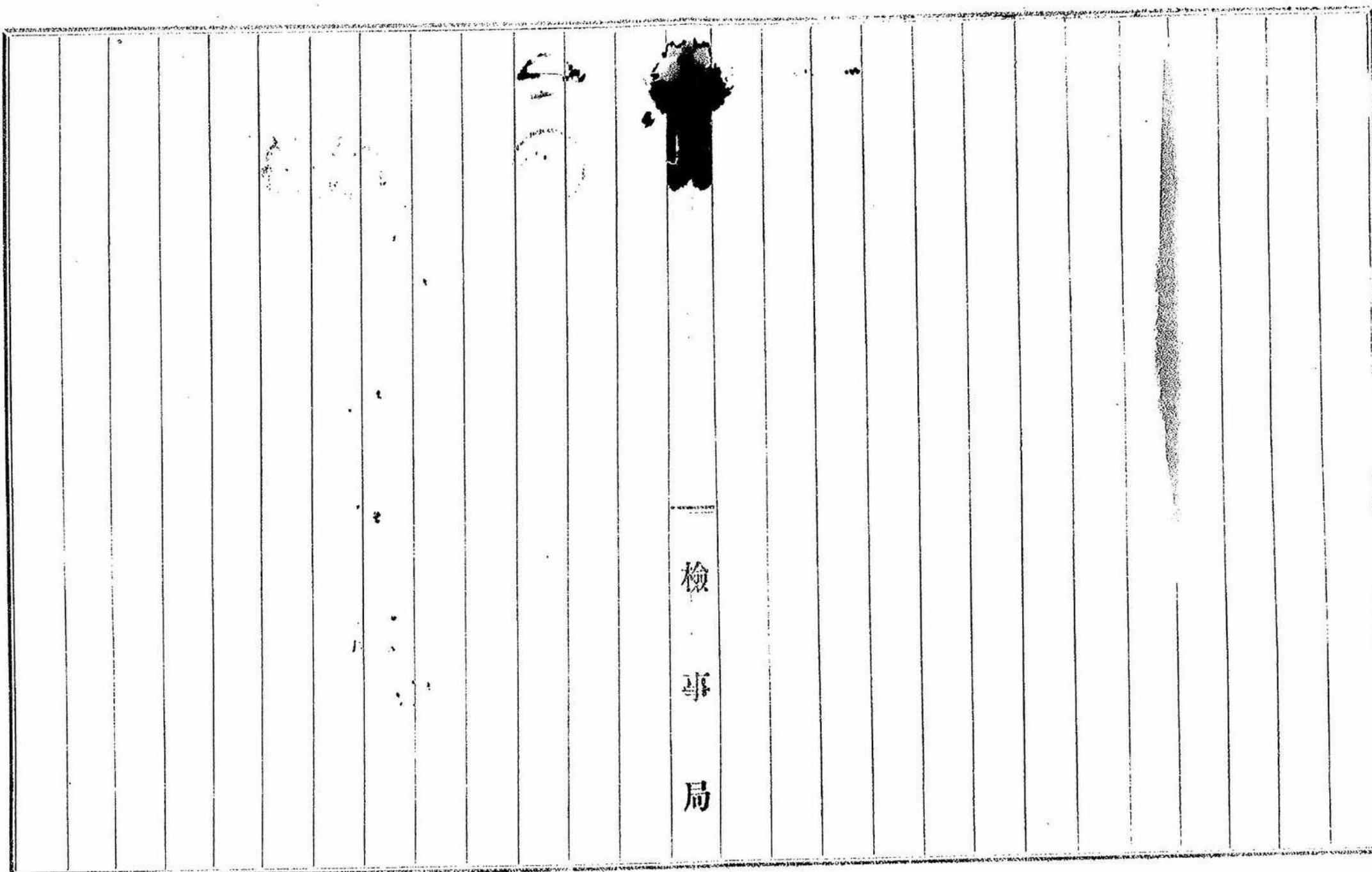
高^タ次^ニ空襲^シテ七月三十日和歌^モ二機石
川敷^モ方面^{アリ}在^リ即^ハ入^リ市^ニ事^ニ度^シ處^ニ處^ニ
拂^フ上空^ニ形^シ前^モ空襲^モ行^フ軍^四角^約四千
枚^{アリ}極^シ撒^シ撒^シ方^ノ該^シ軍^ニ高^タ空^モ市^ニ
爆^モ轟^モ同^モ標^モ而^ヘトシ^シ揚^モシ^ラアハシ^シ追^シ回

シ高^タ市^ニ及^シシテ、空^モ襲^シ必^シ至^リモ^レ恐^シ稍^シ稍^シ人^心
平^モ都^ニ生^シ隣^モ開^シ急^シ窮^シ一^モ状況^リ生^シシ^シ底^リ

以上

382157

檢事局



日記秋末六八號

昭和二年八月六日

司法大臣 松坂廣政殿
檢事總長 中野益助殿
東京檢察院檢事長 放山 要殿

靜岡地方裁判所檢事正 帶金悅之助

七月月中空襲被害狀況報告

本年七月中二於廿九管內空襲被害別紙ノ通りニ有之
候條及報告候也

382158

382159

空襲被害状況調

昭和三年自七月一日
至六月三十日

靜岡縣

382161

卷之三

日記稿第六九號

382162
昭和三年八月六日

軍令司 法大臣 松隈廣政殿
檢事總長 中野並助殿
東京監視院檢事長 枝山要殿

佐佐木

八月三日 空襲被害狀況報告

一、敵機襲來狀況

南方太平洋上に近接セル敵機動部隊ヲ發進、艦載機 F6F SB 2
& F4U、TB-F ナ主カトシ PBY、B-17 等少數陣ア混、客船三
十日前五時半分頃ヨリ午後五時半分頃迄向敷機或ハ三三十機
ノ編隊ニ分レ前崎方面ヨリ約三〇〇機、遠洋艦ヨリ約一〇〇機
伊豆半島駿河湾ヨリ約一〇〇陣、合計五〇〇機内外侵入、縣下全

城亘リ軍官民施設ニ對し終日及夜攻撃ヲ加ヘ、夕後南方海上
ニ脱去ニタリ

附
關
稅

二、被害ノ状況

別紙ノ通り

三、流言發生及流布狀況、流言具体的の内容

特記入ベヤモト

四、詭激思想抱懐者騒動ノ有無、其他苗意ヲ要スル思想情勢
视察ヲ強化シ在ルモ騒動ノ跡認メラサルモ空襲被害漸減大シ食糧事務
市逼迫ニ居ル現在更ニ视察強化ノ要ヲ認メラル

五、一般民衆ノ動向、其他治安上尚意スル事項

平時ニテ特記入ベヤモト認メラズ

六、参考事項

(1) 交通ノ信ニ及シアル影響

交通關係 東海道線並南秋、西八海松原至高、數駅及鐵路ニ被害ヲ蒙ク上

下線共不通トナリ、貨客輸送天影御音ヲ蒙ク(三日正午)
現在東八沿津、西八磐田駅間ヲ折返運轉シ停ル程度ト、其
一般交通ノ常ニ敵機在空シ銃撃アル為候中止、止ムキ状況ニ

シテ相当打撃ヲ蒙フ

通信関係、通信電話、郵便局等々、電線、電信線、大井航空隊、其他
蘇枝駅附近ノ被害ノ様子、縣西側面不通トナリ、被害甚甚坊
空対策等、困難ア来ニタリ

(四) 生産及シタル影響

拂曉時刻間断無敵機、未だ未だ工場促進員ノ未だ漏リ且各工
場其停運等、為作業停止困難ナリ、結果終日殆ド休止状態
ニテ生産ニ影響ヲ受ケタリ

(八) 空襲、特異性

今迄來襲群、艦載機ヲ主トシ若下終日（約十二時間）及復的三度襲シ、
撃方法ハ從來、如ク軍事基地及其周辺、鐵道等局部的目標ヲ指
向シ民意、沮喪、混乱ノ因タルモノ、如ク之又為飛行場、陣地、鐵
橋、駁船、小都市、漁港、聚落地、海上艦船、監視哨、無電施設、學校
工場、農村地帶等全般ニ被害ア蒙リ、被害ノ局部的シテ僅少ナ生
發生箇所多數ニシテ地威廉範ナル故民心ニ與シタル影響有亦甚カア
ガルモ、アノタリ

尚敵機、當初五〇架ノ内、只很小型爆彈ヲ投下シテ後連續的空

襲ヲ發射攻撃奉入

裁
判
所

382164

七月三十日縣下令龍衣被害狀況
皮書後編 正陽首段 建

一月三十日二時現在
被告

累積
主事
司行
有數

家非住家住家非住家

備

考

382165 日記丙第二五一號

昭和二十一年八月五日

(2) 高知地方裁判所検事正

川又一郎

司法大臣 松阪廣政殿
檢事総長 中野並助殿
大阪地方法院檢事長 遠藤常壽殿

七月十五日敵機空襲因ル被害状況報告
有此段及報告候也

記

空襲因ル被害状況報告

		起小型機		米襲機種及數		米襲時刻		米襲場所		米襲被撃數		死傷者		人員被害状況		家屋被焼状況		半壊小破		其		備考			
		三五〇機		自午四時分		午四時		午四時		午四時		午四時		午四時		午四時		午四時		午四時		午四時			
計		吉香	東安	下川	三幡	宣安	月幡	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	羅多	
川美	川藝	川口	村郡	崎多	村郡	崎多	村郡	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	崎多	
村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	村郡	
銃三	投彈七	銃九	投彈零	銃六	投彈二	銃五	投彈一	銃四	投彈三	銃三	投彈二	銃二	投彈一	銃一	投彈零	銃一	投彈一	銃一	投彈零	銃一	投彈零	銃一	投彈零	銃一	投彈零
二	二																								
八	一																								
三	九																								
九	一																								
五	五																								
臺自動車	一																								
死傷者内、内一名八	行方不明																								
仙人村、高岡郡多 杉濱村、高岡郡多 多村、高岡郡多 等安幡多郡多 天長藝多郡多 被銃爆多郡多 害爆多郡佐與																									

382166 日記丙第二六一號

昭和二十一年八月十日

高知地方裁判所検事正

川又基一郎

印

司法大臣松阪廣政
檢事総長中野並助殿
大阪控訴院檢事長蓬藤常壽殿

八月八日敵機空襲ニ因ル被害状況報告

有此段及報告候也

記

機種及數		米襲	米襲	米襲	米襲
時刻	場所	時刻	場所	時刻	場所
三三〇	新宇佐町	三三〇	高岡郡	三三〇	新宇佐町
六〇	(小型位)	六〇	(小型位)	六〇	(小型位)
拔彈數	機 械 彈 藥	ノ別及 撃	機 械 彈 藥	ノ別及 撃	機 械 彈 藥
死著	人員	死著	人員	死著	人員
傷著	家 庭 燒 燬	傷著	家 庭 燒 燬	傷著	家 庭 燒 燬
半 壞	狀 況	半 壞	狀 況	半 壞	狀 況
小 破	其 他	小 破	其 他	小 破	其 他
	備		備		備
	考		考		考

-382167

昭和二十年八月五日

高知地方裁判所檢事正

川又甚一郎

司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
大阪控訴院檢事長 遠藤常壽殿

空襲ニ因ル被害狀況報告
七月二十九日敵機空襲ニ因ル被害狀況左記ノ通りニ
有之此段及報告候也

332168

日記丙第二十八號

富知地
三
判官檢事正

川又甚一郎

司 法 大 國 松 阪 廣 政 殿
檢 事 總 長 中 野 並 助 殿
大阪控訴院檢事長 遺 藤 常 寿 殿

空襲ニ因レ被害狀況報告
敵機空襲ニ因ル被害狀況左記ノ通りニ
及報告候也

七月二十日敵機空襲張三園川被害狀況左記ノ通り
有之此段及報告候也

裏面白紙

月六日廣島空襲情報

清野寓

卷之三十一

入乎情報

廣東按訴院 同地方法所 王被害

言語文字

以下彈ハシナシノ如シ

半徑七半尺圓周內八宣經傳

卷之三

22169

10

思秘第一三〇號

昭和二十年六月三日

松山地方裁判所檢事正 大平廣

檢察官二十八、廿八



司法大臣 松阪廣政殿
檢察總長 長野並助殿
廣島控訴院檢事長 正木亮殿

奉月二十六日復松山市空襲被害並

治安狀態ニ端スケ報告

謹記空襲被害並治安狀態ニ付テヘ過日電報ニテ不收敢報告致誠候處其後判明セル狀況尼ノ通ニ候諸此段及報告候也

記

裁判所

第一 天候

所々ニ薄雲アル程度ニア就木晴天空變當初ハ無風ナリシモ火災發生後聞セナク各方濱向ノ風發生セリ

第二 攻撃概況

(一) 二十六日午後十時三十分頃警戒警報發令、同四十分頃空襲警報發令セラレ午後十一時頃 29一浪松山市中心部上空ヲ通過セル後聞セナキ同十一時五分頃敵機(以下何レモ)ノ一侵入同市古町方面ニ焼夷弾投下遂ニ火災發生シ之ニ次イテ單機乃至三機冠上空ニ侵入高度約四千米ニテ各万圓ニ燒夷弾加ヘ二十七日午前一時三十分頃迄延約百二十度(五十度位)ガ順次旋回セルモノノ如シノ攻撃生スルニ至レルガ午前五時頃既本鎮火セリ

(二) 投下彈

百ポンド並六ポンド油脂燒夷弾ヲ主トシ若干ノ黃磷燒夷弾ヲモ混

用セリ（爆弾ヲ投下セリト）風評飛ビタルモ燒夷弾ノ爆發スル音
響ヲ爆弾・炸裂スルモノト感受セルニ因ル流言ナリキ

(三) 被害關係

(1) 人員並機造物（三十日現在）

死者三〇一名（知名ノ者トシテハ湖城所長）

傷病、輕傷合計五十二名（醫務練習生六名ヲ含ム）

行方不明

一七名

家屋全焼 一六四六五戸

罹災民 約八二〇〇〇名

而テ學校、工場等概木焼失シタルガ免レタルモノノ中主ナル百
公署等至ノ如シ

城兵所、尋常、醫務署、市役所、聯隊區司令部、圖書館、日本
銀行松山支店、松山商業學校、放送局、城山天主閣、知事官舍

裁 判 所

國鐵松山驛・私鐵（伊濃鐵）松山市驛各運賃並モ國鐵ハ二十
七日中全通シ伊濃鐵ハ高濱線（電車一フ除キ三十日ヨリ全通
セルモ石炭貯藏量少ク短時日ニテ運輸休止トナルモノノ如シ

(八) 電 話
送電・營電トモ不通 電信ハ極メテ遲延・狀態ナムモ利用シ得
ラル

(二) 水 利

上水道ノ設備ナキ松山市ハ一般ニ汲上井水ヲ使用シ居リタル爲
市内所々ニ飲料水アリ裁判所モ汲上ニ成り大ナル支障ナシ

(ホ) 主要ヶ所ノ復舊ニ力メ一部ヲ除キ二十八日中ニハ點燈セラレタ
リ
(ヘ) 報道關係
電氣線復舊ト共ニラヂオ受信本可能トナリ、醫務關係ハ醫務署
・市役所健在ナム爲サレン、醫道ニテ適時傳達セラル

第三 治安状況

(1) 敵變中ヨリ松山警察署ヲデオ班活動シ・一面警防調係醫藥官等邊
民等が極端ニ近キ「町内防火」ヲ強調シ避難者フ阻止セラカ如キ
場面モ何ヶ所カ見テレタルモ其ノ端ニ死傷者增加セリト認メラ
レタルモノナキガ如シ又爆弾投下ノ流言飛ビ避難者ヘ相當恐怖シ
居リタルモノ其ノ度ナカリシ當間モナク安堵セリ而ナ醫藥署被害フ
免レタルタメ治安ニ對スル信賴感フ保持シ得タリ又配給關係ヘ市
役所・金融關係ハ日銀支店夫々在ナル爲人心安定ニ大ナル效果
アリタリ

(2) 半島人ハ市内ニ約三百五十世帯アリタルモ罹災セルハ五十世帯位
ナリ・而シナ半島人ニハ根本逃避ハ傾向アリテ密ニ船舶フ利用シ
(潛匿又ハ小船乗受フ策スルモノト思科セラル)半島ニ歸郷セシン
トス時風浪摩打リ・然レドモ半島人暴動等ノ流言ヘ飛バズ

裁 判 所

(3) 罹災後電器・食料品・自衛武器・輪轂等相当發生シ居レバガ
三十一日現在二名送致ヲ受ケ何レモ起訴シタリ

(4) 三津濱・道磯方面ガ殆ド被害ナカリシ附近ク之ガ攻撃フ豈クルヘ
必然ナリトナ不安動盪フ來シ居リシモ道磯ニ於ケル吳海軍病院分
院ニアリテハ軍ノ方針トシナ爾今避難セズ専ラ防空ニ力ムルヤウ
指令アリタルナニテ人心稍々安定期居レリ

(5) 「和歌山方面ニ對スル敵軍上陸説」

「松山市爆弾攻撃説」等ノ造謗流語アリ之ガ收賄ニハ萬金フ期シ
アル也未ダ論證セルモノナシ
而ナ空襲中我軍ニ於テ敵機一出ザズ撃滅フ列本ニア端樂スル實
体ヲ見テ第ニ對スル國體感ニ據レ居ルハ一概ニ制止シ得ザル實狀
ナリ

第四 戦判断關係

(1) 離舍被害

玄説正面爆発、並爆発ヨリ二階民撃法延々貢キ地滑ニ遭セル端丸
彈外殻体ノ一弾ヘ六ボンド體爆弾三十八個ヲ見難セル外殻体ノ破
裏底一各一箇アリタルモ他ニ破壊ナシ。

(八)(四) 人員損傷ナシ

機員田宅ノ焼失

裁判所側

所長官舍・岡野・大冢裁判事・書記以下二十五名

檢舉局側

檢舉正官舍・鶴川次席・今井兩檢舉・芥川書記役・書記六名

主計・監視六名中四名

第四刑務所附係

房舎一棟ノミ便手シタルガ收容者既決未決囚食計二百十九名中一命
死亡・十四名一過後高知刑務所ヨリ修繕セシ約百名中ノ構造等ノ此處
決囚ノミ一過付セリ

裁 刑 所

382174

思秘第一三一號

昭和二十年八月六日

松山地方裁判所檢事正 大平廣衛

司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
廣島控訴院檢事長 正木亮殿

先月二十九日子和島市空襲被害ニ關スル報告

標記被害概況左ノ通ニ候茲此段及報告候也

尚子和島區裁判所ノ移轉先ナル佛海寺ハ被害無之候

記

客月二十九日午前零時十分頃ヨリ午前一時過頃迄東南方ヨリ予和島市ニ侵入セル B 92 ハ高度約五千メニテ燒夷彈攻撃ニ依リ前回（

裁判所

同月十二日）空襲被害ヲ免シ居リタル同市街ハ殆ド島有ニ歸スルノ損害ヲ生ジタリ

死者 七二名

傷者 一〇四名（内車傷二二名）

焼失戸數 三七四八戸

罹災者數 約一〇〇〇名

ニシテ被害區域ハ

本町二二四五丁目、裡町二二四五丁目、北町、丸穂龍光院前、大神町、鶴見町、船大工町、北新町、須賀通、朝日町、壽町、藤江辨天町、和麗町、築地

各方面大部分ニシテ

被害建造物、中主要ナルモノ左ノ如シ

予和島工業學校、中央國民學校、予和島驛、四國配電予和島支店、阿部鐵工所予和島力燃器工場、國民動員署、食糧營團支所、和麗堂

382175

神社・放送局宇和島支所

次ニ汽帆船及破壊船合計十三隻沈没又ハ之ニ準ズキ損害ヲ蒙レリ
尚宇和島區裁判所ノ仮廳舍タル佛海寺ハ被害ナク又裁判所關係職員
中罹災セルモノ二名ノ模様ナリ

裁判所

裏面白紙

裁 判 所

382176

發第一六二〇號

昭和二十年十月一日

松山地方裁判所檢事正代理檢事

瀧川 寛平

大田 宙造殿

司法大
檢事總
長 岩田宙造殿
中野並助殿
佐藤祥樹殿
高松控訴院檢事長

戰時中空襲被害狀況報告

當管下ニ於ケル標記被害（船舶ヲ除ク）ニ關スル一覽表作成致候此
段及報告候也

382177

秀安縣空襲被害狀況（除船舶被害）

۱۷

愛媛縣空襲被害狀況(除船舶被害)		郡市分區	人命的被害	被奪財物	被燒毀	全體	半體	重傷	輕傷	燒傷	刺傷
宇摩郡	新居郎	今治市	四二	三九	一七	二八	一五	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	松山市	三九	三八	一七	二六	一四	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	幡多市	三八	三七	一六	二五	一三	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	鷲浜市	三七	三六	一五	二四	一三	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	新居市	三六	三五	一四	二三	一二	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	三五	三四	一三	二二	一一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	三四	三三	一二	二一	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	三三	三二	一一	二〇	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	三二	三一	一〇	一九	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	三一	三〇	一九	一八	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	二九	二八	一八	一七	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	二八	二七	一七	一六	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	二七	二六	一六	一五	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	二六	二五	一五	一四	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	二五	二四	一四	一三	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	二四	二三	一三	一二	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	二三	二二	一二	一一	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	二二	二一	一一	一〇	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	二一	二〇	一〇	一九	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	二〇	一九	一九	一八	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	一九	一八	一八	一七	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	一八	一七	一七	一六	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	一七	一六	一六	一五	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	一六	一五	一五	一四	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	一五	一四	一四	一三	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	一四	一三	一三	一二	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	一三	一二	一二	一一	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	一二	一一	一一	一〇	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	一一	一〇	一〇	九	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	一〇	九	九	八	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	九	八	八	七	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	八	七	七	六	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	七	六	六	五	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	六	五	五	四	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	五	四	四	三	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	四	三	三	二	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	三	二	二	一	一	一三	一九	一六	一
越智郡	周參郎	宇摩市	二	一	一	一	一	一三	一九	一六	一
宇摩郡	新居郎	宇摩市	一	一	一	一	一	一三	一九	一六	一

金燭羊燭金燭羊燭

望龍月日度卷

備考
前年
正月
受取ル

382178

卷之四

昭和二十年七月三十日

高公地方裁判所檢事正

司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
大阪地訴院檢事長 遠藤當壽殿

空襲被害狀況報告

當管下ニ於ケル云ル七月之十四、五日兩日並ニ七月二十八日ノ標題該
害狀況左記ノ通り付此段及報告候也

第一二四五兩日，空襲被害狀況
一敵機未襲狀況

裁 判 所

敵 F4F F4U F4Y 等約二六五機ハ德島縣高知縣愛媛縣及岡山縣等各方面ヨリ單機若ヘ數機乃至數十機編隊ニテ本縣上空ニ分散侵入本縣軍事施設タル林、託園、觀音寺各飛行場並ニ同邊境地區及瀬戸内海航行中ノ船及阪神地區戰災ニ依リ損傷運賃中ノ空母等ニ對シ各二機編隊ヲ以テ主トシテ銃擊一部爆彈投下ナシル後本縣東方海上及德島縣高知縣ヲ經テ南方海上ニ脱去セ

二 被害狀況

其 他		投 炮	統 擊	未 區 分 方 法
		一	一	沉沒
		二	三	大破
		三	四	全破
		四	五	計
		五	六	全燒
		六	七	半燒
		七	八	全壞
		八	九	半壞
		九	十	計
		十	十一	全壞
		十一	十二	半壞
		十二	十三	計

(1) 内へ軍關係施設ヲ示ス
(2) 人的被害

		來襲方			死、傷者			計
		空	海	陸	死	重傷	輕傷	
其ノ他	計	五	一五	一一	三五	四九		計
	空	五	一五	一一	三五	四九		

(1) 内へ軍人軍屬ヲ示ス
第二二十八日、空襲被害狀況

一 敵機来襲狀況
裁 判 所

敵 P4 P5 P6 P7 P8 ピソトアアイヤー B29 等小過機ヲ主トシ約百〇〇機徳島高知愛媛岡山福井等各方面より軍機若ハ敵機乃國數十機編隊ニテ本縣上空ニ分散侵入本縣軍事施設及ル林記園櫻音寺各飛行場並ニ同週邊地區及瀬戸内海航行中船舶既報ノ慶神地區ニテ戰災損傷擊留中ノ空母等對シ各二機編隊ヲ以テ主トシテ統撃一部ニ投弾シタル後侵入經路ト同様各方面ニ脱去セラ

二 被害狀況

(1) 物的被害

左表ノ通り

計	其ノ他	未襲區分			沈没船			計
		銃	投弾	爆	火被	大破	小破	
五	五	五	五	五	火被	大破	小破	五
二	二	一	一	一	火被	大破	小破	二
一	一	一	一	一	火被	大破	小破	一
七	七	六	一	一	火被	大破	小破	七
五	五	五	五	五	火被	大破	小破	五
一	一	一	一	一	火被	大破	小破	一
四	四	四	四	四	火被	大破	小破	四

(2) 内へ軍關係内擇數字ヲ示ス

計		銃	毀	喪	死	死
		擊	彈	屋	者	者
七 (六)	七 (六)				者	者
二 (二九 一四)	二 (二七)	八		一	重傷	傷
					輕傷	輕傷
	一		一			
三 (三)	七	三 (三)	六		一	計

御義ニ（日記第二〇一〇號）ノ以テ及報告候七日四日ノ新合被害左ノ如ク確定致候間併テ及報告候也

卷之三

死者九十五名
重傷一百零六名
輕傷二百零九名

(2) 物的檢察

金燒
一五、九三三戶
二八一房
一一八戶

(3) 署契者數

七二、九五七名（萬松市總人口一千四、四百五人）

裁 判 所

日記第一・八年

昭和三年七月三十日

徳島地方裁判所検事正 清田一郎

司法 大臣 松阪廣政殿
檢事 総長 中野並助殿
大阪控訴院檢事長 遠藤常寿殿

本月四日徳島市を中心敵機

空襲被害状況ノ聞入件

マリヤナ基地ヲ発進セル B29 約二百余機、本日三日深更ヨリ翌
四日早晩ニカケ姫路、高松、高知三都市ニ対シ熾烈ナル夜間
焼夷攻撃ヲ行乞ルカ徳島市亦敵機ノ攻撃目標トナリ約百

裁判所

機三九波狀空襲ヲ受ケ徳島市大部份ヲ焼夷死傷者多數
ヲ出シ廿一日現在迄ニ於危機况左記ノ通ニ有之候條此段及
報告候也

記

一、敵機空襲日時

七月四日 自午前一時三十分頃
至午後四時。合頃

二、警報及び令狀況

七月三日 午後十一時三分 警戒警報及空令

同月四日 午前一時四十分 空襲警報及空令

同 日 午前 三時 空襲警報解除

同 日 午後五時三十分 警戒警報解除

三、氣象狀況

風向南東、風速三、五米、天氣晴

一、敵機來襲狀況

敵機ハ警戒警報發令直後、晝午後十時過頃ヨリ陸続当地上空ヲ北進又ハ東北進シ及神並ニ中國方面に向ヒタルが、翌四日前一時頃、中設軍情報ハ右敵機ハ同方面ニ於危行動ヲ終、順次南方ニ脱去中ナルヲ傳ヘ既ニ警報解除、地方スラアリルヲ以テ一般市民ハ稍安堵シ居リタルコロ、同一時過頃別ニ新ニ南方洋上ヨリ来襲完敵機アル旨、情報アリタルモ市民ハ苏醒ノ關係ニテ前同様軍ニ當市上空ニ通過北上スルモノカト思料ニ居クニ豫期ニ相違シ空襲警報發令、胸毛同一時半頃突如當市ニ投彈シ、同四時過頃迄約二時向半ニ亘リ断續レ三十分波約百機カ投彈シ孰モ南方洋上ニ脱去セリ

一、投下弾

裁 判 所

七、封度 潤脂燒夷彈

四封度 エレクトラン燒夷彈

ノ二種ニシテ投彈密度ハ半縁子弾及ニ大型三小型一、割合ニ記徹底的花都市燒夷、企圖セルモノ如ク濃霧丸絨地爆擊ヲ受ケタリ

一、被害狀況

總 人 口	一 二〇、七二四
罹災人口	七一七〇三
死 者	七三四
重 傷	二五二
輕 傷	四二四
行 衛 不 明	一一一
(四) 家屋全焼	一七九五二

半焼

六二

ニシテ宣公衙全焼ニ、半焼一、學校全燒一六、工場全燒八二、半燒七、病院全燒二。等

一般民心、動向

① 今次、敵襲ハ空襲警報發全遲トアル爲不意ヲ衝カレタルト本ク當ナキ激烈ナル焼夷攻撃ナリシヲ以テ極度ニ戰標シ一時總諱足、狀況ヲ程シ敵機退散漫ニ於テ同動車又ハ友軍機、爆音ニヨリ競々トシ極度ニ不出動機レタルカ一部ニハ敵、攻擊威力到底抗シ得ミトシ畢竟敗戰的意圖ヲ洩ヌモノアリ殊ニ友軍機、迎撃ナキ爲軍不信ノ聲ハ增加し歟戰乃至反戰的氣運、胚胎ヲ見危狀況ニシニ其ノ立チル言動左、如シ

裁 刑 所

- (1) コンナコトニ速モコノ戰争ニ備テルヤウニ因ヘン
- (2) コンナコトニナル、ナラ德島ヘモニ、三台、高射砲位ハ据ヘテ置キ、必要カラツク
- (3) コンナ非道ノ因ニ遭フニ、軍人何、捕虜モ取リナシ、本當ニ阿呆ラシイ
- (4) 今度、空襲ニ警告敵ラホシテ置カナリタノ人軍大失敗ナリ
- (5) 小松島ハエライコト災害ラヨウタラシイ
- (6) 次、爆擊ハ石井ト國府ラシイ

(一) 近イ内ニ市内ノ残リ建物ハカリニ爆弾、攻撃ガアル

(二) 機銃カモ大々爆弾カ落ケタサウト

(三) 海軍兵、詰テヘア、晚、攻撃ハスカラワカリテ居タラキ

(四) 小松島山ヘ三枚続キ宣傳ヒラカ敵機カラ投トセ
タ夫レニダヌレ、繪ハ翻イテアリテ君達ニ斯称+

フドラサンチャルト、説明カツクテ居タ

一、刑務所囚人並德島署潜匿人、措置

德島刑務所全焼ナル時收容人員又三百名ニシテ
勢陰悪ト認、各禮序ヲ解放シ構内廣場ニ集合看
視中ナリカ建物全焼火勢熾烈、極々益々危険ニ類シ
乞乞固リ城外東側空地避難セシタルモ十石ノ死者
及現場ヲ無断主離レ未ト復帰セサル者ニ九名ヲ出セり
而シテ六百六十四名ハ七日四、五兩日二百リ之ニ隣接松野

裁判所

郡川村南國民学校収容シ(現在限省百七十人未決囚
九人ニ至極平靜ナリ)逃走因人三箇シハ各警察署
於テ検査中ナルモ其犯行ト認メル、モ川島警察署
管取ニ寄監一係アリタル外特別ナル犯罪、發生ナシ
尚徳山署留置室瑞穂六号附三十名當事者中ナリ方應
全被害ナカリシ厚解放スルコトナリ且何等事故ヲ發生
セサリシナリ

孰ニ時不通停頓シタルモ

一、尚通信關係配電關係水道關係等順次復旧
ニツ、アリ

一、治安狀況

1/左翼關係

(一) 特要、動向

罹災地域内ニ居住ニ居危特要八十名ニシテ内六名確

災シタルガ四惟災者及其、家族等ニ死傷者無レ然と共
空襲、大規模激烈ナリシニヨリ身ヲ以テ辛ジ避難シ
得ケルモ、トベ位家及家財道具、殆ドヲ焼失シ生活
ノ本據ヲ失ヒシトシ夫々繕故求メ假寓ヲ定メ家族
ナリシが罹災後間モナク夫々繕故求メ假寓ヲ定メ家族
ト共ニ移轉シ同下焼跡整理、或ハ勤務ニ從事シ
居タルガ精神的安寧定ヲ失ヒ戰々競タル状態アリ
之等、勤向ニ就テハ目下特異ナルモノ認ムラセガルモ
防空避難、疎罔等ニ封スル軍官、階級、村策
及罹災直後ニ於ケル官統制團体職員、措置
態度ニ付シ非難攻撃ヲ加ヘ軍官共ニ全ク無能
ナリト、言勤シ度を敗戦空至リ、意猶未だ居レリ
尚非罹災特要ニ在リテ次期空襲ヲ予想シ
災特要及其避難先左記通り

裁 判 所

元 住 所	氏 名	避 難 先
徳島市幸町一百	共乙 阿部五郎	海部市照和四丁目
同市西大町四百自	共乙 楠田增吉	名張郡国府町
同市佐井町一百	共乙 木勝室	勝浦駅横瀬所
同市三軒屋町一百	共乙 中川德三	海部市名東町三丁目
同市富里町三百	共乙 山田好文	大治浦郡勝古村
	共乙 桜井一	海部市名西町二丁目

(一) 特要以外、左列異端關係者、勤向

罹災地域内ニ居住シ居名左翼関係者ハ十四名ナリシ
ガ内過半數ハ罹災ニ特要同様夫ク緣故ヨリメ避難
疎開シ居リ非罹災者三社リテモ敵次期來襲テ予
想シ戰々競々家財道具或ハ家族、疎開ニ狂奔
中ナリ之が爲職勢ヲ拠集ニ居ル者多シ之等中
難災死者無キモ

徳島市中通町三百辯護士 秋田彰一

ハ頗爾輕微ナル火傷ヲ受ケ居リ
之等左翼關係者中固下容疑行動ニ及ハズ
者認ナレガルモ軍官、指導措置ノ缺陥ヲ指摘
判官ニ軍官ニ於信賴感極シ薄キ状況ナリ
又一説、若ニ在リハ戰災後於ル財產ハ昂揚、
必要性ヲ強調建設的態度ヲ示シ居ルモノ具体的的

裁判所

活動玉糸ルヲ以テ其執向府注意申

(2) 宗教關係

↑ 旧ハとのみち關係

徳島市佐吉西町一百 古田常五

外市内在住旧ハとのみち關係者ハ殆ド罹災
シアルガ「裸ニナツク位強イモノヘイ」トニ表面益々戰意
ヲ昂揚取闇申シツ、アル如ク認ナル

(2) 本門人呂淨風會關係

徳島市平島町一百 国野五郎

外聲教信者四名一般信者過半數罹災
シ夫ク組織改ホノ肆胸最シタルガ右幹部等ハ師
部在住信者ヲ頼リ避難依然熱烈ナル信仰ヲ

(國定規格B4)

總一 般民が法華經、信仰ラシナイカラ此、様ニ
ツク徳島市ケ火燐ニル事ハ判ツテ居タ等一般民、
法華經ニ對元無理解、結果空襲、災禍遭ツ
タト依然、首信的言動ヲ爲シ居レリ

(三)基督教

徳島市所在六教會中聖公會佐古教會、ハリスト教
會(正教會)ヲ除ク他、四教會、何とモ羅災全焼シテ
佐古教會ハ聖公會富田橋教會牧師吉本二夫が
業務店タル以ニ吉本ハ羅災後佐古教會ニ移轉
往者、羅災狀況調查ニ名ヲ藉リ離信附止三奉
正中ナリ。教會牧師様小三郎ハ老令ニシテ宣
露被災害苏生信老弱ノテ布教活動認メラレサ
リシモノナル。以ニ災害復活動全然認メラレズ

裁 刑 所

口トカトリック徳島天主教會牧師田中英吉ハ羅
災當時高知市所在、高知天主教會ニ在リ同教會
羅災ニテルヲ以テ急遽徳島市ニ帰省シタル處徳
島天主教會モ亦羅災に居タル以ニ信者數多
キ高知市ニ於テ教會再建ス。又高知市ニ向ヘリ
羅災教會ハ何レも時局、影響及信者疎闊ミ
リ再建不可能、狀況ニリ

尚信者、勤向ニ就ハ極力注意中ナルガ特異
ナルモ、証ナレタ

(3)在留外國人、勤靜

縣下於外國人、總數三十名ニシテ中、濱島市内在住
者、中國滿洲國及南方地域、留日學生、合計二十
名十卅八次、羅災外國人ハ

中國人 六名

ビルマ人 二名

コライ人 一名

スヌトヌ人 一名

ニシニ 負傷ラ蒙リタルモニ中國人一名アリ
之等罹災外國人、勤辭ニ開シテハ防護誅携四五ヲ
又含吉嚴注意寧ナルが何レモ罹災地域ニ於テ起居レ他ニ
移轉スルモノナキモ敵、空爆ノ極度ニテ只戰々
競クトニテノストロナク特異ノ勤辭ナキモ之ガ就聯居
住地等ニ就クヘ目下指達中ナリ

(4) 朝鮮人、勤辭並ニ犯難狀況

罹災朝鮮人ハ總數六八戸、三百二十四名ニシテ既ニ真
改轉出セんチニ一名ナガニカ轉出者ハ總ニ六戸五十六

職 制 所

キタル家族、隣園ニシテ青壯年層ト何レ支軍事踏
止マリ當局指導下ニ服サントナシ、特異事例ア
ルモ大ナル勤務係ニテサハルモ其多、ハ當財局、校
務功望ニ同輩生、氣魄乞シ、稍トモスレハ逃避
所勤向シテサントレシ、アルト目下學生会ニ指導シ
罹災地以外、學生會支会フリ罹災、朝鮮人ニ對
スル救濟、護慰向物高、寄贈ヲ厚シムニ一面學生会
ニ於テモ各罹災者ニ対ニ貢獻、金易ラ贈與スベ準
備、中ナルが今後、就職等ニ就クハ極力指導申ヨリ
ストサ基動向、探求ナリ高級罪ニ即シテハ懲處ニ於
ル金屬類、家取等風向アルリ以テ搜查中
ナルが本夕撫舉ヲ見ルニ至ラズ

重要物資被害狀況調

(1) 非常備蓄物資被害狀況

物資別	數量	物資別	數量
乾麵	五八八五袋(六五)	海苔佃煮罐詰	一八一八立
乳鬼用乾麵	一七五五袋(四八)	機械	一八〇立
煮乾	二〇四貫	亞鉛	七四〇枚
玄米	四三八六石	鐵釘	一〇九枚
醬油	一六三六(一五石)	木線	一六〇石
味噌	五三〇〇樽	金	一〇〇石
大豆	六〇〇〇放		

(2) 政府保有米麥被害狀況表

倉庫名	在庫量	飯用量	加工用燒失量	在庫量	飯用量	加工用燒失量
加茂倉庫	三六八袋	四袋	一一袋	二八袋	二〇六袋	二〇六袋
八万倉庫	八〇〇	三〇〇	三〇〇	二〇〇	九〇〇	九〇〇
富田倉庫	九〇〇	四〇〇	二〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇
富田決倉庫	二四八	三四〇	四一〇	一七八	一〇六	一〇六
合計	二四八	三四〇	四一〇	一七八	一〇六	一〇六

382190

(1) 織維製品被害狀況

品名	数量
各種作業衣	二九一、一三七、莫
工作業衣	七、七七四、及
生地	八、六八六、枚
蒲團	三、八〇〇、枚
綿被	六、一、三〇〇、反
原絨	一、〇、六〇〇、張
莫大絨	二、七、三〇〇、打
小絨	二、八〇〇、打
絨衣	六、一、三〇〇、打
絨布	六、一、三〇〇、打
絨童用靴下	六、一、三〇〇、打

(2) 石油被害狀況

機械	火	転	車	空	彈	彈	石	油	罐	別	數量
計											二、七一八
機油	一、二一四	四五〇	一、二一四	六二	一、二二四	二七〇	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
火油	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
転油	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
車油	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
空油	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
彈油	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
彈油	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
石油	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
罐油	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別
別	一、九六四	二一七	一、九六四	四五〇	一、二一四	六二	七一八	七一八	七一八	七一八	非常又八常備別

野藏場所

渡良太郎

良太郎

二十一日

良太郎

戦訓

中ノ都市無尾別爆撃ニ鋒先ヲ轉シタル
敵、焼夷夜爆ハ大都市以上ニ猛烈且フ
徹底的ニシテ絶対淺サヌ精密度ヲ有スモノ
ト認メラレコノ敵、戰法ニ對處ニ成功ヲ收ムル
為ニハ從來ノ如キ微溫的指導施策ヲ以
テシテハ決シテ十分ナリト、断言シ難ク迅速
且ワ徹底的ナル実行ヲ要スルモノアリ
七月四日徳島市空襲、降シ幾多々貴重ナル
戰訓ヲ体得シタルが其ノ主なる事項ヲ摘記ス

レハ次ノ如シ

第一攻撃要領

- 一 相当機數ヲ以テ攻撃シ来る場合敵機ノ一攻
擊目標ニ眼ヲ奪ひ安意感ヲ抱クコトハ
危険ニシテ席ニ意表外ニ出スルコトヲ考へ敵
奇襲攻撃ニ偽フル著意ヲ必要トス
- 二 敵機攻撃方法、極メテ正確性ヲ有スモノト
認メラレ第一番機先づ徳島市、北ネヲ東
ヨリ西ニ直線的投彈、次ノ二番機ハ市ノ
南ネヲ前同様東西ニ投彈シテ市ノ中心部
ヲ包ム如クナシ後続機ハソノ内部ヲ城塙

爆撃せり

第二敢斗精神、昂揚

一、數次、空襲ヲ受ケ徳島市民、敢斗精神
昂揚ニ闘シテハ屢々強調シ来リタルが既ニ
書間ニ亘ニ至ル爆弾攻撃ニヨリ一部逃避
的氣運、醸成セラレフ、ナリシハ否定シ難キ
事実ナレドモ敢斗精神、横溢セル内今ニ
在リテハ克ク初期防火ニ成功シ居レリ
二、敢斗精神ヲ昂揚持続セシムニ、安シテ
防火ニ專念セシメ得ル様平素、ヨリ著意シ
置クラ要ス。今次空襲、如ク四面火、海ト
化シ猶火ニ包マレタル場合防火ニ敢斗スルエ
最モ憂慮シタルハ老幼者、避難並ニ自己、
身、保全ニシテ四圍ノ火勢ニ注意シ、敢
斗セルモ避難路ヲ断タレニヨトヲ怖レ敢斗意
欲ヲ喪シ防火ヲ放擲シテ避難スル結果火
勢ヲ大ナラシメタルモノト認メラル、依ツテニ
避難路ヲ形成シ置クト共ニ老幼病者等院
空活動ノ為ニ得サルモノハ急速ニ疎開セシメ
置クラ要ス。

第三監視通信

情報

- 一、警察、通信、精神、通信線等殆んど地上に露
出たりタル為被害ヲ度ケ通信杜絶シ復
旧相当日時ヲ要シタリ依而重要通信施設
八全テ地下ニ移行シ置クヲ要ス
- 二、重要通信補助資材ハ為し得リ限り分散
確保シ置クヲ要ス
- 第三、防災、消防
- 一、堅牢建物周辺部、疎開ヲ強力且ツ迅速化
スルヲ要ス
。今次空襲、於テ徳島市内堅牢建物、被害ハ
殆ンド外部ヨリ、類焼ニ因ル
- 二、消防機関ハ警報發令ト共ニ成ルベキ空地広
場等、疎開シ出動ニ便ナラシムルト共ニ類焼防
止、著意ヲ要ス
- 三、重要施設、通スル消防道路、造成ヲ必要トス
家屋密集地帶ニ在リテハ消防道路、巾員
ハ最低三十メートルヲ必要トス
- 四、白壁倉庫ハ直撃彈ヲ受ケタルモノ、他ハ充
燒失ヲ免ルコトヲ得タリ
- 五、重要大倉庫又ハ重要大物資、ヲ格納セル倉
庫ハ、平メ警察、警防團、等ニ連絡シ置キ、重
要物資、燒失ヲ防止スル要アリ

。火勢下火トナリ自動ポンプノ出動配置ニ際シ
平素ヨリ連絡ナカリシ為重要ナル物資ヲ鷲有
ニ帰セシメニ事例多シ

第五救護

一、救護所ハ隔絶セル建物又ハ堅牢建物ニ選
定シ一般ニ周知徹底セシムルト共ニ救護要

員ノ席時確保ヲ圖ルコト

二、今次、如キ殲滅的都市大空襲ニ際シテハ

市内ニ保有セル救護物資ハ殆ンド鳥有ニ帰
シ初期、目的ヲ達成シ居ラザルト莫ニ鑑ミ被
害都市ノ救護資材ハ必ず近接市町村等

=於テ平素ヨリ充分確保ニ置ク、要アリ

三、救護、重災ハ先ズ以テ罹災者ニ対スニ食生
活、安堵感ヲ与ヘルコト之が為ニハ被害發
生ト全時ニ非常手段出テ急遽ニ実施ニ罹
災者ラニテ空腹感ヲ抱ケシメアル措置ヲ執
ルコト古矣上ヨリ見ルモ亦緊要ナリ

第六警備

一、防空警備、中心ハ警察官ニシテ警察、
指揮又ハ陣頭指揮ニ依ラサレバ絶体成果
ヲ期シ得サルコトヲ痛感ス

二、団地警防團員ハ警防活動ヲ期待シ

難に平素ヨリ警防園員、指揮掌握ニ格段
著意ヲ要ス

第七 其他

一、通信杜絶ニ且ワ饑倉焼失等場合關係官
廳、移轉先並ニ之ト、連絡方法ニシキ第二
第三、予定ヲ計畫シ置ク必要アリ

二、地雷、効果、相当大ナルモノアリ

三、木造建築物、敵襲ハ夜間特ニ高麗員、
増員、必要アリ

日記第ニ一號

昭和二十年八月二十日

印 十

富施方裁判所檢事正 古屋東

392196

大法大臣 岩田宙造殿
大審院檢事總長 中野並助殿
名古屋檢事長 池田克殿

藏貯罹災件報告

本月二日早曉、當市空襲ニ依リ當廳管内職員中罹災者左記ノ通、有之候條此般及報告候也

記

(朱書ハ應召入管者ニシテ墨書ハ外數ナリ)

區別

現在負
罹災者
上欄、内

檢事正

本
有
無
人
物
家
有
無
金
銀
鑑
燒
半
燒
其
他

書記

本
有
無
人
物
家
有
無
金
銀
鑑
燒
半
燒
其
他

書記長

本
有
無
人
物
家
有
無
金
銀
鑑
燒
半
燒
其
他

僉員

本
有
無
人
物
家
有
無
金
銀
鑑
燒
半
燒
其
他

計

本
有
無
人
物
家
有
無
金
銀
鑑
燒
半
燒
其
他

檢

事

局

備

考

應召入管者、住宅、
機械、金庫、密藏地域
外市外ナリレ為ソ
被害ソ免レタルモノナ

罹災者人名等

富山市雷電所官舍

富施方裁判所檢事正

（釋居官出縣上新川郡熊野村石田六六）

小倉和義

古屋

東（罹災者
三名）

富施方裁判所檢事

山本忠七、久松

(轉居先 富山縣上新川郡熊野村東里役勝禪寺方)			
「市 西田地方町中川旅館」 富山區裁判所 险事 柳瀨乙三	(家高於前 住福井市) (家高於前 住福井市)		
(轉居先 富山市太郎丸(法人富農養育園) 佐々木内)			
「市 神通町外洋吟事			
「市 神通町外洋吟事			
「市 西田地方八二 富山地方裁判所書記長 小俣貞次郎(一名)			
(轉居先 富山縣上新川郡上瀧町上瀧登記所内)			
「市 西田地方三四五 富山縣裁判所書記並務書記 中村忠造(五名)			
(日焼跡二段小屋建設居住)			
「市 西田地方 富山地方裁判所書記高記 碓波榮作(五名)			
(轉居先 富山市太郎丸青年公館内)			
「市 西田地方裁判所書記高記 田村純英(六名)			
(日焼跡二段小屋建設居住)			
	檢	事	局
「市 小泉町 富山地方裁判所書記高記 鷹取禪島外茂(二名)			
(轉居先 富山縣中新川郡上市町青杉)			
「市 西田地方町 富山地方裁判所書記高茂、庄 収野純之子			
(轉居先 富山市外中華居)			
「市 神通町	庄	高士孝子	
(轉居先 富山縣新郡大山村和田金善二方)			
「市 大泉町 富山地方裁判所書記高庭 武田ヨシシ工			
(船居先 上新川郡大田村西易)			

檢思秘第ノシツ號

昭和二十年八月三日

鳥取地方裁判所檢事正 松 鹿 正

司 法 大 田 松 阪 廣 政 殿
 檢 事 緯 長 中 野 並 助 殿
 廣島控訴院檢事長 正 木 亮 殿

鳥取縣内空襲被害状況等ニ關スル件(第二報)

七月三十日附ノ以ツテ標題ノ件及報告書候處七月二十八日、空襲ニ依ル被害状況其後左記ノ通り詳細判明シタルヲ以ツ及補告候

記

敵機米襲状況

檢 事 局

- 1、〇六・四〇頭敵少型機約百三十機ハ岡山縣又經ア鳥取縣西部ト
侵入シ美保海軍航空隊基地、米子飛行場、米子停車場ヲ主目標
トシテ山陰線沿線ニ攻撃ヲ加ヘタル後〇七、五六乃亞〇八、三
〇頃迄ノ間本縣東部並西部ヨリ夫々南方ニ脱去セリ
- 2、一、二九頃敵小型機約六〇機ハ岡山縣ヨリ鳥取縣西部ニ侵入
シ米子市周邊ヲ銃撃ヲ加ヘタル後一二、二二頭鳥取縣西部ヨ
リ南方ニ脱去セリ
- 3、一二、三三頃敵小型機約十機ハ岡山縣ヨリ鳥取縣西部ニ侵入シ
日本海ニ出デ船舶ニ銃撃ヲ加ヘタル後鳥根半島附近ヨリ鳥取縣
西南部ヲ經テ南方ニ脱去セリ

敵ノ攻撃目標

- 1、米子飛行場、2、美保海軍航空隊基地、3、米子驛、4、列車
- 5、日野川橋梁、6、米子變電所、7、日賣米子刷鋼工場

被害状況

(1) 軍施設

檢察官印
昭和二十年八月三日

印

備 考	寺 院	學 校	農 業	工 業	合 計	
					三	二
死傷者ノ數字ハ列車關係ノモノヲ含ム	、	、	、	、	一	一
兩者ノ外米子車内及周邊送電線・鐵道電話線ニ被彈・送電	、	、	、	、	二	二
送電不能之履歴タリモモ三十日夕刻迄ニヘ復舊セリ	一	、	、	、	三	五
夙大山口駅ニ於ケル列車被彈並損傷状況	、	、	、	、	四	七
島收驛後○四・五八下リ列車ハ○七・二○頃大山口駅ヲ距ル約四 本ノ地點ニ停避停車中敵小型機ノ銃炎擲テ受ケ機開車一輛中破・ 客車五輛炎上シ死者五二名重輕傷者二六名ヲ出シタル方舟轉米子 署ニ於テハ即刻入江營部補フ除長トスル數譜班ヲ編成シ醫藥收護 國ノ協力ヲ得テ現場ニ急行シ應急措置ノ上死者及重傷者ハ即時列 車ニ依リ米子市ニ搬送死車ヘ搬視ノ上假埋葬ヲ完了シ重傷者ハ米 子病院及博愛病院ニ入院加療セシメサセアリ	、	、	、	、	、	七

遂に不記止留リタルモ三十八日夕刻迄ニハ復讐セリ
島田郡ニ於ケル列車被暴並撲滅謀保
本ノ地點ニ停車中敵小型機ノ銃暴擊ヲ受ケ機頭車一輛甲破
器車三輛炎上シ死者五二名重傷者三六名フ出シタル方所轄兵予
署ニ於テハ即刻入江醫部補ク除染トスル敷設班ヲ編成シ醫藥救護
團ノ協力ヲ得テ現場ニ急行シ應急措置ノ上死者及重傷者ハ即時列
車ニ依リ拳子車ニ搬送死車ヘ搬送ノ上假埋葬ヲ完了シ重傷者ハ木
子病院及博愛病院ニ入院加療セシメサマア事

尙猶火列車乗客五百名ニ對シテハ一食分ノ非常發出ヲ實施配給スルト共ニ鐵道復舊工事從事者ニ對シテモ同様實施セリ

之方爲山陰線ヘ米子驛附近一ヘ一時不遇トナリタルモ米子驛並一七、二〇ヨリ平常運轉ヲ開始セリ

民心ノ動向

敵空襲ノ企圖ガ甲小郡間ニ指向サレテヨリ米子市及其ノ周邊村落ニ對スル空襲ハ時機ノ問題^{アリ}トシテ一説ニ斷滅シアリタル處ナルガ再度ニ亘ル前モ多數機ニ依ル空襲ハ歲初ノ事トガ敵機米子市初ニ於アヘ多數少動搖メ兆アリタルモ敵空襲ノ企圖ガ創ク迄軍事施設焚燒機器ニ當面サレアルヲ察知スルヤ民心ハ敵^{アリ}次安冠シ士氣頗ル旺盛ナルモノアリ

大臣

總理

382201

昭和二十一年七月二十八日

三七五

號

形寫

圖

檢

山口地方裁判所檢事

監立憲五

圖書印信

司法大臣(松阪廣政殿)

車務司長(中野並助殿)

檢察官(瀬島檢訴院檢事長西木亮殿)

人車課長(人車課長平井一平也)

會計課長

敵機來襲、因被害狀況事報告件(第三回)

調查

本年七月二十三時三十分頃より二十七時三十分頃迄當

施管

管下德山市方面に米袋を敵機依り被害狀況事

第一回電報(電話)報告後二十七日十六時頃之判明セ

ルモ、左記通り之候余此般又報告候

記

第一回撃彈狀況

六百多百斤、燒夷彈ヲ主トシ小型爆彈ヲ混用

セルモノ、如レ

第二回被弾狀況

一人員被害

死者約八〇名

重傷者約一〇〇名

輕傷者約一五〇名

罹災者數約二三〇〇名

二回失建物等、狀況

(一)一般民家

四德山市内(約八割)該處約八〇〇戸以上

382202

焼失と同市繁華街並官公衙門在区域
ハ殆ド全滅ス

(二) 官公衙其他主タル建物

1. 全焼 セルモノ

徳山區裁判所

徳山刑務支所

徳山警察署

徳山市役所

徳山郵便局

地方事務所

徳山中学校

勤労動員署

今宿及巧原而国民學校

徳山内燃機会社

廢品回収会社

岐陽重工業会社

桑田鑄物工場

廣田鉄工場

服部鋳工場

徳山印刷会社

防長木工會社

大東亜航空機工場

縣木社支所

伊崎鉄工場

2. 半焼 セルモノ

徳山曹達株式会社(第一回報告、全焼トセリ)

徳山燃料器機会社

曾根鉄工場

住福鍊炭工場

蒲賀蟹石工場

3. 食糧并医薬品等被害状況

(一) 食糧被害状況

毛利倉庫米ニヨリ依
北山倉庫、セラレ依

382203

西町精米所、五〇〇俵（合計三六五〇俵焼失）

食糧倉庫市内、四五〇俵（配給元一九ヶ所）

(二) 医薬品等被害状況

市内ハケ所三分散貯藏、在リタルモ内四ヶ所ノ四箇炎アリシ為其貯藏量、三分ニ以上ヲ焼失セリ

(三) 食糧需給状況

官四ヶ所 米ニ一〇〇俵
福川町ニ二〇〇俵（合計ニハラ〇俵ヲ保有
旧市内、五〇〇俵（此後約一周写復=給チ得ル旱込）

右外近接村タリ米川村（一〇〇俵）八代村（三三〇俵）鹿野村（一〇〇俵）勝向村（五五〇俵）、
四ヶ所村ヨリ合計四八五〇俵ヲ神給シ得リノ算

アリ從テ以下ト吉食糧欠乏基ノ憂慮ニキ

事態発生スル、虞ナレ

第三德山警察署内係被害状況等

同警署署、道路ヲ距テ、死在セル同市役所ト共
攻車主目標、一下セラシ為攻車開始初日猛烈、
火炎彈ヲ被リ被擊手柳井三郎テ焼失シ當時同署
中、者ハ司法同僚一四名特高同僚二名（但ニ強盜
容疑、半魚人ニテ思想事同僚アラシ）計一六名ナリ
シカ滿宣全員ハラ釋放シ死傷者ナレ尙署島中
ノ罹災者、自モ全焼ニ五名署員負傷者ニ有
家族死者四名アリ

第四司法部同僚被害状況等

ア/徳山正裁判所事件ノ分

徳山区裁判所モ同警官拿署ト同様攻撃ノ主曰
檜トセラシ為メカ投彈リ受シト激シノ特ニ他ト
異リ大型焼夷彈、投下數弾ノ後直當者者
松本某書記和田專務以下死ナシ儘シテ防護火
ニヌカメタルモ遂ニ及ハス全焼スルアシムナキニ至リノ民刑
通ヒテ既済又未済各記録(並)謹括昌ラ初メ
備昌器其部全部鳥羽歸セメタハ遺憾ナ
リ但シ登記原簿全部又昭和十四年度以前
民事判決原簿并昭和十六年度以ナシ刑事
判決原簿一数日前他陳聞置キシテア
焼失ラ免レシ)

二/徳山刑務支所關係ノ分

同刑務支所同区裁判所ト同一構内在ハ前項同様
行罪施スノ餘地ナウキウシテ當時拘禁中ノ刑事
被告人一一名ヲ解放壁難セシメ得シ思及キ而
シテ右二名中四名(内一名女子ナリ)ハ現在行衛
ヨウ(四名共逃走セシヤ罷死也ア詳)左モ残セ
名一輕傷三名ハ看守部長以下四名(看守輕傷者
統卒下燒肺現也於テ平穏裡ニ應急用
務就ナ居リ食糧ハ市役所ト交渉、結果特
別配給シ受クハコトシタリ尚右ナ名サシ罪名
別罪ハ

(1)公判請木依ルモノ三名(國家総務監督課又

第一 葦野機械室守護一職物故四名

(2) 賠式証本依りモノ八名(許該食糧官署徳山津)

又一 職物故買食糧官署徳山一筆務機

領守護一戰時守護ニ、守護三

ニシテ内守護一名(女子ナリ)、女仕ハ暴役十月、署式

命令アリ本月三十六日確定、予是ナリレモノ化ハ全額

未ク判決言度又ハ賠式命令ハ、發付ナカリレモノ又之等

ノヨリ記録并^ノ證書四、全額燒失^{シテ}

三 德山裁判死並同檢事局職員帽身狀況

一 德山裁判死

一名、延アラ除キタル判事林馨外以下全職員

自モ全焼シ又会計係官梅田人子、兩親共

行衛引物、登記所平川、宿、美母、直轄手彈

ヲ受ケ死亡ス

(2) 同檢事局

檢事田沼秀^ノ男ハ自モ、約三十發、燒夷彈十
八枚下ヲ受ケタルモ本人及家族、防禦火依リ漸
ク罹災ラ免シカ書記和田再秋^ハがれ、如ノ當
直中一自モ全焼、尚女子、宿子^ノ現在迄其、胸
息ナク罹災、有無程度不明ナリ

第五 鉄道其他、狀況

鐵道^ノ路線^ミ被害ナク從^{シテ}二十七日七時頃ヨリ
上下各列車^一共運行ラ開始シルモ德山駅^ニ於テハ
一般乗客、乗降ラ禁止^シ且^シ德山駅^ニ降車

382206

予是者ガヒテ上リ、周防官田駅ニテ下リ、柳ヶ浜
駅ニテ降車セメ居シリ
電話ハ難言之余、普通共徳山市内に於キハ不直ナ
リ。

第六 治安狀況

平穏ミテ現在迄ノトヨリ、更交慮ニキ事無火ナレ、但レ
在住半島人、罹災状態カ五五〇戸ヘ三二〇名、死
者一名、負傷ニ。名ミテ其ノ被害大ナリシ結果
半島人至一時相当地域搖アリモ、其生合挺身
隊幹部約三十名出動、直ニ半島人密集地
正ネル春日町役場事務所設置シ市役警
察當局ト相呼應シテ之ヲ鎮撫、努力メタリ

為向モナリ、平靜、歸シ。

382207

日記秘第三八號

昭和二十年七月三十日

松江地方裁判所檢事正

岡本梅次郎

裁判所

司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
廣島控訴院檢事長 正木亮殿

七月三十日

敵機來襲狀況報告ノ件

本月二十四日及二十五日ノ兩日ニ亘ル敵機ノ來襲狀況等左記ノ通及報告候也

記

一、七月二十四日ノ來襲狀況及被害狀況

イ、來襲狀況

第一波

敵小型機（F4F、P51）約三十機午前六時四十一分頃廣島縣ヨリ侵入島根半島東部及鳥取縣弓ヶ濱半島上空ヲ旋回ノ上同八時二

十分頃縣下能義郡安來町上空ヨリ鳥取縣方面ニ侵入逐次南方ニ脱去ス

第二波

敵小型機（F4F、F6F、P51）約二十機午後一時三十分鳥取縣弓ヶ濱半島（美保航空隊基地所在地）ヨリ逐次本縣ニ侵入島根半島東部港灣所在ノ船舶、片江防空監視哨ニ投彈機銃掃射ヲ行ヒタル上南進廣島縣ヘ脱去ス

ロ、被害狀況

死者二、負傷八、船舶損傷若干アル見込

二、七月二十五日ノ來襲狀況

イ、來襲狀況

第二波

敵小型機（F4F、F6F、SP2C）十五機乃至十八機午前六時二十分頃備後灘岡山縣ヲ經テ米子、美保航空基地ヲ攻撃シタル上島根半島上空ニ侵入島根縣八束郡片江村沖合航行中ノ船舶ヲ銃

爆シタル上同七時二十分頃鳥取縣西部ヨリ南方ニ脱去ス

第二波

敵小型機(F4U, F6F, SB2C)十五機乃至二十機前同様ノ經路ヨリ侵入米子及美保航空基地ヲ攻撃ノ上午前十一時三十二分頃島根半島部ナル八束郡本庄村及美保關港沖航行船舶ヲ攻撃シ午後〇時二十二分頃鳥取縣ニ侵入セリ

第三波

第三波ハ敵大型機(PBM)二機、小型機(TBF, T4U)十六機乃至十八機ニシテ小型編隊ハ午後一時十七分頃ヨリ鳥取縣ヨリ侵入、大型機ハ小型編隊ノ一部ヲ隨伴日本海ヲ東進夫々美保航空基地ニ來襲島根半島上空ニ於テ碇泊中ノ船舶ニ對シ銃爆撃ヲ爲シタル外一部ニ爆弾投下午后三時頃ヨリ逐次南方ニ脱去セルカ此ノ間午後一時四十五分頃大型一機ハ八束郡片江村沖合三十糠ノ海上ニ不時着ヲ爲シ約十五分ニシテ離水南方ヘ脱去セリ

第四波

敵大型二機(推定)午後九時四十九分頃廣島縣ヨリ侵入島根半島西部上空ニ於テ旋回一機ハ南方ヘ一機ハ日本海ヲ西進脱去セル力投弾等ノ事實ナシ

口、被害状況

空襲目標カ米子、美保兩航空基地ニ在リタルモノノ如ク一般的ノ被害ハ左記ノ如ク輕微ナリ
死者一、負傷一四、行衛不明六、船舶沈没二、同損傷二
其ノ他下校途中ノ國民學校兒童ニ對シ機銃掃射ヲ爲シタル事實アルモ被害ナシ

裏面白紙

382209

昭和二年八月五日

三九

芦立憲五



司法大臣 松阪廣政殿
事務長 中野並助殿
廣島控訴院檢事長 正木 壱麿

七三七德山市空襲因治安狀況開件
首標件一開別紙通、通報有之候條此狀及報告
候也

特恩二山第一號

昭和二十年八月一日

山口縣知事

上

田誠一

382210

内務大臣 安倍源基殿
國務總監第一部長殿
各府縣長官殿

七ニ之空襲ニ因ル治安狀況ニ關スル件

(一) 三月二十日未明敵大型約大。林主トニテ管下徳山市都ハ部
對シ爆夷彈並爆彈混用攻撃ヲ行ヒ相当ノ被害生ジタリ
(二) 七月二十七日〇〇二〇頃ヨリ敵大型約大。林ハ管下徳山市未襲同
日〇二四。貞近約一時間三十分位亘リ焼夷彈並爆彈混用攻
擊ヲ加ヘ燒夷家屋六五〇ノ罹災者数五〇〇名其ノ他重要
建物等相当ノ被害ヲ生ジタリ

(三) 德山市在住半島人九三六六。五六名中全焼四三二罹災者二三
六名死者二二行方不明二傷者六七名、被害ノ生ジタリ

(四) 「謂ニ在リテハ敗戦感漸次濃化シ打續不敵機ノ未襲ニ
於テハ相当民々動搖、兆アリタルガ教導指導活動、迅速活
潑ニ加ルニ教導活動、適切ト相俟フテ漸次民心安定シ敵愾心
ヲ昂揚モ真流言等ノ發生ヲ見ズ鎮靜ヲ保チツ、アリ
辯ヲ尋スルヲ散見憂慮セラル、状況ニ在リ折角適
正指導取締申

(五) 德山市長羽佐潔ハ殉職ニ助役ニ於テ代理シテアリ
標記ノ件左記ノ通りニ有之

迄未申通報候也

空襲機ノ未襲狀況

警報發令狀況

發令日時
二六日二二二

三二、一六

地 区 別 警報種別
内海西部海面 警戒警報

二七日〇一五七

德山地区

一五七

（一）罹災者住居の状況

備後者、伊周ノ猶御
瀬父者ハ警察市当局ニ於テ各町内單位ニ集結シメ、緣故アル者ハ遂
次之ニ極ラシメ、残余ハ市内残存家屋ヘ一戸當リ。一名程度分散シム
ル一方、旧屬田所、富岡村等、守院、夢穂等ニ分属セシメ、差当リ落付キ
場所ヲ得ル様指導指置シ置キタリ。

羅笑直後

(4)死者ハ布陸ノ火葬場外
○○名ニ封スル火葬ノ終リ

重傷者ハ当初市内、罹災アル國民校ニ校及海軍共済組合病院等へ收容。地元医師ノ他附近市町村ノ医師ノ應援ノ得テ加療シ居タル。引続ノ敵機ノ空襲ニ鑑ミ警察ヨリトラックニ心ス一ヲ空シ高麗國民學校へ輸送。後此ノ重傷者ニ付キテハ第三海軍燃料廠ニ於テ同海軍依託患者トニテ取扱ヒテナシ救護ノ努力中ナリ。

(四) 通傳機關
營房並總

警備課長共懸終直後不通トナリタルモ警電ニ在リテハニ七日大時市街西端
賜時禁設置ケ。本府トノ連絡ヲ終リ追次復旧中ニミテ遼電ニ於テハ宣要
官公衛、会社工場等ニ対シ緊急復旧ニ努力中。

何とぞ被覆之後

リテ六歩南北内所在上水道水ニア。破漏送水不能トナリ。消防活動六番シテ、支障ヲ除キテ、渠化ノミハ送水中ニシテ、水压極メテ、終シ。瓦斯、火災ハ同日八時頃、櫛木、鐵火ヤルガ、警察警防団、所在部隊等一休トナリ。翌日、道路ノ警衛、引續キ、余煙ノ整理、努力シ、同夜中、殆ニド大ナル火災ハ消滅。翌日、朝六時全ク整理ヲ終テセリ。

鐵道ノ被害ハ甚ヌテ、與微ニシテ、德山駅、於テハ西信號所焼失セルニ因リ、駅舎多分ナガラ隕テルキ。其ノ他、於テハ、夜橋中ノ客車、貨車ノ若干

軒焼失之三件に線路一部ノ被害ノミニテアニセ日十時ヨリ上下線共運行ヲ開始セリ

(一) 德山市ニ在リテハ之が復興対策トシテニテ八日午前德山市中央口民校ニ於テ臨時市会ヲ開催臨時追加予算左ノ通り決議セラ

豫算額一〇〇万キロ

五〇万キロ 壟舍建築費

二十五万キロ 緊急復旧費

一〇万キロ 救護費

五万キロ 戰災事務費

(九) 德山医師会ニ在リテハ旧市内医師十四名中罹災二名ニシテ又一名入院患者搬送中殉職シ(医療報國隊長)残リ四名ハ内科一小兒科一産婦人科ニテ状況ニ在リテ之等罹災者小現下ノ状況ヨリシテ個人診療ニ從事スザク三十八日午後緊急医師会開催ヨリ議決取扱ヘズ中央校ヲ之完テ将来ノ用設場所バ进而決定ノ事

四、報道指導ノ状況

直後既定計画ニ基キ要所ニ付シ不スターノ掲出並隣接防府市及下松市ヨリラジオ班ヲ応援出動セシメ演説並各公示示達事項ノ徹底展開定志氣ノ鼓舞ニ努メ士氣為民心振不不定セリ

五、庄屋及本三タル影響

(一) 德山曹達会社ニ在リテハ事務室至務室等ノ焼失更名生産設備

其ノモハ被害極メテ輕微目下復旧作業ニ從事中ニシテ一週間後ハ復旧ノ見込尤モ理在送電無ク操業中止中

(二) 東洋曹達会社(市内富田町在)ハ被害丁寧モ三十萬キロト空襲ノ多ナニト八日終日小型機ノ來襲アリ一般工員及社員ハ次ノ空襲ヲ恐レ警報發令毎ニ動搖ニ一部ニ在リテハ逃避的傾向窺ハレ操業ニ相当ノ支障アリ

指導中

(三) 其ノ他中小工場ニ在リテハ何ニモ復旧努力中ニシテ特異ノ事象ナシ

六、沿字状況

一般状況

一般ニ在リテハ合在ルヲ予期ニ居リタルモ空襲ニ直面ニテハ相当ノ狼狽動搖アリ鎮火直後ニ在リテハ未ハヤキモカ遂ニ未タトスル一箇ノ諦観ヲ抱キ居ルモノ罹災者ノ大多数ノ如ク看取サレ而力天尚一計ニ在リテハ相当ノ恐怖感ヨリ家財ヲ整理ニ稍逃避的傾向窺見サレ地主警察其の關係機関ノ激励指導ニ依リ漸次本然ノ姿ヲ取次シ反応テ敵襲ハラ昇揚着火復旧活動ニ全力ヲ盡シ日下賛賀流言等アリ半島ノ燃え

羅敷地域ニ在居スル朝鮮人ハ主トニテ市街地西北部ニ集団部落アナシ同所。一四六世草八九五人ノ多數居住此地附近德山曹達工場半島人皆同工員寓舍ニ九四名居住ニ居リテ空襲警報後裏表ノ空襲(爆弾)後恐怖ニ襲ハレ平素警報發令時逃避ニ居リタ

ル者ハ三半島人ニミテ自体防衛ニギリタルモノハ絶無ト看取サレ左ノ通り被害ヲ被リタルモ中死傷者ニ至リテハ殆

ニド逃走途中ニ於テ被弾セルモノナリ

死者二七(五)

行衛不明五一(一五)

傷者六七(一六)

全焼四半(三)

半焼三

罹災世帯数四七〇(三)

罹災男数一五三〇(二三)

全員女八〇

全計二三五〇(二七)

(括弧内ノ数字ハ生用)

移入労務者数ヲ不ス

而ミテ半島労務者ハ空襲ニ於テ心恐怖觀ハ増々深刻化シツアリ

テ空襲ノ混乱ニ於テ企圖スル者アルモ單純ナル恐怖觀ヨリ

出テ夕此行為ニミテ現在ノ靈敗戰的懲罰思想動向ハ認メラシズ

尚之等、狀況ヨツシテ生産意欲ハ若ニノ低下ヤルニ付關係方面ニ嚴重警

告ヲ發スルト共ニ種々適策ヲ講シ之が鎮靜達成防止ニ努力申

四 金融機關

徳山市林郵便局ハ羅後直後直チ市内計徳山電話中継所ニ移転事務開始スルト共ニ他銀行モ夫々三十日業務開始ニ金融機關三處立

名安上特異事象ナシ

七共ノ他

今回ノ空襲ニ依リ在徳山部隊ハ一般ニ協力ニ御工防衛ニ力強キ印象ヲ

有ヘツアルモ一部ノ民ニ在ソテヘ戰爭ニ對スル敗戰觀漸次濃化シツ

ニアソテ海軍ニ対スル信頼ハ他ノ拂太打統ノ敵科ノ未襲ニ一杆ノ

轟炸ノ事及ノ眼前ニ於テナニタル事アシト海軍ノ人曰前ノ難

在ルノ憲議シアガラ海軍攻撃ノ言呼多弄シ居ヘテ敵見サレ相當

憂慮タル、狀況ニ在リ適正指導取締申

一 德山市長

物仁

潔

ハ敵襲直後自宅ヲ出テ登左途牛自宅ヲ隔ヒ一〇米附近ニ於テ
燒夷彈ノ片塵ニ張少殉時日下火焚田役ニ於テ代理ニアワ

以上

382215

昭和三十年八月十六日

三八四號

山口地方裁判所検事官立憲五

檢司 法事大臣松坂廣政殿
廣島控訴院検事長正木亮殿

八月十四日岩国市及光市於敵機未襲

狀況等報告

本月十四日當管下敵機未襲レ岩国市及光市爆弾投下ヲ為シタルガ共、被害狀況等概不
左記、通ニ有之候。

一 岩国市一分

(一) 未襲並投彈、狀況

豈後水道ヨリ侵入シタル故大型約七十機ハナ時十五分頃ヨリ六機因分レテ岩国市未襲レ同

市岩国駅ヲ中心トスル附近一帶五百戻級爆弾

約千個ヲ投弾、後十二時三十分頃夫々侵入路

ヨリ南方海上脱去セリ

(二) 被害狀況

1. 主要建物

1. 官公署等

362216

岩国駅

國民勤労動員署

麻里布巡查部長派出所

岩国憲兵分隊

岩国保線区

日通岩国支店

東国民學校

東宝映画劇場

山口銀行岩国支店

工場關係

ミヨシ化學工業株式会社

第一熱分解工場内二棟全壊又一棟
焼失(工場内死者及負傷者各十五名位)

附近工場ハ一時操業ヲ中止シタルミシテ

被害ナシ

一般住家

全壊 四七〇戸 半壊 九二戸

全焼

一三八戸

半焼

二一戸

人員被害

岩国駅附近、壌内生埋或火燐彈直撃、
受ケ死傷者相當多數、上ル見込九千
且下判明セリモ

罹災者数

死 者 約約六〇名

負傷者 約二五〇名

行方不明者 六七名

通路

382217

岩国駅ヲ中心トシテ東方約百米 西方約五百米ニ亘ル附近道路全壞

5 鉄道關係

岩国駅被禪 全壞 伴ヒ鐵道路線
約五百米ヲ損壞シテ列車、西岩国
藤生駅以西、并大ヶ駅以東ヲ各折返レ
運行中ニシテ數日中ニ復旦見込

6 通信機関

警電、遞信電話共附近一帯不通

7 電氣水道

被禪個所、電燈線、通水道壞滅

8 船舶

市内新港、轡子島中、機帆船三隻沈没
一隻中破

9 其他

市内浦ヶ浜、集積中、ドラム罐約一三〇

金炎上シタル外 岩国駅構内於テ貨車

貨物等相當多數潰滅シテ

(三) 死体及負傷者處置

直ナ警察署及市内並附近町村、警防团

海軍部隊又ハ医療報國隊、海軍病院、陸燃
十一空廠、各医療隊出動し負傷者、市内中
央病院、沖井病院並岩国国民保健院收容
救護シ死者、市役所収容中

382218

二光市 分

(一) 未燃瓦狀況

十三時十七分頃ヨリ十四時十分頃迄、写敵大型約百八十機、十七梯団、分々光市、未燃瓦、レ波状の攻撃ヨリ同市、爆弾（個数不明）ヲ投下（後南方、脱去セラ）

(二) 被害狀況

1. 主な建物

廣島刑務所（光市張坊）（収容者及職員行方不明）

光市役所

浅江国民學校

（以上全壊）

2. 工場

光海軍工廠

（昭ト全滅、状態ニシテ廠内死死者
事引明）

3. 一般家屋

全壊六四、全焼二二、半壊九

4. 人員被害

死者二、負傷者六八

罹災民

約五〇名

三 治安狀況

今般、空襲、主トビテ交通機関ヲ主要目標ト

382219

セルモノ、如ク大型爆弾、多数ヲ投下セルタメ、一瞬
極メテ恐怖ヲ感シ殊ニ附近工場地帯ニ在リテ、
逃避者ヨリク、人心動搖シタルモ、警察署ハラ
ケオ班及警防団ト協力シビラ、百枚（ハ種）ヲ
附近貼付シ、事之カ安定、努力シ日下、トヨロ
夏夜慮ニキ事象ナリ

382220

恩賜

説文
◎

電報 説

(昭和八年八月二日)

農商省

華興紙

八月十日單爆重合數十枚
十數枚未燃燒之彈本市附近開
江川燃燒十八號爆擊彈發射後
被震倒八枚右側長崎，被害
情形現謝汝蘆為諭示也人
動搖，非以少一目下，延應
夏底舍共見甲
刑事局長龜
熊本地方支那事務

382221
5005

トシマクシトガケウコウテシヨナ
シホウセウケイジ キヨクテウ

ハ	シ	シ	シ	シ
シ	シ	シ	シ	シ
シ	シ	シ	シ	シ
シ	シ	シ	シ	シ
シ	シ	シ	シ	シ

(卷六) 五

後人刑政局民38222
辦事處長
關稅司
財務司
人事司

電報 訂 (昭和二、八、夏)

計署 管內 長圓已收物形 同様事由 件 実地
調查、結果判明し乍り 未解此、控事由
廳室 (賠符二字不記) 一〇〇 賠符三字不記)
實體書類、一部 民事、刑事未清証
大部分及 犯罪人 知照、最近、刑事事件
竹筒 徵收金 關係 中路等搬出 七三〇 賠
符二字不記) = 民事、刑事未清原車及既銷
記録 二箇副 東函出書類 廣務會計記録
賠符二字不記 燃失並登記簿へ 賠

翁七字不似)付刑事尚申報事

官舍及隣樓人刑務支折^一主事有
監督刑事上席檢事監督委託(照
符二字不似),各官舍八金錢七月一
職員大部分八雁某^一多^一此傷者未

見^一四月正他詳^一古面^一三^一報^一告

刑事尚申報事

日檢甲乙

刑事尚申報事

382223

卷之三

382224

382225

大分地甲第一〇七號

昭和二十年七月三十日

大分地方裁判所檢事正山下

形
事
印
鑑
印
軍
務
印

司
事
務
檢
察
長
中
野
並
助
殿

長崎控訴院檢事長森山武市郎殿

七月十七日未明ノ空襲被害狀況報告

標記空襲ニ因リ當廳舍焼失ノ旨及報告置候處其ノ後調査ノ結果訴訟書類其ノ他重要書類等焼失シタルモノ、焼失ヲ免レ現存スルモノ等別紙ノ通リニ有之候

裁 判 所

(國定郵局B4)

38226

○ 搬 岩 介 目

一、甲縣機密令達一部

上林莊裁外全部

恩赦ニテスル令達

選舉取締ニテスル令達

檢察及裁判ニテスル令達

一般事務ニテスル令達

涉外事項ニテスル令達

職員ニテスル機密令達

庶務ニテスル機密令達

一、裁判原本關係

昭和三年區乙縣原本

昭和九年乙縣原本

昭十九年區甲縣原本

昭十九年區甲縣原本

一、徵收干係書類

徵金原簿旁
十九年二十年

索引簿
十九年二十年

日記簿
十九年二十年

納付書類

昭和三十年度 計全部

一、刑執行關係ニ属スルモノ

内ノ
證明書

○ 錄 燒 失 部

一、乙縣普通令達全部

上林莊裁外全部

恩赦ニテスル令達

選舉取締ニテスル令達

檢察及裁判ニテスル令達

一般事務ニテスル令達

涉外事項ニテスル令達

職員ニテスル機密令達

庶務ニテスル機密令達

一、乙縣普通令達全部

昭和三年區甲縣一冊(半年分)

昭和九年乙縣原本

昭和九年乙縣原本

昭和九年乙縣原本

一、徵收干係書類

慶理簿 昭和三年 地方

徵收金地方木濟書類

日計算區 十七年

納付書類

昭和三十年度 計全部

一、口上林庄關係モノ

内ノ
證明書

昭和十九年終刑執行原簿	刑執行箇所
刑執行箇所	刑執行箇所既済書類全部
刑執行停止人名簿	刑執行停止人名簿(同)
事件關係二屬スルモノ	事件關係二屬スルモノ
檢事未済記錄	檢事未済記錄
地 方 全 部	地 方 全 部
區 件 檢 大 会	區 件 檢 大 會
昭和十九年區事件簿	昭和十九年區事件簿
昭和九年地方事件簿	昭和九年地方事件簿
昭和九年以前地方事件簿全部	昭和九年以前地方事件簿全部
昭和九年以前地方事件簿全部	昭和九年以前地方事件簿全部
同上様干係モノ	同上樣干係モノ
公判既済記錄不起訴处分說錄	公判既済記錄不起訴处分說錄
金 部	金 部
(地 方 区)	(地 方 区)
昭和九年以前區事件簿全部	昭和九年以前區事件簿全部
領置票	領置票
地 方 區 既 済 未 済 全 部	地 方 區 既 済 未 済 全 部
統計二屬モノナシ	統計二屬モノナシ
各種統計資料綴全部	各種統計資料綴全部
各種統計報告書綴全部	各種統計報告書綴全部
所	所
上干係既済外全部	上干係既済外全部
庶務干係書類全部	庶務干係書類全部
經濟干係	經濟干係
經濟統制令違反事件統計表綴	經濟統制令違反事件統計表綴
日清反事件報告書類未済	日清反事件報告書類(既済)
經濟統制法規一部	經濟統制法規一部
(物資統制令法規)	(物資統制令法規)

382228

382229

大分地檢事局

昭和二十年八月七日

號

司法部令二十九、八
檢事局刑事部

大分地方裁判所檢事正山下

署

事務官

司法官 大臣 松阪 廣政殿
檢事總長 中野並助殿
長崎控訴院檢事長 森山武市郎殿

軍用貨物列車ノ空襲被害發生ニ關スル件

容月二十八日午前七時頃空襲警報下管下大分縣玖珠郡野上村久
犬線野矢北由布間水分隧道前方高米ノ地點於テ下リ（大分行）
六六三貨物列車進行中敵小型機六機編隊中ノ二機ヨリ機銃攻撃
ヲ受ケ機關手一名負傷小銃彈積載一車輛ニ被弾ニ依ル發火アリ

裁判所

其他機關車及貨車若干ノ被弾ヲ受ケタルカ被害情況左ノ如シ

記

(1) 被害列車

製後森驛發六時二十分下リ第六六三列車一機關車二輛連結
貨車二十一輛索引）

(2) 負傷者

(3) 列車被害

機關車及貨車ニ若干ノ被弾アルモ運行ニ支障ナシ

二、貨車ノ主ナル積載物資

前部車輛ニ小銃彈滿載下後部ノ二車輛ニハ爆弾ヲ積載シア
リタリ

382230

三、攻擊敵被害狀

二十八日午前六時五十五分頃管下大分縣玖珠郡森上空ヲ東南進セル小型六機編隊ハ午前七時頃久大線野矢驛ヲ通過進行中ノ前記貨物列車ヲ發見シニ機ヲ以テ反轉二回機銃攻撃ヲ加ヘ來リタルモノナリ被害ノ發生ト共ニ列車ハ現場ニ停車シ下り列車出依リ貨車ヲ衝矢驛ニ引入レ午前十一時二十
五分開通シ見タリ

尚鐵道線路隨道沿線民家等一被害無三四十架機槍外正銳
擊後反轉北西工進路ヲ轉シ玖珠郡野上村大字野矢字小手谷
野矢國民學校ニ通學途次ノ國民學校兒童ニ對レ急降下機銳
攻撃ヲ加ヘタルモ逸早ク待避ヲ爲シタル爲被害ナシ

卷之三

382231

檢署局 恩甲第 號

昭和二十年八月七日

犬分地方觀制所機事正山下

司 法 大 臣 松 阪 廣 政 殿
檢 事 總 長 中 菩 並 助 殿
長崎 控訴院檢事長 森 山 武市郎 殿

敵小型機來襲被害狀況

一、本月四日十四時三十五分頃敵小型グラマン五六二三機管下火分
縣速見郡北由布村西來襲シ久大線北由布驛檻内積載ノトラム
ヲ銃撃シ直ニ引火爲シ同驛ハ炎上セルモ其ノ他ノ民家ニ延焼ス
ルコトナク被害ナシ

死傷者死二名負傷四名（內三名八驛員）

(1) 森機關庫（大分縣玖珠郡森町久大線）死者三名輕傷四〇

八 森町地方事務所重傷

ノ銃撃セルモ被害ナシ

卷之三

同日十四時五十分左右四機分離中刀駆ニ停車中食料

382232

犬分地檢事局鳳甲第三一號

昭和二十年八月十四日

事件調査
事務官

犬分地方裁判所檢事正山下



司 法 大 臣 松 阪 廣 政 殿
檢 事 總 長 中 野 並 助 殿
長崎控訴院檢事長 森 山 武市郎 殿

八、一〇敵機來襲被害狀況

本月十日午前十一時六分B29六機外中型十數機ハ高度五千メ
エテ犬分市西方ヨリ侵入シ水平爆撃ヲ以テ小型焼夷弾ヲ投下
シ十一時八分東方ニ脱去シタルカ其ノ状況等左ノ如シ

記

所

一、被彈地範囲

市内王子町、勢家、荷揚町、檜物町、西新町、大手通り
等犬分市ノ都心部ニシテ前焼夷區域ヲ稍々擴大セル程度
ニ投下シ居レリ

二、被害状況

(1) 家屋及人の被害

- (1) 死八名輕傷七、行方不明一、罹災九〇四
(2) 家屋全焼二〇〇、半焼三四

(3) 主ナル建物

少年飛行兵學校、第一高女、縣立工業學校ノ各一部、
知事官舎、住友銀行支店、共樂亭各全焼

382233

(2) 電 聲 關 係

(1) 第一（荷揚町）電話局、第一高女附近ノ電柱倒潰ノ爲不適ナルモ夕刻迄復舊ノ見込

(2) 第二（少年飛行兵學校、春日浦附近）不適エシテ故障ケ所調査中

(3) 南大分線（水道關係）調査中

(4) 窓同様（航空隊）調査中

(3) 水道ハ電氣故障ニシテ揚水不能ノ爲午後二時ヨリ斷水状況ニアリタルモ夕刻迄ニ復舊

三、投下彈（小型二、八油脂燒夷彈）落達ト共ニ黒煙天ニ沖シ約五、六分ヲ經テ漸次火災狀態トナリシ爲傳令ヲ以テ各警防分團ノ消防配置ヲ定メ現地各附近ニ警察官ヲ配シ

消防救出ノ指導ニ當リタルカ約三十分經過シテ火勢漸ク劣勢地評並別府市警防團等ノ應援ポンプノ敢斗ニ依リ十三時頃樹木噴火セリ

四、後續敵機ノ狀況

十二時二十九分 P 51 四機（高度約千五百）ニテ別府市方面ヨリ來襲大分海軍航空基地阻塞氣球ヲ攻撃ノ後十二時三十五分東方海上ニ脱去セルカ氣球四個焼失セルモ地上

被害ナシ

大分地檢事局 恩甲第一〇三號

昭和二十年九月十日

大分地方裁判所檢事正 山下昇

司法大臣 岩田宙造殿
檢事總長 中野並助殿
福岡控訴院檢事長 森山武市郎殿

本月四日午前九時過米機一機縣下海岸地帶ヲ南東進中柳ヶ浦町並別府市所在ノ別府澤軍病院上空ニ於テ救恤品ノ投下ヲ爲シタルセ心カ民衆ニ與ヘタル被害狀況左ノ如シ

記

日時一場 下所 → 投下物ノ種類備數 → 上記ニ依リテ生レタ一醫藥措置

頃 九月四日 午前九時 分 長洲町 大分縣宇佐郡柳ヶ浦並個(一個ノ落下降付) 落下降付ノモノ拾

二十五分 長洲町 二尺角位ノ木箱 ハタチ、ミルク 肉菓子、詰外ノ住宅三棟を破セル

アリ六個フ一箱ミニレ 落下降付ノモノ拾

ハタチ、ミルク 肉菓子、詰外ノ住宅三棟を破セル

河中ニ落下降付ノモノ五個(一内三個) 右ノ内六個ハ落下降付ノモノ五個

未開ノ落下降付ノモノ五個(一内三個) 河中ニ落下降付ノモノ五個(一内三個)

同日 病別府海軍附近 川町別府市龜川河中ニ落下降付ノモノ五個(一内三個) 河中ニ落下降付ノモノ五個(一内三個)

○退而一般民衆ノ意嚮ヲ綜合スルニ

落下降付ノモノアリ果シテ原子爆弾ヲハ無イカト「願佛レタカ内容食糧品ニ間違ナク從テ宇佐基地ハ相當精銳飛行士ノ基地ナリシ爲或ハ米兵俘虜收容地ナラン

トシテ救護ノ爲斯ル行動ヲ爲シタルヤニ窺知サレル外他ニ特異ノ反響ナシ

382235

宮崎地方
檢事局甲第一七〇號

昭和二十年八月十一日

宮崎地方裁判所檢事正代理檢事

松井善太郎

司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
福岡控訴院檢事長 森山武市郎殿

燒夷彈攻擊ニ依ル敵襲報告

昨八月十日午前十時三十分ヨリ約三十分間ニ亘リ 13 24十八機當宮崎市ヲ

ヲ燒夷彈攻擊ヲ爲シ其被害左記ノ通ニ有之候條及報告候也

記

一全焼家屋三百三十五戸（午後一時三十分鎮火）

一人命ノ被害ナシ

一重ナル罹災官廳

一門鐵宮崎管理部、宮崎驛、各全焼

(1) (2) 宮崎刑務所三分ノ二焼失（職員及收容者ニ異狀ナシ）

(3) 裁判所職員關係ノ被害

(4) 豫審判事官舍全焼（空家）

(5) 松井檢事、栗田判事住宅及家財夫々全焼

一連日ノ敵ノ空襲攻擊ニ依リ人心相當不安ノ状態ニアルモ目下ノ處他

ニ特異ノ事象ナシ

302236 宮崎地方
檢事局 甲第一七一號

昭和二十一年八月十三日

宮崎地方裁判所檢事正 謹 山 内

博報省令和二十、九、小、登記
檢事局署印

司 法 大 臣 松 阪 廣 政 殿
檢 事 總 長 中 野 並 助 殿
福岡控訴院檢事長 森 山 武 市 郎 殿

燒夷彈攻擊ニ依ル敵襲報告

昨八月十二日十時四十分ヨリ十四時三十三分迄

8.25

10.38

P.51

P.47

計百

三十八機當宮崎市ヲ燒夷彈攻擊ヲ爲シ其被害左記ノ通ニ有之候條及報

告候也

記

一全焼家屋

二四八六戸

一半焼家屋

五六戸

一人命ノ被害現在迄判明セル死傷者

死者 十二名

傷者 不明

一重ナル懼災官廳及學校

(1) 稅務署、專賣支局、縣病院、警察署、

(2) 男子師範學校、女子師範學校、第一高等女學校、中學校、第六國民學校、大宮國民學校

夫々全焼

一當裁判所西方角倉庫脇ニ堆積シ在リタル材木ニ燒夷彈數發落下シ燃

上倉庫ニ燃燒ノ虞レアリタルモ廳員ノ敢闘ニヨリ消止メ廳舍ノ燒失

ヲ免レタリ

一廳員及其家族ニ異狀ナシ

一十日燒夷攻擊十一日小爆擊ト引續キ敵襲ヲ受ケ人心相當不安ノ狀態
ニアルモ目下ノ處他ニ特異ノ事態發生セズ。

382237

一〇五

昭和二十年八月十一日

盛岡地方裁判所検事正 八木 滉二郎

司 法 太 臣 松 阪 廣 政 延
檢 事 總 長 中 野 並 助 延
宮城控訴院檢事長 一木 輓太郎 殿

八月九日

敵襲報告ノ件

本月九、十日本縣下ニ敵機並ニ機動部隊ノ來襲ニヨル本日現在
ノ被害概況不収敢左記ノ通り及報告候也

記

裁 判 所

一來襲敵機數、延二、五〇〇機（艦上機）

二來襲範圍

釜石、宮古兩市及山陸沿岸全線ニ亘ル十五ヶ町村並ニ盛岡
市以南ノ鐵道沿線及其附近九ヶ町村並ニ盛岡市以北トシテ
ハ松尾鐵山ニ來襲、何レモ二十五挺爆弾ノ投下並ニ機銃掃
射（山田町ニハ右ノ外焼夷弾ヲモ投下ス）ヲ爲シタリ

三艦砲射擊

釜石製鐵所及同市内ニ對シ約十五隻ヨリ成ル機動部隊ヨリ
艦砲射擊ヲ爲ス

四被害狀況

一、罹災戸數（住家、非住家、全焼、半焼、倒潰ヲ含ム）
二、〇四一戸

右内釜石市 二、〇〇〇戸ナリ

（調査報告B1）

382238

2、死 者 二一三名

内釜石一八二、宮古九、松尾一〇、金ヶ崎七其他

3、行衛不明 八名

4、重 傷 三二六名

内釜石市三〇一名

5、輕 傷 二名

6、船 舶 五隻

八月十日

「來襲敵機數 延ニ、六〇〇機（艦上機）乃至三〇〇機

△來襲範圍

官古市及山陸沿岸全線ニ亘ル二十ヶ町村並ニ盛岡市及其以南一關町ニ亘ル鐵道沿線十二ヶ町村ニ對シ爆彈投下並ニ機銃掃射ヲ爲シタリ

裁 制 所

△被害狀況

1、罹災戸數 (同上) 一、二二七戸

右ノ内主ナル被害個所花巻町ノ七〇〇戸、官古市ノ四四六戸ナリ

2、死 者 六一名

右ノ内主ナル被害個所ハ花巻二五名、一關一七名、花巻町一九名、一關町一九名

3、重 傷 六二名

右ノ内主ナル被害個所ハ花巻二五名、一關一七名、平泉六名、盛岡六名ナリ

4、輕 傷 五名

5、行衛不明 二隻

6、船 舶

以上二日間ヲ通シタル被害合計左ノ如シ

382239

1、被　害　戸　數　三、二六八戸

2、死　者　十七四名

3、重　傷　三八八名

4、輕　傷　七名

5、行　衛　不　明　一三名

6、船　舶　七隻

盛岡市内八十日午前午後數回ニ亘り波状攻撃ヲ受ケ驛及兵營方面ニ亘り爆弾ノ投下機銃掃射ヲ受ケタルガ被害ハ建造物ノ主ナルモノトシテ驛附近、鐵道管理部及機關庫全焼ノ外鐵道官舎其他十五、六戸倒潰シ鐵道工機部ガ機銃掃射ニヨリ窓硝子等破壊シタル外市内ヲ通シ死者一名重傷六名ヲ出シタルニ過ギザル等極メテ輕微ナル被害ニ了リ裁判所、縣廳等所在セル市中心部ハ攻撃ヲ受ケズ

裁　判　所

又管内ヲ通シ司法部廳舍及職員家庭ハ被害ノ有無ニ關シテハ事務停止中ノ花巻區裁判所、樽内ニ爆弾投下シ廳内窓硝子ハ全部破損ノ被害ヲ受ケタル外ハ各區裁判所及停止中ノ區裁判所廳舍並ニ其職員及家族ニ何等ノ被害ナキモ各出張所ニ付テハ未ダ被害ノ有無判明セズ

302240

思日記第二二〇號

昭和二十年八月三日

新潟地方裁判所檢事正 吉 弘 基



司 法 大 臣 松 阪 廣 政 殿
檢 事 總 長 中 野 並 助 殿
東 葛 拉 訴 院 事 長 秋 山 要 殿

本月一日下午十時半頃敵B29約五十機本縣長岡市燒夷彈攻擊二
下長岡市及其ノ附近ニ對シ燒夷彈攻擊ニ加ヘタ現在迄ニ判明セル被

害左記ノ通り工有之候餘此段及報告候也

檢 裁 事 判 所

左 記

一、死 者 約五百名
一、燒失戸數 約九千戸
一、罹災者 約五萬人
一、由火災燒失建物

長岡市役所・長岡商工經濟會・長岡木十九銀行・土木建築會社
長岡公會堂・長岡稅務署・長岡區裁判所・向檢事局

長岡中央病院・日本赤十字病院・長岡病院
長岡商業學校

宮内理化學興業株式會社・株式會社大阪機械製作所・工場一部
貨車八十輛

機臨車四輛

裁判所關係罹災者

裏面白紙

裁判所

362241

豫審監事會除々監督判事、上席檢事、監督所監督審記、會

事局監督審記各官舍燒矢シタル外職員住宅殆ント全焼

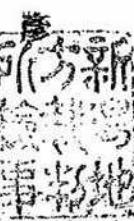
詳細八報告致用候

退院

支那事記第三二一號

昭和三十年八月五日

新潟地方裁判所檢事正 吉 弘 道



382242

大 田 松 阪 廣 政 殿
長 中 野 並 助 殿
秋 山 要 殿

電報等於午前三時頃迄ノ
間日 29 約五十機ヘ長岡市ニ襲シ燒夷彈攻擊ヲ爲シタル力其級售狀況等

左記ノ通りニ有之候候石及報告候也

記

長岡市ニ於ケル空襲級售狀況ニ關スル件

一、裁判所及檢事局關係

- (一) 裁判所及檢事局並監督獄事・上席檢事・兩監督書記官舍・倉庫等ハ何レ子燒失シタルヲ豫審判事官舍へ燒失免レタリ
- (二) 長岡監獄所ニ隣接セル新潟刑務所攝關支所・當時囚人五十九名一既決囚二十華名未決囚十七名一ヲ收容シ屢タルカ裁判所及檢事局ノ應舍危險ニ瀕タルヤ懸念ト共ニ囚人ノ防火ニ敢闘セシメタル為メ同支所ニ類焼ヲ免レタリ
- (三) 車輛監督ヘ應舍ニ隣接シテ官舍アリシヲ以テ監督獄事・上席檢事ノ指揮下ニ隣居ヘ囚人ト共ニ極力撤出ニ努メタル結果人犯罪人名無
2. 昭和十九・三十年度刑事事件簿 一巻支那共一
3. 昭和二十年度徵收金屬簿 一巻
4. 昭和二十年度徵收金屬簿 一卷部分一
5. 昭和二十年度徵收金屬簿 一卷
6. 昭和二十年度徵收金屬簿 一卷
7. 昭和二十年度徵收金屬簿 一卷

6. 昭和十七年以降徵収金整理簿 一冊一
7. 未済事件記録

金 部

零々機出シタル倉庫庫格納在シタル
人公判記録ノ一部、凶民刑事判決原本、凶餘事未受理事件記録
五十件位、貞庶務記録
ハ尙レモ焼失セリ

四、裁判所檢事局職員約三十名中、懼異ヲ免レタル者ハ僅力ニ數名
平過半不其確ントハ全焼ノ状況ニシテ詳細不明ナルモ目下ノ處
全員族共一生命ニハ無狀幸半見込ナリ
④以上ノ四キ状況タル以テ裁判所ハ燒失累免レタル豫警判事官
舍尋檢事局ハ刑務支所ニ一時避難シ不敢就事務又開始シ居レル
予近ク隣接ノ三島郡深才村本大島所在ノ寺院裏僧愛勿聯合移轉
ノ爲スヘク交渉申ナリ

檢 判 所

二、市街及其附近ノ狀況

民家金帯、約八割ハ燒失セリ、モ工農地帶ナル藏王町ハ殆ント
災厄ヲ免レ津上宅製作所、北越製糸會社等ノ重要工場ハ異狀
無シ
国民學校ノ殆ントハ燒失セリ、長岡女子師範、高等工業、中學
校、女學校等ハ燒失セス

市内近接マル古志郡上池村所在宮内理研工場第一部ニ燒夷彈投
下アリ相富ナル微旨ヲ受ケ三島郡深才村、福戸村等ニテ師械燒
夷彈攻撃アリタルモ尙レモ被害甚微ナリ

三、以上、如キ状況ニシテ長岡全市、罹災家屋九千戸死者推定四百名
負傷者約二千名但シテ卧組不明ナルモ八人心外極メテ某定シ居レ

382244
形事局長
署長
昭和二十年八月八日
新潟地方裁判所檢察正 吉弘基

國朝秘籍

時局地圖

卷一百一十一

九

102

檢事總檢中辦並助檢

金言

卷之三

癸卯歲，辰酉年，於ケル治安狀況，ニ關又ル件

標記印件長崎區裁判所上席檢事大竹多三郎署り別紙印通り報告

有之候錄此段版報告候

裁判所

故其機轉以豫更之有之傾側爲念申添假

382245

昭和二十年八月七日

長岡區裁判所檢事 大竹多三郎

新潟地方裁判所檢事正 吉弘基彦殿

空襲後ノ長岡市ニ於ケル治安狀況

等ニ關スル件

一 被害狀況

(1) 死者 六三二名

(2) 重傷 三四八名

(3) 輕傷 一五六〇名

(4) 行衛不明 二七七名

裁 判 所

(5) 全燒

長岡市 住家 九六七〇 非住家 五二〇

上組村 " 七四一 " 二〇

福戸村 " 九 "

計

" 一〇四二〇 " 五四三

(6) 半燒

長岡市 住家 五六 非住家 一四

二 重要工場ノ被害狀況

(1) 燃失セサルモノ

津上安宅製作所

大阪機械長岡工場

倉敷工業株式會社長岡工場

新潟鐵工所東神田工場

382246

北越製紙株式會社長岡工場

(2) 廢失セルモノ

宮内理研工場ノ約八割

新潟鐵工所西神田工場

三重ナル百公衛學校等ノ被害狀況

(1) 廢失セルモノ

長岡警察署

長岡驛

長岡營林署

長岡高等工業學校

長岡中學校

長岡高等女學校

新潟師範學校女子部

裁判所

長岡國民學校

川崎國民學校

四郎丸國民學校

長岡國民勤勞動員署

日本瓦尊社

(2) 廢失セルモノ

長岡市役所

長岡稅務署

長岡區裁判所、檢事局

三古地方事務所

表町國民學校

中島國民學校

阪ノ上國民學校

東神田國民學校

千手國民學校

公會堂

五尊文庫

商工經濟會

長興寺〔山本元師墓所〕

凶燒失セサル地域

袋町、櫻木町、稽古町、長町、東神田町、新町一乃至五丁目、城岡町、藏王町、水道町ノ約三分之二、殿町四丁目、今朝白町、學校町等。

五治安狀況

長岡市ニ於ケル治安狀況ハ日下平靜ニシテ特ニ憂慮スヘキ状況ヲ認メス只殘存地區ニ於ケル住民ガ再空襲ヲ受クルヤモ

裁判所

知レサル事ヲ思ヒ不安ニ驅ラレ居ル狀況アリ流言飛語ニ似タル噂等稍アリ竊盜ノ如キモ比較的少ナシ現在迄ニ長岡警察署ニ於テ檢舉セルモノ

自轉車一臺ヲ竊取セルモノ一件

鹽少許ヲ竊取セルモノ一件

アリ竊盜被害届數件アルモ其届ケハ金一ツノ程度ナリ長岡區裁判所檢事局ニ於テハ治安維持ノ爲長岡警察署ニ非常檢察本部ヲ設ケ同法警察官ヲ指揮シ犯罪者ノ檢舉及其啟速處理ニ當リ又燒跡及標内之物品ヲ竊取セル者ハ流言飛語何爲スモノニ對シ嚴罰ヲ加フル旨各所ニ貼紙シ以テ治安ノ維持ニ努メツツアリ

382248

福島地方裁判所檢事正 飯澤高

昭和二十年八月十五日

司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
宮城檢訴院檢事長 一木太郎殿

空襲被害状況ニ關スル件

本月九日本縣下ニ於ケル標記ノ件左記ノ通ニ有之候條此段及報告候也

記

敵機侵入の状況

敵小型約二百十機ハ五波ニ分散午前五時三十九分頃ヨリ本縣東北部海上ヨリ侵入シ西南進軍需交通樞要都市タル郡山市（就中軍事施設）ヲ銃爆撃後反轉東北進シ主トシテ常磐線相馬區裁判所及平川裁判所管内海岸地帶及磐越東線（平郡山間）沿線ノ軍事施設交通工場關係及農村ニ對シ攻撃ヲ爲シ一部少數機ハ北上福島市上空旋廻ノ上午後二時五十分頃迄ノ間ニ逐次東方海上ニ退去セリ

被害状況

①、一般人家ノ被害
郡山區裁判所管内郡山市外十一個町村銃擊（内六個町村ハ爆弾攻撃ヲモ受ク）

白河區裁判所管内須賀川町外十個村（内二個村ハ前同一）
平川裁判所管内四倉町外十個町村（内七個町村前同一）
相馬區裁判所管内原町外四個町村（内二個町村前同一）
全縣下ニ於テ一般人ニ付テハ

382249

死傷者
重傷
軽傷
家屋全壊
同半壊
同全焼
同半燒
二二一九八
二五二〇四
二八二〇八
二一九八

2、軍事施設被害

郡山海軍航空隊銃擊

原町、矢吹、磐城三飛行場爆撃又ハ銃擊豊間海軍官舍銃擊
死者
重傷
輕傷
全壊
傷者
二二七
二八七
六棟

3、工場關係
飛行機
全焼
二棟（格納庫）
二〇

中島航空機工場、日本理化學鏡石工場、相馬蠟業會社工事場、
帝國金屬工業會社原町工場、日本水素小名濱工場其ノ他九工場

銃爆擊

死者
重傷
輕傷
全壊
傷者
一七
五一

飛行機
全壊
燒壞
四棟
六棟
八棟
一〇

4、交通（鐵道）關係
郡山、矢吹、須賀川、原町外五驛、郡山工機部、線路、鐵橋及
運行中ノ客車一二銃爆擊

382250

死	重傷	軽傷	死者
機関車損壊	貨車同	給水タンク同	鐵橋破壊
二	一	一	一
四	二	三	四

5、國民學校關係

守山町外八校銃爆擊

半壊	重傷	一部	二
一棟	一	火災発生セルモ直ニ鐵火	半壊
一	一	一	一
一	一	一	一

三、罹災者ノ收容狀況

罹災者比較的大ナル郡山區裁判所管内田村郡大越町船引町高瀬村

地區ニ於テハ學校寺院ニ收容シ給食其ノ他ノ救護ニ萬全・期シツツアルモ罹災者ハ逐次縁故者ヲ賴リ移動中ナリ

四、治安狀況
目下平靜ヲ持シ居リ治安上特ニ憂慮スベキ事項ナシ

382251

檢秘發第一〇六號

昭和二十年七月三十日

(2) 福島地方裁判所檢事 飯澤 高

司法大臣 松阪廣政殿
檢事總長 中野並助殿
憲撫院檢事長 一木輔太郎殿

空襲狀況報告

本月二十六日及同月二十八日，空襲狀況左ノ通及報告候也

記

一、本月二十六日午前八時五十分頃（B29）

一機來襲

1、平市第一國民學校二類級爆彈投下、同校舍全壞、附近平區裁判所、高等女學校、民家數軒爆風、爲破損甚大、即死三名、重傷八名、輕傷十九名。

平區裁判所、同檢事局、德舍、大部分瓦屋根及窓戶障子、天井等破損シテ半壞トナリ、廷丁一名、給仕一名負傷シタリ

二、本月二十八日午後九時十分頃（B29）四

機來襲

油脂消夷彈及黃燐消夷彈約千四百個

投下

1. 平市田町、三丁目、南町、十五丁目、地内
全焼一大二、半焼二〇、人全壊一、半壊
五戸、

五戸、

死者二、傷者八名、

罹災者六七五名、

2. 石城郡内郷町全焼一〇戸、罹災者
五三名、

3. 石城郡大野林全焼七戸、罹災者
五七名、

三、本月二十九日午前九時十七分頃 (B 29)

(機来襲)

郡山市内郡山驛及日東工鎗業第

三工場ニ五百粧級爆弾一個投下

死者三八、重傷五九、輕傷一五三名、

家屋全壊三六、半壊一〇戸、

鉄道貨車全壊五、大破五、中破三、

(川)破七輛

鉄道線路入替線三一〇米切換セル元

同日中午修理シ列車運轉二支障无

秋田地方裁判所検察局 恩秘第三三七號

昭和二十年八月十一日

秋田地方裁判所検事正 杠木逸郎

382253

司法報 告
檢事長 天田松中
宮城控訴院檢事長 一木野並廣
通報 先木太郎助政
官城控訴院管内檢事正 殿殿

八月十一日

空襲被害状況報告（通報）

昨日早朝敵機動部隊ヨリ進發セルグラン下ル等艦上機ハ五機乃至干二機編隊ニテ岩手縣西南部及宮城縣西北部等ヨリ前後六回ニ亘り本縣ニ侵入高度一千乃至二千メートル以テ主トシテ交通機關ヲ狙は各地ニ於テ旋回行動セルカ毬機數百千機ニシテ主トシテ縣南部ヲ爆弾及機銃爆撃ヲ以テ攻撃セリ其ノ被害状況等左記ノ通リニ有之及報告ヘ

通報一候也

被害状況

一午前六時十二分頃縣南横手町ニ侵入横手驛前貨物取扱所及其ノ附近ニ爆弾四個投下、死者六、重傷四、住家全壊六

二同時頃後三年滑空機練習所ニ爆弾五個投下 被害ナシ

三横手午前五時五十三分發下リ四五旅客列車カ後三年驛ヲ發車シテ間モナク（六時二分頃）同列車ニ機銃爆撃ヲ行ヒ死者四、重傷五、輕傷二

四午後一時三十分頃由利郡金浦町ニ爆弾二個投下及機銃爆撃、重傷一輕傷四、住家全壊三、半壊一

人心ニ對スル影響

客月十五日初空襲後二回目ニシテ然カモ早朝ヨリ午後五時頃迄ノ間前後六回ニ亘リ空襲警報發令シ各方面ニ相當動搖ヲ來シタルモノト認メラル、モ現今憂慮スヘキ事態ノ發生等ナシ

382254

日記思極秘第二七一號

昭和二十年六月三四日

札幌地方裁判所檢事正川上達

司法大臣松阪廣政殿
檢事總長中野並助殿
札幌檢訴院檢事長熊谷誠殿

空襲被害狀況報告

米機襲撃ニ依ル當管内被害概況ハ既報ノ通りナルモ其ノ裁判明シタル狀況並人心ノ動向等左記ノ通り候條及報告候也

記

一來襲ノ狀況

- (1) 七月十四日午前五時頃ヨリ同十時半頃マサメ間ホーリング²⁹約二十機及關東東方洋上機動部隊ノ「グラマン」³⁰等下³¹艦上機³²三百機ハ逐次本道ニ侵入主トシサ札幌、函館、釧路各地方裁判所管内ノ軍事施設船舶列車等ノ交通機關、及主要都市ニ對シ爆彈焼夷彈ヲ投下シ又機銃掃射³³ノ波狀攻撃ヲ加ヘタリ
- (2) 七月十五日午前五時頃ヨリ午後四時頃マテノ間艦上戰闘機グラマン³⁴ F-15 及ビウオート・ショルスキーノ³⁵等延約五百機ハ前回同様軍事港灣施設海陸交通機關、並都市攻撃ヲ爲シ其ノ間之ニ呼籲シ機動部隊ハ午前九時四十分頃ヨリ約一時間亘リ室蘭市ニ艦砲射擊ヲ加ヘタリ

三、當廳管内被害状況

(1) 被害地域

札幌區裁判所管内

札幌郡札幌村丘珠 同郡手稻村字輕川 石狩郡石狩町

厚田郡厚田村 同村字古潭 同村字望來 札幌郡江別町

演益郡演益村

小樽區裁判所管内

留萌區裁判所管内

余市郡余市町

(幌別郡登別町 白老郡白老村 有

珠郡伊達町

幌別郡留萌町

岩見澤區裁判所管内

空知郡栗澤村 夕張郡由仁村字豊川村

浦河區裁判所管内

様似郡様似町 沙流郡日高村字富川町 静内

都靜内町 幕泉郡幌泉村

岩内區裁判所管内

古宇郡神威内村大字珊瑚内村 岩内郡發足村大字發足村字柏木

(2) 両法關係官廳

札幌區裁判所石狩出張所半藏(既報全壞へ誤)

(3) 人員

死者 四五八名

重傷 一四七名

輕傷 九一名

行方不明 一七名

外傷死者 一四一名

(4) 家屋

焼失家屋 六八戸

倉庫

一三棟

全壊家屋

三七八戸

半壊家屋

一〇四五戸

(8) 主ナル施設被害

基蘭市所在機關統中隊兵舎大破一棟

國民學校 焼失一棟

(6) 交通通信關係

(4) 地上

機關車大破一 郵便貨車小破一 貨車破壞二 暫別鐵道鐵橋約三百米破壞 札鐵路內機關區小破

銃械ヲ受ケタル驛 亂闘 由老 登別 伊達

(5) 海上

船舶沈没喪上 三六隻

(6) 通信

苦小牧航埠無電局破壞機能停止

遞信電話線八本 鐵道電話線四本
警察電話線三本切斷

(7) 其ノ他

白米千俵雜穀三百俵 濟粉相當數燒毀

三 重要生産ニ及ぶ影響

- (1) 日鐵構内ニ敵弾約百二十發落下さいタルモ重要施設ノ被害ハ電動機一基ニ止マリ燃礦爐コークス爐執レモ損傷ナク七月二十四、五日迄止ハ既ニ操業ノ見込ナリ然レ共破壊セラレタル電動機ハ部分品調達不能復舊ノ見込ナシ從チ其ノ範囲ニ於テノ生産低下ハ免レスト云フ
- (2) 日鋼構内ニ約三十發ノ敵弾落下シタルカ重要施設ノ對スル損害輕微ニシテ操業無支障ナシ

四、人心ノ動向

不時ニ多數機ノ來襲シタルト豫期セサリシ艦砲射擊ヲ受ケタル^二加ヘ停電シテラジオニ依リ情報ヲ知ル能ハサルニ至リシ爲眞ノ間人心著シタ動搖シタル者其ノ後軍官民ノ適切ナル對策ニ依リ次第ニ安定セリ然レ共猶罹災者ヘ恐怖心ニ捉ベレ一職住民亦敵機動部隊ヲ眼前ニシカガニ何事之ニ對抗シ敵行動ニ因サタル者ノキヲ遭感トシ

イ、敵艦砲擊中防空壕ニアリタル一營防禦員外其ノ中ニ陸軍將校ノ居リタルニ拘^{不拘}「ロンナ時特攻隊ガ出サイノカナアト哉々」
曰、某民衆ハ「我キツ勤奉餘兵出シテ居ルノダガ八丁平ノ飛行場ハドウシタノダロウ」

ハ、某防空從事者ハ「艦砲射擊ノ時友軍ノ飛行機ガ二、三機ヲモ良イカラ飛ンテ吳レタニ何事カ心強イダロウ」

ニ、某官吏ハ「我ガ軍ガ敵機動部隊ト交戦中ト音フラジオ情報ヲ聞キタカツタ」云々

ホ、某商人ハ「此ノ頃ニ物資配給ノ不滿ヨリ軍兵對外不滿ノ語

多^ニ」云々

軍部對^二スル信頼薄ク一層的ニ戰意低下メ傾向アル^{特此}ハ^{小注}目セサルヘカラ^ヲコトナリトス

五、治安狀況

(1) 暑人關係

空襲下ニ於テハ華人、勞動者一ヘ比較的平穏シカガル七月二十七日午前七時頃余市郡余市町大井日本鐵礦株式會社大井鐵山ニ稼働中華人勞務約三十名カ集団逃走^ヲ企テタリ華は宋然^ニ發見シ目下其ノ原因動機並ニ背後關係等付調查中カサ

(2) 白人俘虜

七月十七日午后十時過國館俘虜收容所第一支所當管内(義順所

382258

在一收容中ノ英人俘虜二名逃走シ同月二十五日旭川地方裁判所
所管内ニ於サ逮捕

（別途詳報ス）

（牛島労務者）

軍艦ニ在リテハ空襲重要事務場線動ノ牛島労務者ニシテ逃走
ハル者續出シテ合計百九十九名ニ及ビ今猶復歸セサル者約四
十名ナリ所轄警察署ハ之カ搜查及復歸ニ努力セリ
獨其ノ他懲警ナル曾詮尋犯等發生セス

裏面白紙

アシア化粧品株式会社
Asia Cosmetic Co., Ltd.

382259

5005

イリムニ

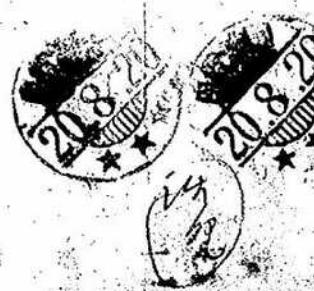
五

コ八

トコシマクスカ モ」トウケウシウチシヨナイト

シホウシヨウケイシ キヨクチャウ

十五日午後二時現在管下特ニ
一シモズコアクニコアハトサハケヤ一カアセトテ六チキシ六
青木屋
十五日午後五時現在管下特ニ
詔安上島脇 三矢事務所ナシ
青森税事



大正

四月

昭和二十一年七月三日

吉

一ノ丸

青森地方裁判所検事正

司業室 桜坂彦政殿

内会計人草

382260

本日午時三十分頃ヨリ敵機約百機青森市方面に飛来、其後水陸行方不明取電報及報告候久其後毎次測定レル後機動化記過及報告候也。

空襲警戒報告

一建物ノ警報空襲

一犠牲戸数約一七〇〇戸

二罹災者約六五〇〇人

三死傷約五五(但レ防波堤内死傷人相当見込)

一太日本帝國政府

二三日毎日捕獲之民人多燐火見込

三死傷人

四被災者約三三八

五行方不明

内警戒練習所金匱一

監視隊員鄭義正

船舶機帆船金縁八羊縫一、帆渡大

船舶機帆船金縫八羊縫一、帆渡大

卷之三

青州道銅錄考
錢幣社單
燭

欽定平定

續官理部令郎浪子賈生年齋

客車十七、線路平價十五所位

卷之三

構內公血紅孢子菌

通信金社總之未究究竟

卷之三

大田本宿國政府

敵攻撃ノハ周密ノ極ム全夕全市ヲ周ルヨリ

移之當市，天候一復晴，天子笑

雲霧沉寂，桃源洞口沈下也。有火燄，深

混亂狂想曲

郊外田園之處，牛馬之類，亦復有之。

三月廿五日本大通商行總公司有啟

ケタリトホシテ道吉ニアリ

卷之三十一

既次第ハノ候向記下各検事公勅調査ノ報告
 三月テ御内事ニ至テ取締ヲ活化為足矣
 岩瀬並検事ヲ加フル考ナリ
 令種子情ハ食糧等此般の確保也レタ
 日ノ久特ニ火配才キモ羅次ハシテ又ナヒ
 開村當局ト市當局トノ直接立意ノ如ク内省
 ナシテ矣アリ日ノ急進洞門ナリ
 而木大湊並浦原及野牟半島アリ松コ、復旧
 等也ニ極メ速湯乃志支機ノ為シケルモ
 市民中ニハ殊方様ノ亂聲御警戒火道全無
 ク敵後櫛ノ活潑溝渠之東ニ付シ漸次露首ノ言
 ナ事業ナリ尚方佐久本署檢事向身接見及軍
 的巷間語言ノミニテ元数件ヲ取ヘアリテ特ニ注察シ
 アリト思科ス

大日本帝國政府

口 当麻干係事項

中村行長不在、海監官一切、船橋ヲ江戸支庁道參ウ
公勅所大勤至る木造丸船×火船逐々出立候
金行舎及附居官舎食浦ヲ想矣

(中條觀之)

最初所並官舎前通ニ

三基

中常在木花車、絶好也、極力滿レテ安乞

其以向御陪坐満通ニ

十日禁命中幕大奉

猶然トシ

次テ御橋口民永役五輪城ノ御懶火

氣

皮煙箱立リ

官食家族婦女子ハヨク官一指厚ニ

立

服立幕中ニアキタ

豊富利子ノ御洋服

立

皮煙箱立リ

官食家族婦女子ハヨク官一指厚ニ

立

太日本帝國政府

タリ

(為當中)

前

(為當中)

機密

昭和二十一年八月十三日

佐賀地方裁判所檢事正 富地憲三

佐賀地方裁判所檢事正 富地憲三

佐賀地方裁判所檢事正 富地憲三

司法大臣 松阪廣政殿
大審院檢事總長 中野並助威殿
福岡地方法院檢事長 濱山武市郎殿

空襲被害状況報告

本月十二日午前八時以來佐賀地區空襲警報發令中午前十一時二十分頃敵B25六機ヘ佐賀市及小城郡上空ヨリ中型爆弾ヲ投下シ且機銃掃射ヲ加ヘタルガ其ノ被害状況左ノ通ニ有之此段及報告候也

記

裁判所

被害市町村	死亡	重傷	輕傷	家屋	壁	窓
佐賀市	一〇	七	七	一六	一七	三
小城郡小城町	一	一	一	五	一	一
同 郡牛津町	一〇	一	一	五	一	一
同 郡菊刈村	四	五	一	三	三	三
同 郡三日月村	一	一	一	一	一	一

追面佐賀市内ニヘ中型爆弾十七箇ヲ投下シ且熾烈ナル機銃掃射ヲ加ヘ來り當地方裁判所應急ニテ十數枚ノ機銃彈擲射ヲ受ケタル者懲罰乎少數破損ヲ見タル程度ニシテ其他異狀ナク職員皆待遇レ被害ナシ佐賀縣總警察部應急西北消防衛室ヘ爆弾ノ直撃ヲ受ケ

醫察亂長

醫
說
補

四

卷之三

卷之三

經濟保安課長審記

卷之三

卷之三

卷之三

旅館

卷之三

卷之三

九
放
子

20

卷之三

卷之三

而シテ佐賀市ニ於テハ屢々人空襲ニ罹り人心漸次萎縮シ逃避的氣分濃厚トナレリ

382266

長崎地方甲第六〇八號
檢事局

昭和二十年七月三十日

長崎地方裁判所検事正山井浩



正山井浩

司法大臣松阪廣政殿
檢事總長中野並助殿
長崎控訴院檢事長森山武市郎殿

秘

空襲被害狀況報告件

七月二十八日當管下ニ於ケル空襲被害狀況左記及報告候也

記

八時頃ヨリ十六時三十五分頃迄、間ニ單機又ハ數機ノ編隊

ヲ以テ熊本縣天草上空ヨリ有明海ヲ經テ縣内ニ侵入セ
ル敵機B29 A7P5 P5計「三」機ハ島原半島及北松浦
郡平戸方面ニ行動シ主トシテ船舶ニ對シ銃爆撃ヲ敢
行後南方洋上へ脱去ス

被害

(一)八時三十分

北松浦郡黒島沖合航行中ノ大阪商船會社所属石
炭船川内丸(一〇噸)ハ小型四機ノ機銃掃射ヲ受ケ船長
機關長負傷

(二)九時。分

西彼杵郡黒瀬村大島沖合千米ノ海上ヲ航行中ノ佐世保
鎮守府軍需部所属曳行船秀丸(二七噸)ハ小型一機
ノ機銃掃射ヲ受ケ當時乗組員七名中二名死亡、一名負傷



一名輕傷

(三)十一時五分

佐世保市一日ノ岡免ヘ百軒乃至百五十軒級、爆弾一個投下シタル爲民家一戸全壊、人畜ニ被害ナシ

(四)十一時十分

佐世保市内、晝間電線切断、送電不能トナリタルモ十二時十分噴復舊ス

(五)十六時二十分

(1) 南高来郡西有家町へ小型ニ機、機銃掃射ヲ加ヘ更ニ西有家國民學校へ百軒乃至百五十軒級爆弾二個投下シタル爲校舍一部損壊シ一名死亡、七名輕傷

(2) 有明海沖合百合島附近ニ於テ出漁中ノ漁船一隻機銃掃射ヲ受ケ一名死亡、一名重傷

(六)十六時三十五分

小型約十機ハ二十分間ニ亘リ島原市内ニ機銃掃射及百軒乃至百五十軒級爆弾十二三個投下シタル爲島原航空兵署工場及附近民家ニ火災發生、市役所倉庫一部焼失シ尚無水アルコール會社倉庫四棟ヲ全焼之乾干諸三十万貫、コーリヤン七百噴燒失、四名死亡、七名重傷

(七)十六時三十五分

(1) 島原港内碇泊中ノ三井物産所屬曳行船一隻ヘ小型爆弾命中シタル爲船体中破、四名死亡、六名重傷
(2) 島原港外航行中、曉部隊舟艇一隻乗組員三十名八小型機ノ機銃掃射ヲ受ケ五名死亡、十名重傷
(3) 二十九日三時五十分島原市上空ヨリ機銃掃射輕傷一名ヲ生ス

382268

長崎地方檢事局 甲第六。九號

昭和二十年七月三十一日

長崎地方裁判所檢事正山井

浩

司法大臣 松茂廣政殿
檢事總長 中野並助殿
長崎控訴院檢事長 森山武市郎殿

空襲被害狀況報告件
七月二十九日當管下ニ於乞空襲被害狀況左記及
報告候也

記

土時四十分頃ヨリ十二時七分頃迄、間ニ單
機又ハ數機、編隊ヲ以テ熊本縣天草方面リ
北進シ十一時四十六分頃長崎市上空ニ侵入セル
數機 B25 P51 P38 計三十六機、長崎市所在
三菱長崎造船所、三菱兵器製作所及長崎
市内一部ニ對シ銃爆撃ヲ敢行後南方洋
上へ脱去ス
被
(一) 一般ノ部
(1) 長崎縣男子師範學校舍ニ爆弾一個命中
校舎三分ノ一ヲ損壊セルモ人畜ニ被害ナシ
(2) 同市五島町船津町附近ニ時限爆弾混用、
爆弾三個投弾シタル爲現住家屋一棟倉
庫一棟全壊シタルモ人畜ニ被害ナシ

秘一八〇二



(3) 同市西山水源地附近山林内ニ爆弾一個投弾シタルモ被害殆トナシ

(4) 同市銅庄町變電所送電線ニ爆弾三個落下断線シ市内動力線停止セルモ向モナ復舊シ人畜ニ被害ナシ

(二) 三菱長崎造船所

(1) 移動式百五十噸起重機ニ爆弾一個命中シ破壊沈没

(2) 向島岸壁ニ繫留艦艤中、山水丸(七十噸)ニ爆弾三個命中タル爲浸水レツ、アルモ目

下排水作業中

(3) 立神第一船台ノ第二船渠立神原動機室艦裝工場、向島崖下新工場ニ各爆弾落下ス

ルモ被害輕微ニシテ作業上ニ支障ナシ

(4) 銅工場、機具工場ニ機銃掃射ヲ受ケタルモ

被害ナシ

(5) 三菱造船所社宅ニ爆弾一個落下シ全壊六棟半壊三棟、死亡五名、重傷三名、行方不明十名ヲ生ス

(6) 三菱造船所構内ニ於ケル死傷者ニ付テ六目下調査中志モ相當數アリ見込

(三) 右銃爆撃ト同時ニ宣傳ビラ一種ヲ撒布セラムテ目下蒐集中

裏面白紙

169

農商省
單聲紙

382270

刑事局
思
案務科

120B

電報記(昭和八一三度)

八月一日長崎市空襲ノ後ア軍要
設ニ被害アリ裁判所顧金顧
員ニ被害ナシ詳細書面手報告
長崎地方裁判所控事

刑事局
案

382271 報 電 5935

號音過通信道

送信午時分者

者校照

信 受

10

(納中府·三·七)

院、信、通

卷之三



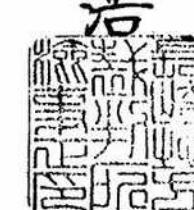
裏面白紙

382272

長崎地方甲第六一二號

昭和二十年八月二日

長崎地方裁判所檢事正山井 浩



司法大臣松茂廣政殿
檢事總長中野並助殿
長崎控訴院檢事長森山武市郎殿

秘

七月三十日當管下於ケル空襲被害狀況左記及報告
候也

空襲被害狀況報告ノ件

記

九時四十五分頃ヨリ十二時十分頃迄、間大型B24約八十機
中型B25約十四機P38約五機小型P47約二十四機ハ艇本
縣天草方面ヨリ遂次管下西彼杵郡野母崎西方ヨリ北進
シ主力ハ大村市上空ニ侵入大村海軍航空隊ヲ爆撃シ一部
ハ敷縫隊ニ分レ長崎市及長崎港外高島村高浜村伊王島
村其他沿岸地區ニ對シ爆撃又ハ機銃掃射ヲ敢行、後
南方洋上ヘ脱去ス

被害

(一) 大村市關係

(1) 大村海軍航空隊ニ火災發生

(2) 大村線(省線)川棚駅附近鐵橋ニ爆彈命中破壊

早急復舊困難

- (二) 西彼杵郡 関係
 (1) 川棚町ニ爆弾投下、馬十八頭即死
 (2) 香焼村山林内ニ爆弾投下、附近住家倒壊
 (3) 高浜村、高島村伊王島村沿岸ニ爆弾投下ノ爲附近住家倒壊人畜ニ輕微、被害

- (3) 亀岳村冲合出渕中、渕船ニ機銃掃射乗組ニ名死亡

(三) 長崎市関係

- (1) 三菱長崎造船所舟艇工場ニ爆弾投下同工場半壊尚附近民家ニ機銃掃射、火災發生
 (2) 古河町ニ爆弾投下、住家約三十戸倒壊埋没者若干アリ尚月町重油倉庫ニ火災發生

(四) 死傷者

死者 男四十三名
女十六名

重傷 男三十九名
女六名

行方不明 男一、
女一、

(五) 建築物被害

軽傷 男二十九名
女九名

半壊 住七十二棟
非住六棟

全壊 住甲九棟
非住二十五棟

半焼 住四棟
非住一棟

382274

長崎地方 恩甲第 六二八號

昭和二十年八月九日

長崎地方裁判所検事正 山井 告

司法大臣 檢事總長 中野 並助
長崎控訴院檢事長 森山 武市郎 啟

空襲被害狀況報告件

八月一日當管下於ケル空襲被害狀況左記及報告候也

記

十一時二十分頃ヨリ十二時三十分頃迄、同大型B-29四十八機、中型B-26六十七機、P-38四十機、小型P-47二十八機、八數機又ハ數十機、編隊以テ龍馬及天草上空ヲ經テ島原半島西方、西ヨリ北進ニ又ハ西彼杵郡野母崎西方海上ヲ迂回行動シタル後主力ハ長崎市上空ニ侵入レ長崎市内車輛工場、重要施設、學校、病院、駅、鐵道、船舶、港灣施設等ヲ主目標トレ大型機高度ハ概不二千メ乃至四千米ヨリ大型爆弾、水平爆撃ヲ敢行、中小型機ハ何モ概不一千メ内外ヨリ旋回急降下爆轟手ヲ加ヘタルカ小型數機八十數米、超低空ニ降下シ船舶港灣施設及民家ニ對シ銃撃手ヲ加ヘタル外落下一傘付爆弾數個ヲ投下シ一部小數機ハ西行動其向西彼杵郡高島村、福田村等ニ爆弾投下北松浦郡生月町調川村、新御厨町等ニ機銃掃射ヲ加ヘタル後五島灘彼杵半島ニ沿ヒ海上ヲ更ニ北進シテ北松浦郡平戸、志佐上空ニ

及ヒューリ湾ヲ経テ夫々南方洋上へ脱去ス

被害

(一) 一般民間

罹災者世帯數	二五一世帯
罹災者總數	八五四名
死者	二二六名
重傷	二二六名
軽傷	二二六名
行衛不明	二二六名
全壊家屋	一一一戸
半壊家屋	一四二戸
全焼家屋	七戸
一部損壊家屋	二六一戸

女男 妻男 妻女
一六五名名
一六六名名
一六三名名
一五一一名
一五六名名
一六六名名
一六六名名

(二) 工場及事務場

(1) 長第三・八一工場(三隻長崎造船所) 大中小爆弾約七十

發投彈

第一事務所 全焼

(重要書類、焼失ヨウカル)

倉庫課倉庫 全焼

厚生課貢食堂 全焼

水浦棧橋詰所及棧橋全焼四噸クレーン台船一隻全焼

官給品倉庫及運輸部 全壊(官給品次貨棧野莊被害)

十隻

製錠工場及水浦變電所大破

造機熔接工場大破(プレス二台破壊其他機械器具破損セ

ルモ修理上使用可能)

鑄物工場 大破尤モ使用可能

真鍛工場中破

第一機械工場中部以南、屋根及窓破損大破壊施設
資材、被害軽微

第二工作部事務所全焼

重量計算書全焼 機械及施設、被害殆ドシ
軍船三隻沈没

其他工場内二座根及窓硝子、破損セラフ相当數達ス

ルモ施設機械=被害シ

死者	男	九十九名
重傷者	男	十九名
	女	一十九名
輕傷者	男	五十七名
	女	一名

行衛不明	男	九名
------	---	----

(四)長第四・三一工場(三菱長崎製鋼所)二五・七級爆弾
十三發投擲

加熱炉	一基	半壞
熟火理炉	一基	半壞
冷却塔	一基	倒壊

其他大型工場爆風依リ屋蓋周壁崩壊大外電
力線通信線切斷セラセ約一周間ニテ復舊見込

死者	男	十一名
重傷者	男	二十八名
軽傷者	男	一名

(八)長第一・三四一工場(三菱長崎製鋼所)二五・七級爆弾二個投擲
二五・七級爆弾二個投擲

假説牽引 全壞

(三)

一棟工場、倉庫、小屋、二軒破損

死者 ナレ 重傷 男三名 軽傷 男五名

(二) 三豊鑄業株式会社高島礦業所
二五〇班級爆弾一六個投弾ラルモ炭坑施設二箇所
被爆ナリ從業員察全壊全壊三戸半壊四戸半壊
非住家各一戸全半壊セビモ死傷者ナレ

其、他

(1) 長崎医科大学附属病院

古屋野外科前方通路及月外科、産婦人科手術室
階上等二大小六發、爆弾命中

耳鼻咽喉科調外科、古屋野外科、高麗病棟、
産婦人科手術室ハ何ニモ半壊レ

死者 医大生 二名 外来者 女二名

重傷 男一名 軽傷 男二名 女一三名

(四) 長崎駅構内

二五〇班級爆弾一三發命中貨物木立焼失(検車中)

同	客車	四輛	金壊
同	貨車	一八輛	半壊
同	機関車	一、二輛	全壊
同	壓縮小屋	一棟	全壊
同	軽傷	男二名	

(八) 朝日國民學校含一棟全壊一棟半壊修練道場一棟

全壊是死傷者ナシ

(二) 長崎市幸町福岡係處收容所第十四分院前
方及周辺ニ二九。既級爆弾四個落下サランダ
處死一名死亡三名重傷三名輕傷

(木) 西彼杵郡福田村ニ爆弾十二個投下
死者六名 重傷三名輕傷一名住家九棟全壊非
住家三棟半壊

(八) 西彼杵郡高島村ニ爆弾一六個投下
住家三棟非住家一棟全壊

住家四棟非住家一棟半壊死傷者ナシ

(ト) 北松浦郡青町ニ機銃掃射ヲ受ケ
重傷女一名 輕傷女一名

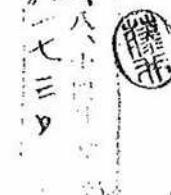
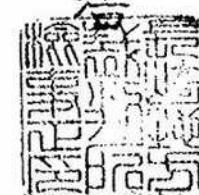
(4) 北松浦郡調川村ニ機銃掃射ヲ受ケ
死者男一名 重傷男二名

(リ) 北松浦郡新御厨町ニ機銃掃射ヲ受ケ
死者男一名 重傷男四名 輕傷男二名
(ヌ) 北松浦郡鷹島村ニ機銃掃射ヲ受ケ
死者男一名 重傷男二名 輕傷男三名

以上

長崎地方
檢事局 甲第六一一號
昭和二十年八月二日

長崎地方裁判所 檢事正 山井 泰



司法大 検事總 長 松阪廣政 殿

長崎控訴院檢事長 森山武市郎 殿

空襲被害状況報告件

七月三十日當管下ニ於ケル空襲被害状況左記及報告候也

記

十時五十分頃ヨリ十二時二十分頃迄ノ間中型B25約六十五機、小型P47約二十五機ハ熊本縣矢草上空ヨリ西彼杵郡野母崎ヲ経テ單機又ハ數機、編隊ヲ以テ北上縣郡内ニ侵入シ主トシテ大村市附近ニ行動シタル後諫早上空ヨリ島原半島及布明海ヲ経テ南方洋上へ脱去ス

(一) 攻撃ノ状況

野母崎ヲ北上セル敵機ハ十時五十分頃ヨリ高度千米ヨリ百米位ニ降下シ六十秒乃至三百五十秒級ト推定セラル爆弾数百個焼夷弾千数百個ヲ投下シタル外機銃撃射ヲ加ヘタリ

(二) 投下弾、数

大村市ニ對シテハ小型爆弾約七百個焼夷弾千数百個ヲ

(三) 被害
投下、南高来郡愛野村北高来郡江ノ浦村海岸等二小型爆弾九個ヲ投下セリ

(一) 民側

死亡	男十四名	女四名
重傷	男五名	女六名
軽傷	男十六名	女二十四名

家屋全焼 住家三戸

非住家三戸

山林 燃失 約三段歩

(二) 軍用地内

(1) 死亡十二名 内軍人八名 第二航空廠女工員二名
同廠出勤中、学生(女)二名

(2) 重傷五名 内軍人四名 女工員一名

(3) 軽傷二十名 内軍人二十名 女工員一名

(4) 燃失建物 第二航空廠女工員宿舍八棟

(5) 其他航空機燃料並=航空機部分品若干ヲ燃失

尚大村市、西彼杵郡半島、島原半島=「時は迫り」
ト題スル傳單數百枚ヲ散布ス

秘

382281

昭和二十年八月十二日

長崎地方裁判所検事工山井 浩

長崎地方裁判所長 石田 勇

司法大臣松阪廣政殿

八九空襲被害状況報告（一報）

当官内八月九日長崎市に於て空襲被害状況在
記及報告候

八月九日十時五十三分敵B29二機、本群天草方面より
鳥取半島西部橘湾上空ヲ経テ長崎市上空ニ侵入
一時二分頃落下傘附爆弾（廣島市ニ於テ使用セリ）
同様三個ヲ投下セリ後十一時三十分頃長崎縣北高見

郡戸石林北方五糠、地表ニ落丁傘附爆弾三個ヲ
投下セル内一個ハ高度千メートル附近レ二個ハ不發、
儘同林内ニ落丁セリ

尚同時刻墳車被弾郡川棚町上空ニテ更ニ落丁

傘附爆弾二個ヲ投下セリモ海中ニ落丁セル鳥破

害十キ模様ナリ

追前戸石林ノ被害ノ事明セス調査中ナリ

一、當時之狀況

本日敵、投下セル落丁傘附新型爆弾（B29二機）
高高度ニテ投下レ長崎市上空ヲ浮流レッ降下レ高度
五百メートル三ヶ所炸裂裂ヒシテ（其ノ威力ハ甚
烈也）瞬間強度、白色内光ヲ發シ内光アリテ約十
秒位三ヶ所爆裂音ト共ニ強烈ナク爆風ト熱風トヲ生
下ト也。地域概不二糠平方、圈内ニアル木造家
ス爆風、威力ハ半径十二糠（三里）以上ニ及ヒ炸裂セリ
八九二十全壊レ家屋形状位曾サヘス明トナレ
四糠乃至六糠平方、圈内ニアル家屋、屋根瓦

寛永年扉屋内戸障子建退ラ滅ササニ破壊事無セシ
木居山リ即ナ炸裂衣セル直下地裏ト設ナラル、長崎市
川浦上一帯、概ニ二糠平方ト地域八家屋敷ニ全壊(例
壊後火災發生殆半金焼)尚四糠乃至六糠圓内
市内同地域八家屋敷根瓦空扉屋内建具ヲ破
壊並散失中破セル者ノ多シ之カニ爆弾直
下地裏一帶八家屋倒壊並ニ爆風ニ因ル死傷者及火
熱傷者傷者(極大テ多)數ニ上ル見公ナリ尚炸裂衣
度内熱風引生ニ炸裂衣直下四糠平方、圓内ニ萬爆
弾八家屋敷内爆風又爆風上共ニ爆
物三附着包胸時ニ火立テ生シ且ニ爆塵ノ熱風又大
熱因リ一瞬ニテ甚多死難者之傷者ヲ入井生也
即ナ炸裂直下地城及其周辺地域皆ニ錢庄
支那乍露川等洋奉年数口有山里竹林山下楊
口叶竹久保年城山町相模町八千代町大里町
西松下新屋町元船井一帶八年後六町吹送院二十
帶ハ右地球ヨリ延燒シ
而ニテ敵ノ新型爆弾炸裂ノ中心ノ市ノ北郭地带
ニシテ市上署公署及商業ノ中心地带ハ工場地带
比レ其ノ被害稍輕微ナリシモ其ノ炸裂衣中心部尤
崎製鋼所及同長崎無害製作所ハ其ノ全工場被下全
減(情況二箇所)ニテ當初作業中全員於下死
セルヌト退メラレ更ニ工場周囲ノ底層ハ全節倒壊
屋内ニ在リノ市役ハ之亦既ニ火傷セラモ、如ノ死
ハ万才以テ數百モナリ予想セラレ爆弾威力ハ直
戰勝(ノヘキモナリ)

二死傷者概數

死者、三万以上ニナ見立先、重軽傷者合計ハ約五
六万ト計ナル、加此體斧槍等、第力不足、爲其儘放

西國セラレルモニタリテ正確ナリ計算ハ勿可能ナリ是惟
セラレル

建
德
府
寶
慶
縣

金壞全燒也。三七如七。半壞也。一、二、四半。

卷之三

見入。

羅公遠人言卷之三

惠被害她試

卷之三

卷之三

卷之三

卷之二

萬下
六萬
全鄉
全境
燭力千兆
灰燼
燭以
復者
最尤
大十

增補通志

卷之二十一

胎
金
津
川
花
湯

賑：今奠、

藏下錄卷之二

卷之六

下壽室 宝瓶藏 下
坡得瓶藏 八年代各
作 瓶三因之蒙塵八
年半復生

卷之三

卷之三

太地球外帶內全地域。不原以
御損壞而失小方量易計。

卷之三

主十九被墨建築物

(一) 宮御

長崎縣厅(本厅)

長崎地方裁判所、同檢事務局(監獄、警視、公使)

長崎檢察院同檢事務局

長崎市役所、傳令、郵便局

浦上刑務所支所

長崎浦上西駅

長崎放送局

三笠長崎製鋼所

長崎毛織製造所(大橋尾井、茂里牛島工場)

長崎造船所(牛島工場)

長崎造船所(牛島工場)

長崎建築物倒壊又ハ金塊、動力及電燈等道

甚太郎

九州製電株会社(長崎電氣)

西寧瓦斯(長崎支店)

「右ハ何レス倒壊又ハ金塊、動力及電燈等道

電気(新井)

長崎造船所

田附屬、運輸事務内務省

日露宣戰局(長崎)

長崎西中学校

長崎郡立農業学校

長崎女子高等女校

長崎工業高等女校

382284

(四) 其他

錢庄是役之後
西坡是民多被
山圍是良軍殺

長崎医科大學病院
長崎新開社立島
朝日新聞社立島

日本勸業銀行
明治生命保険株式會社立島
新嘉坡立島

上野驛旅館

六、堅尾村革

(一) 市内一般

難民

市内要錢

兵庫防衛

之防衛

之防衛

努力せしめアリ

敵機二枚

成敗

嚴正應急對策

(二) 貢傷者

散體

直千人散體地圖

縣警

警察

之防衛

傷隊特別散護組

各警察署

警察衛生營衛官

警察部

海軍

之防衛

市內散護隊

總領事

總領事

總領事

總領事

總領事

(三) 浦上方面

重傷者八列車

轉運

護送

之防護

之防護

(四) 罹災者

傷者

數千名

輸送

之防護

之防護

(五) 災害地

之防護

有之

隣接

警察署

之防護

官營防衛員

應援

之防護

治安確保

萬全期

之防護

卷之二

隣接都督參將營參軍防護員之職務。其二
長崎要塞長崎地頭司令部。要隨同兵力，應接外事。
鹿屋民全力，奉行實物者，移出敵境。條件：收容被
害親領，歸還。並以獎勵，總管。第其上，
在舊地獎勵，散往。鹿屋處置等，發予。幕府嘉之，但問傷
械，遂還原。此為初，其事為人所知，而令之。斯全之，雖有內外不

唐以爲其子之權力之盛，固非一朝一夕之積。故其後人皆以爲其子之風流，亦以爲其子之風流也。

別紙

卷五

日本國民大告白

して讀みなさい。

極めて強力な爆弾を発明するに至
つた。今回登明せられたる原子爆弾は
は然その一撃を以てして世界に轟たれ
の巨大な爆力2千噸が一彈に搭載
し得た爆弾に匹敵するに恐ろしく
き事実諸君がよく考へなればされ
たらしくしてから我等は驚いて
このことが絶対事實であることを
保證する所である。

卷之二

米國大統領ハ裏に名譽ある降伏に
關する十三ヶ條の概略を諸君に述
べたこの條項を承諾しより良い平
和を愛好する新日本の建設を開拓
す所よし我等は懇意するものであ
る。諸君は直ちに武力抵抗を中
止すべく措置を講せねばならぬ。
然うべしは我等は断乎この爆擲並
びに其の地雷弾等の優秀なる武器を
使用し戦争を迅速且強力に終結せ
しものである。

さうして此の爲めに、戦争を長引かせてゐる
軍事上の凡ての原動力を此の爆弾にて
破壊する前に我等は諸君が
此の戦争を止めようとする陛下に請願

祕

382287

明治二十年八月十五日

軍事部

臺灣總督府鐵道局總務課長石田清

司度大臣松原慶政啟

第一報事中止急電令付及轉署假

記

八月十四日總務課開設的各軍備處署狀函件
有總理實錄、厚生課彈、總理、開設下野、新潟、長崎、
鹿児島縣、宮崎、一時、三重、殘虐、浮列同聲者、非至
以利為之勿無傷、許可也、不自負為、故進、延伸、發展、
第、未夕、意、始、行、久、事、總務課、全統、報告、名、下、全、
筆、事、及、下、野、事、六、事、之、裁、勅、件、總、會、附、近、中、心、想、

難、名、有、職、員、死、者、十、四、員、傷、員、此、難、的、少、數、正、下、
七、十、年、歷、史、不、廣、食、道、糧、燒、江、匯、食、量、亦、大、
換、備、營、食、之、消、遣、感、應、其、所、有、

一、當、時、概、況、
社、會、八、年、政、變、報、發、于、下、兩、三、支、宣、報、發、于、報、發、于、
名、毛、宣、報、發、報、解、除、中、午、省、上、野、道、標、津、新、竹、當、
時、關、防、義、都、御、道、裁、物、經、及、若、稿、有、之、於、之、職、員、全、鹿、
宜、執、務、才、公、事、開、通、中、之、了、之、閃、光、爆、炸、有、士、共、若、
自、即、急、避、難、恐、參、之、就、其、一、轉、至、廣、食、
該、壞、基、レ、特、

地、方、鐵、路、二、階、前、後、室、會、鐵、室、等、天、井、底、下、公、
業、權、系、及、同、二、階、調、停、室、倒、標、區、裁、物、經、判、事、室、
破、壞、

事、事、將、實、著、事、事、甚、他、廣、食、全、服、事、事、全、服、有、假、
落、下、下、硝、子、急、避、壞、土、壁、崩、落、傷、而、飛、散、着、甚、レ、

件種、大將理リ加ヘサレハ、麻雀の使用、通セテ、其の社員ニ
シテ、経営院麻雀室全般ニ亘リテ、既手内機、該處リ兼レ
リ。裁料終麻雀財也成爲引取參考、然る程多ニ亦積木内機
ニシテ、多山不換止、惟漫三年、此一帶、火災發生大慶十キモ、
如ノ恩文ナシトクニ至迄ニ北方一帶ニ、黒煙上リテ、火災發生
七八キメト、諸客ナシテ、微欠半日、備存多キ、機シセ造一應
須待後與、是、運送者ナシテ、十キメルカ多後、一時、外浦
努力、拘ニス約一時、乃シテ、遂ニ、夥、麻雀列隊、追燒之火、
勢力、猶未だ、次第、風下十九地方、裁料、經営院、審議後、飛火、
又、經営院、麻雀室、空火、(飛火ナシ)、然、所限、自燃充火
ナシヤ、不取、シテ、多シ職員、直立、區裁料、給地下、貯庫、
之、安否、夕朝シ、其、窓口、密閉、及放水、等、年々、其、事、
此、當給、彈丸、八厘、火燐、ア、燐、ノ、遂ニ、消防隊、奮闘、
天效ナリ凡ソ、而、多、空、之、在、麻雀室、造部、及、上、藏
九三十メ、確認シ。

(四) 宮人會
(1) 前地方裁料所長官會 (勝利街)
天井、茅根、竹筒、高砂 (見後、金工道場)
(2) 地方裁料所長官會 (新竹、金工道場)
天井、茅根、竹筒、竹筒、甚レモ、大修理リ施セハ、一部、使用
可能ナラシ

(3) 檢車長官會 (馬町)
殘存官金車檢修、幕足、甚シテ、一部、崩壞、天井、壁、
シ、居、往、不能

(1) 於等の實人處 (馬鹿)

天井其他の被燒甚ひ久一更居後通せられ大體復施

ハ一部使用有能ナシ

(2) 稲荷判事官舍 (興善所)

金燒

次席拉車官舍 (興善所)

其後放火(區裁料取下食庫)等

過歲初於御倉食庫、鐵筋物シタリト邊ニル三十丈旁近
各窓ノコンクリート等塗漆シアリ近火、幸而玉防火等消火
方途ヲ堵シテ瓦ノ落食庫内ニ見安全モトシト柱間セラレ
至八月十日ニ至ル至外見上登火、處處十九メートル觀測セラレ
八月十一日午後九時半より熱氣自南向北食火シテ庄
屋監督判事來見し直ち消防隊、派遣シテ同判事拘捕
ノ下數名挙力ニテ防火之努力見シテ食庫内煙火充満
シ消防容易ナシ保液、堅氷等、滅此火既食庫開ヒ

其後西張高木地微弱至未明多數入内迄未解一時
續火之翌日又午前二時許以是時太陽夕上ケ久天晴向
消火セヨ登記付署、以速シ往約半數以上撤出シ得

リ

尚國食庫内事例ノ如精利年、大部少々既、當初未
乞敷疎開、居候。然實多更レキシ也。地方過歲料取處
合計詳錦帳所承、一部燒失シリ

地方過歲料取處、追得中、記載、良事利奉考大部少
又於奉命關係追得中、記載、良事利奉考大部少
活原ノ頃、上於道院大地方過歲料取處下落、保養之序
名、此所為事例、及様子、年々、繕修奉考、甚詳、請充、各御役基
名、並御神社麻原、自幼奉事者、既、詳備シテ、差事
應急執務、支障ナシ

一羅供者

文獻考

戴利竹倒

右圖書長、庄野監督事、漢卿事、中書事、吉州事
御梓刷事、山本書記長、森拿許事、總書就事
外應、傭人十名、內外親士、鑄陽、貢也
森拿許事、經書記、夏禮、總書、會也

上叶拉葉新叶落葉言此能中極而草澤而古道
外廣東縣名熟之種亦不
知其謂也其下處載食之以作藥者臨平人也高者常
藏象之於核中花者生子葉則紅紫以示歲之有無者奇
一死者子同下取謂之

長安
白梓刺史下第
黃金燭

其他以破氣之方為多，其能解之者，則又以利氣之藥為多。

八
九

八

1 連織大島社
同上
大島社御院萬葉集
中島萬葉集方後

三處有鑿數處多為石質波浪橫擊石方多傾斜之條
也少屬圓形本省之打窯方法久絕失人

可者，不以爲之。故曰：「人情有所不能忍者，則有所不忍。」

382291

留意ヲ備エテ其諒解ヲ得

解

解

八月十四日

長崎道場

軍

三萬負十數石

金

木ノ傳志村

大綱

大綱

大綱

被取タ

船務部

後興部

新船連絡部

新船連

新船連

新船連

新船連

新船連

新船連

救復船務部

救復船

救復船

救復船

救復船

救復船

救復船

救復船

西島連繩部

西島連

西島連

西島連

西島連

西島連

西島連

西島連

382232

長野地方檢察局 恩秘録記 第三八〇號

昭和二十年八月十四日

長野地方裁判所檢事正 永井太郎

主訴 大田松阪廣政殿

檢事 総長中野並助殿

東京檢察院檢事長 秋山 要殿

空襲被害狀況報告ノ件

昨十三日午前六時二十分より午後五時ニ涉り敵艦載機延六十機
長野市、上田市ニ來襲同地飛行場並交通機關ニ對シ爆撃、機銃
掃射シタリ

主ナル被害ハ長野飛行場飛行機九十機長野驛貨車一列車長野鐵
道工場及機關車十一輛大破炎上死着十名附近民家約三十戸焼失
ノ被害アリ明日詳細報告ノ豫定

裁 判 所

備考

路線不通電信受理セサルヲ以テ電文、其儘不取敢及報告候

検閲關係電信暗号

昭17訂

國立公文書館	
分類	(複) (背)
	3 A
排架番号	15
	29-7

29-7
10cm
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



